



Japan Weightlifting Association

ウェイトリフティング



平成26年3月14日から15日まで栃木県立県南体育館(小山市)に於いて「JOCジュニアオリンピックカップ・第34回全日本ジュニア選手権大会」が開催され、+105kg級 知念光亮選手(豊見城高校)がスナッチ165kg ジュニア日本新、トータル365kg日本新記録の二連覇を達成した。2位の村上英士朗選手(滑川高校)もC&ジャークで201kgのジュニア日本新記録だった。



スポーツ振興くじ助成事業

2014 NO.117

(一社) 日本ウェイトリフティング協会会報



のどをうるおすだけの 飲料ではありません。

「のどが渴いた」と言うとき、

渴いているのはのどだけではありません。

必要な水分とイオンが失われて、カラダ全体が渴いているのです。

ポカリスエットは、体内の水分に近いイオンバランス。

カラダに必要な水分と電解質をすばやくとり戻せます。

カラダのことを考えれば、渴きにはポカリスエット。

イオンサプライ ポカリスエット
POCARI SWEAT

平成 25 年度年間功労・優秀選手・優秀指導者表彰

日時 平成 26 年 3 月 21 日（金） 16:00 ~ 、場所～上野精養軒



功労賞受賞の菅原氏（秋田県協会副会長）



優秀選手賞の八木選手



優秀指導者賞の横山氏

1 功労賞（9名）

菅原 雅博（秋田県協会副会長）
橋本 利男（栃木県協会副会長）
南 忠實（奈良県協会副会長）
島田 隆宏（兵庫県協会理事）
伊禮 淳（香川県協会理事）

夏井 武美（秋田県協会副会長）
加藤 正雄（愛知県協会理事）
道下 健一（奈良県協会理事）
瀬部 浩司（徳島県協会常任理事）

2 優秀選手賞（4名）

水落 穂南（平成国際大学）
安藤美希子（平成国際大学）
糸数 陽一（日本大学）

八木かなえ（金沢学院大学）

世界選手権 48kg 級第 7 位
世界選手権 58kg 級第 7 位、日本新記録
世界選手権 62kg 級第 7 位
ユニバーシアード大会第 3 位
ユニバーシアード大会優勝

3 優秀指導者賞（3名）

加藤 仁（平成国際大学監督・水落穂南選手、安藤美希子選手の指導者）
稻垣 英二（警視庁・糸数陽一選手の指導者）
横山 信仁（金沢学院大学監督・八木かなえ選手の指導者）

<功労賞>

- (1) 本協会加盟団体長として通算 10 年以上在任し退任した者。
- (2) 本協会加盟団体にあって、20 年以上当該団体の運営及びウェイトリフティング競技の普及振興に貢献した者。

<優秀選手>

- (1) オリンピック競技大会及び世界選手権大会で 8 位以内に入賞した者。
- (2) Jr 世界選手権大会、アジア競技大会及びアジア選手権大会で 3 位以内に入賞した者。
- (3) 東アジア競技大会、ユニバーシアード大会・世界大学大会及び Jr アジア選手権大会で優勝した者。
- (4) 日本記録を樹立した者。

<優秀指導者>

上記優秀選手を育成した指導者。

ウェイトリフティング協会会報 N.O. 117

2014年4月号

目 次

<巻頭言>	JWA副会長	三宅 義行	3
平成25年度全国指導者講習会報告		小栗 和成	4
ドイツ招致合宿を終えて		稻垣 英二	5
平成25年度大学生米国研修合宿		加藤 智子	9
公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会		小栗 和成	19
第16回アジアユース選手権大会		岡本 実	20
第21回アジアジュニア女子選手権大会		城内 史子	23
第28回アジアジュニア選手権大会		"	
第34回全日本ジュニア選手権大会		青木 延明	25
第29回全国高等学校選抜大会		上田 貢	31
第11回全日本学生選抜選手権大会		松尾 謙資	33
日本のマスターズリフティング（福島県）		清野 裕司	38
平成26年度事業計画			41
平成26年度行事計画			49
平成26年度収支予算書			52
《公認記録表》			
第16回アジアユース選手権大会	-----		55
{			
第22回全九州高等学校選抜大会	-----		68



リオ・東京五輪に向けて

一般社団法人日本ウェイトリフティング協会
副会長 三宅 義行

若葉薫るすがすがしい季節となりました。

さて、本年9月には、4年に一度のアジア競技大会が韓国仁川で開催されます。日本オリンピック委員会から、男女15名のフル出場枠を頂くことができました。また、11月にはリオデジャネイロオリンピックの枠取りとなる世界選手権大会がカザフスタン共和国アルマトイで行われます。リオデジャネイロオリンピックへの出場枠獲得が2020年東京オリンピックの出場枠に大きな影響があることから、本年の世界選手権大会から全力で戦っていかなければいけないため、日々ナショナルチームの強化育成に取り組んでおります。

2016年は、リオデジャネイロオリンピックが開催されるだけではなく、本協会も80周年の節目を迎えることから、リオデジャネイロオリンピックで複数のメダル獲得と併せて協会を発展させることと競技をメジャーにすることを目標として、全員が一丸となって協力していく必要があります。

さらに、2020年の東京オリンピックに向けての対策として、本年度より、ターゲット・エイジ強化合宿を実施していくことが決定しました。東京オリンピックでは、好成績を獲得することは勿論ですが、おもてなしをキャッチフレーズとしていることから、世界中のオリンピックに関わる全ての皆様に満足していただけけるような取り組みを実施しなければなりません。そのためには、前年度のリハーサル大会だけではなく、世界選手権大会や世界ジュニア選手権大会などを誘致して、大会運営のいろはをスタッフ関係者が勉強する機会も必要であると考えております。

しかし、これらの大会運営を進めるためには、人・物・財源の確保、また協会に携わる皆様と多くの関係者の協力が必要不可欠であり、必ず成功させるという意識を全員が持たなければ実現できません。今後、2016年リオデジャネイロオリンピック、2020年東京オリンピックの成功を目指して、皆様方の更なるご協力を願い致します。

平成25年度全国指導者講習会報告

指導者育成委員会 小栗 和成

平成26年2月8日（土）～2月9日（日）大雪が降る2日間、国立スポーツ科学センター2階大研修室にて毎年恒例の全国指導者講習会を実施しました。

実施内容

平成26年2月8日（土）

1. 2013年の総括と今後の強化について

岡本強化本部長

2. 動作解析について

JISS 貴嶋孝太氏

3. アンチドーピング

加藤智子

平成26年2月9日（日）

1. 小学生・中学生ケイワティング教室の紹介

田口慎一郎

2. 医科学委員会より

中嶋耕平

小畠直之・城内史子

JISS 栄養 龜井明子氏

本年度の全国指導者講習会では、2013年の総括と今後の強化について岡本専務理事がお話しされました。

また、国立スポーツ科学センターのトータルサポートで研究をされている貴嶋氏が中国選手と日本選手の動作を分析し報告していただきました。アンチドーピングについては、各支部協会の出席者にアンチドーピングの徹底するように、加藤智子理事よりお話しして頂きました。

2日目は岐阜県の小学生・中学生教室の実施内容について、岐阜県トレーニング教室主宰されている田口慎一郎氏にお話し頂きました。医科学委員会では、中嶋耕平委員長がケイワティングの傷害について、小畠 NTC 選任ディレクターと城内ジュニア専任コーチからは動作解析ソフトについての紹介、国立スポーツ科学センターの龜井氏から栄養についてそれぞれお話を頂きました。

今回の講習会では、国立スポーツ科学センターがサポートとして行っていただけている研究内容の紹介であったり、各地区での活動例などの紹介、医科学委員会からは具体的に実例の紹介など参加者にとって新しい内容の講習会が実施できたと感じました。



2014 ドイツチーム招待合宿（男子）

2014. 2. 9. ~ 2014. 2. 22



味の素ナショナルトレーニングセンターにて

【日本チーム】

(指導者等)

岡本 実 (専務理事・選手強化本部長)

小宮山哲雄 (常務理事・選手強化副本部長)

稻垣 英二 (男子監督・選手強化常任委員)

野澤 雄一 (コーチ・強化スタッフ)

ニルス＝エリック・シュミット (通訳)

(選手)

56kg 級 高尾宏明 (九州国際大学 4年)

62kg 級 糸数陽一 (日本大学 4年)

62kg 級 中山陽介 (笛吹市役所)

62kg 級 坂 典泰 (四日市工業高校・教員)

77kg 級 山本俊樹 (日本体育大学 4年)

105kg 級 白石宏明 (自衛隊体育学校)

105kg 級 田中太郎 (九州国際大学 2年)

105kg 級 持田龍之輔 (日本大学 2年)

+105kg 級 太田和臣 (九州国際大学・職員)

+105kg 級 村上英士朗 (滑川高校 3年)

+105kg 級 知念光亮 (豊見城高校 3年)

【目的】

- ① ドイツの技術研究とシステムを学び、日本のシステム開発に活かすこと。
- ② やや格上であるドイツ選手との合同練習により自己記録を引き上げること。
- ③ ライバル国ではあるがチーム編成が日本と似ており、互いに取り組んでいる内容について情報交換し、強化に繋げていくこと。

以上を掲げて臨んだ。

昨年3月にドイツ遠征合宿を行った。旧東ドイツ時代から科学的トレーニングを導入していること。日本選手よりやや各上の選手が揃うドイツチームと合同練習をすることで日本選手の競技力向上を目的として実施した経緯から、今回のチーム招待合宿に至った。

昨年ドイツで最も印象に残ったものがウエイトリフティングに特化した即時フィードバックシステムの活用である。日本国内にも類似するソフトウェアはあるが、練習の試技間インターバルに挙上に必要な多くの情報（パワー、スピード、コース、キャッチの落差、落下スピード、ポジションによる各項目数値の変化等）がわかりやすくモニターに映し出され、選手はその情報を基に次の試技に反映させていた。そこまでの情報を1試技1試技の中で確認できる代物は残念ながら国内では今のところないであろう。

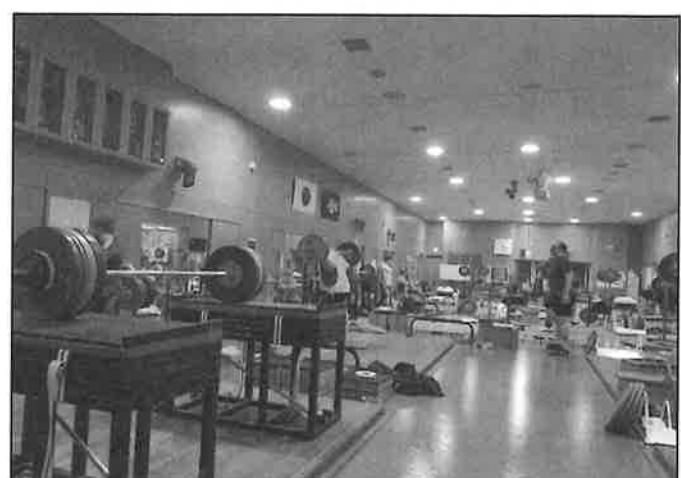
今回のチーム招待合宿は味の素ナショナルトレーニングセンターで実施した。ドイツにも同様の施設はあるが日常はウエイトリフティング専用施設で練習をしている。食事、居室、練習環境ともにドイツチーム全員がパーカクト。と口を揃えていた。

練習メニューは指導者間のミーティングで両国のスケジュールを照らし合わせ、同階級または近い階級の選手同士と一緒に練習できる種目の調整をした。日本チームのエース選手である糸数は自身より強い選手と練習させるため1階級上のドイツ選手と練習を組ませた。両国選手ともにモチベーションを高く持ち日本選手、ドイツ選手ともに自己記録を更新する選手が出たことは大きな成果と言える。

もう一つの目的は即時フィードバックシステムの活用である。ドイツチームは遠征のたびに持ち運んでおり今回も2台設置した。モニターでドイツ選手同様、日本選手も各自の修正点を確認しながら練習することができ、その有効さを改めて実感した。

両国を代表する選手20名近くが1つの練習場で練習をする光景は、国際大会に行った際の練習場にも似た迫を感じた。試合ではないこともありMIXトレーニングをした選手間の心の距離は近くなり、同じ目標を持った同志という感覚でコミュニケーションをとる様になっていた。

活気溢れる練習の雰囲気は選手のモチベーション向上、競技力向上に大きく貢献し、実りあるチーム招待合宿であったと言える。このような合宿を定期的に実施することは選手の競技力向上は勿論、国際大会でも臆さない国際人養成という観点でも良いと感じた。



ドイツチームの練習スタイル。1試技ごとにデータを確認しながら、『丁寧な練習』が印象的。日本選手もMIXトレーニングをしながら、自分がどのような試技をしているのかを数値、画像で確認し必要な強化ポジションの確認に役立つことができた。



今合宿では、厳しい稽古で有名な境川部屋に見学、稽古の計画を入れた。境川親方は元『両国関』。大学の先輩でもあり快く受け入れていただいた。ドイツメンバーだけでなく日本人ですらなかなか経験できることであり、境川親方と部屋の皆様に改めて心より感謝したい。

『ぶつかり稽古』では日本、ドイツの+105kg級4名と62kg級の中山が参加した。中山は子ども扱い、日本の第1人者である太田でさえ同等以上の体格に囲まれる機会はないであろう。太田、知念、村上も、なかなか低い姿勢を維持しきれず簡単に押し込まれる結果であった。ドイツチームにとっても日本の良い思い出になった。日本チームはこの期間にいろいろな刺激を入れたいと考えていたこともあり、絶好の機会となった。

稽古後は『特製ちゃんこ料理』をいただき、ドイツチームもフォークを使わず箸にチャレンジ。とても美味しい大変有意義な時間を過ごさせていただいた。

IAT 即時フィードバックシステム (Germany)

S-スペース V-スピード P-パワー T-タイム

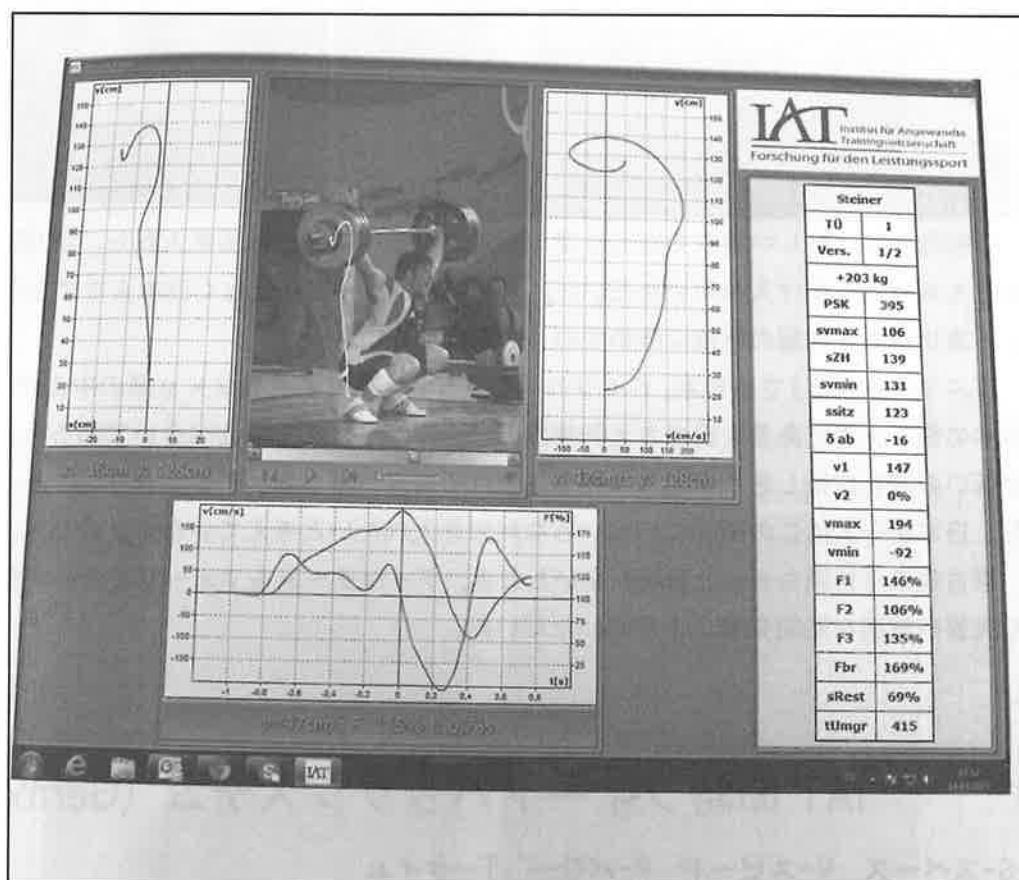
PSK	(拳上重量 kg × VMAX ÷ 100)高い数字ほど高記録に繋がる。
SZH	高さ MAX (+ーは構えた位置からの前後差 cm)

Ssitz	キャッチの高さ (十一は構えた位置からキャッチの前後差 cm)
V1	床から膝までのスピード
V2	膝からのスピードの変化 (%) (+の方が望ましい)
VMAX	最高スピード
Vmin	落下スピード
t Umgr	SVMAX からキャッチまでのスピード (0. 350秒を切ると非常に速い。) (平均 370-400)
SVMAX	VMAX の位置(高さ)
Svmin	キャッチを始める位置 (十一は構えた位置からの前後差 cm)
Oab	キャッチの最終姿勢までの落差。
F1	脛から膝までのパワー出力 (%)
F2	膝からセカンドまでのパワー出力 (%)
F3	セカンドブル(VMAX 直前)のパワー出力(%)
FBr	キャッチ直前に使うパワー出力 (%)
sRest	VMAX 後の拳上に使うパワー出力 (%)

※ 両側のプレートを測位して数値を計測するもので、ダートフィッシュなどより手軽でウェイトリフティングに特化したソフトウェアである。（ドイツ製）

上記を選手が練習しながら即時に確認できることで改善点等を明確化し、次の試技に反映できることは非常に有用である。このIATシステムはヨーロッパの他国でも活用されている。

現在このシステムを基に日本独自のシステムの開発依頼をしているが、まずは既存のものを活用し、強化育成に即時対応していく必要性があると私自身強く考えさせられる。



大学生米国研修合宿

【概要】

期 間 平成26年2月10日～平成26年3月4日（22泊 24日）

スタッフ 加藤智子（JWA常務理事），岡田純一（早稲田大学），壹岐優（仙台大学）

選 手

女子	53kg級	福家英理子	関西大学
	58kg級	植松 瞳	立教大学
	75kg級	柏木悠里	関西大学
	+75kg級	七戸美空	金沢学院大学
男子	69kg級	神谷勇斗	早稲田大学
	77kg級	新海勇輝	法政大学
	77kg級	会津圭吾	慶應義塾大学

計 役員 3名 選手7名 合計10名

本事業は大学生選手を対象とし、全米ウェイトリフティング協会・トレーニング拠点の一つであるルイジアナ州立大学において、現地の選手と共にトレーニングを実施するとともに、国際舞台で活躍できる人材養成として、英語力を養うことを目的とした。すなわち、単なる強化合宿ではなく、英語圏でのホームステイ、現地講師による英会話クラス、トレーニング科学に関する教育プログラムも実施された。さらに、ピーキングおよびコンディショニングといった視点から、競技パフォーマンスを引き出す練習計画を策定し自身で結果を出すことを課題とした。

合宿地に選定した、アメリカ合衆国ルイジアナ州シュリーブポート市のルイジアナ州立大学シュリーブポート校（以下：LSUS）は2008年度から本会が合宿を行い、今回は6回目となる場所である。同校のDr. Pierce教授が主宰するウェイトリフティングクラブは、USA Weightlifting



Development Centerとしてアメリカの選手育成の拠点となって、小学生から社会人まで多くの選手が練習を行っている。

このようなトレーニング環境に加え、各選手は学生および関係者宅でのホームステイを通して、英語を日常的に使用する環境においた。さらに、滞在中に専属講師による10回の英会話クラス（150分）を受講し、英語力の向上を図った。合宿後半の練習では日本選手同士であっても日本語を使用させないように「No Japanese Session」を実施し、トレーニング場内で日常的に使用されている会話に対応させた。この他、英語によるスポーツ科学およびエイトリフティングに関する講義をPierce教授、Moreno氏、TAKEI氏から受講した。最終日に自己記録に挑戦するトライアル日を設定し、合宿の目標の一つである、ピーキング・コンディショニングにおける評価を実施した。ほとんどの選手が目標とした重量を挙上し、自己記録を更新した者も3名いた。

【選手報告】

FUKUIE Eriko

福家 英理子（関西大学2年）

今回の合宿の練習メニューではスクワットやデッドリフト、プレス系などの補強種目を重点的に練習し、種目につながるようにすることを目標に全体的なレベルアップができるように練習メニューを組みました。最後の練習ではスクワット7キロアップできたので、しっかりと自分を追い込み、練習できたと思います。様々な大学の練習方法を実際に見て、とてもいい勉強になりました。今回の合宿で基礎的なレベルアップにつながったと思います。しかし、体の柔軟性を上げることと、腕だけで引いて、体幹をしっかりと使って体を動かしていないという課題も見つかったので改善ていきたいと思います。

生活面

今回の合宿では、女子選手4人が全員同じホームステイ先ということで、日本人選手だけで日本語で話すのではなく、なるべく自分から積極的に英語でコミュニケーションを取りに行こうを目標にしていました。合宿が始まって初めの1週間は、やはり日本語で話してしまうことが多く、あまり英語でコミュニケーションをとれませんでした。しかし、練習と一緒にすることで、盤の貸し借りやスクワットの補助など、話す機会も多くなり、だんだんと英語で積極的にコミュニケーションをとることができたと思います。ホームステイ先の方とも初めはあまり会話が続きませんでしたが、毎日英語のレクチャーを受けることで、少しずつ理解できるようになりジェスチャーなども使い、会話が弾むようになりました。今回の合宿で英語のリスニングやコミュニケーション能力が身に付きました。

At this training camp, there were many things to study on various sides, such as not only a practice side but a life side. This training camp could study various things and became a very good experience. It was very interesting for there to have been an opportunity to study also about traditional American culture, and to have considered the difference in the culture of Japan and the United States in a lesson. I am thankful to many people related to this training camp.

今回の合宿では練習面だけでなく生活面などの様々な側面で学ぶことがたくさんありました。今回の合宿は様々なことを吸収できとてもいい経験になりました。



授業の中でアメリカの伝統的な文化についても学ぶ機会があり、日本とアメリカの文化の違いについて考えるのはとても興味深いものでした。
この合宿に関係された多くの人に感謝します。

UEMATSU Hitomi

植松 瞳（立教大学1年）

I went to the USA for the first time. I was surprised to all things in USA and learned many things. Japanese differ from American in many aspects. For example, physical constitution, power, training style. Through training with LSU members, I was able to find a clue to overcome my weakness of jerk technique. I want to practice more to get stronger. Meals and the lifestyles were different, too. American food is big, and there is much quantity. We made lots of good memories. The most impressive experience for three weeks is Mardi Gras parade.

Thanks to your support, I had a great time. I could not speak English well but LSU members and host family were always kind to me. I am glad that I could meet you. I will never forget the time that I spent with everyone. I will definitely go back to USA in the future. Thank you from the bottom of my heart.

海外経験の少ない私にとって全てのことが新鮮であり、慣れない環境で生活や練習をする中で、たくさんのこと学びました。練習に関しては他大学の選手や他国の選手との練習を通して、自分の弱点の改善、特にジャークの改善を目標にこの合宿に臨みました。練習場に入った瞬間LSUの選手と日本選手との体格やパワーの差に圧倒されました。練習計画やスタイルなどの違いも多くあり、非常に勉強になりました。特に私はLSUの選手は脚に比べて上半身や肩周りが太く、しっかりしているという印象を受けました。そのためスナッチよりジャークが得意な選手が多いようです。ジャークが苦手な私にとって、苦手を克服するための手掛かりが見つかるのではないかと思い、練習を観察してみました。すると、ジャーク系の練習と上半身強化のトレーニングが多いことに気づきました。誠一郎さんにLectureでperiodizationのお話をいただき、その中でLSUのメニューについても教えていただきました。週5日の練習でジャーク系の練習を4日も行っているそうです。食や遺伝子の違いも大いに関係しているとは思いますが、このトレーニングの結果がジャークの強さに繋がっていることを知りました。ジャーク強化のために、教えていただいたメニューをこれから練習に取り入れていきたいと考えています。

また、LSUでは大学生だけでなく、社会人や中高生、そして小さな子供たちまでもが同じ場所で練習をしていました。日本でこのような光景を見る事ではなく、アメリカでのウェイトリフティングの普及率の高さを感じました。

アメリカでの生活は新たな発見と驚きの連続でした。Mardi Gras paradeやホームパーティーなどの特別な行事はもちろんですが、毎日の食事や生活習慣の一つひとつが日本とは異なっていました。食事に関しても、アメリカ人は野菜をあまり食べず、meatやchickenなどをたくさん食べていました。栄養バランスは良くないですが、この食事がアメリカ人のパワーに繋がっているのだと思います。休みの日はみんなでショッピングに出かけたり、ご飯を食べに行ったり、



とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。最初は英語がなかなか聞き取れない、言いたいことが言えないというもどかしさを感じていましたが、常に英語が飛び交う世界で生活することで、少しずつ聞き取れるようになり、ぎこちない英語ではありますが選手やホームステイ先の家族とコミュニケーションをとれるようになりました。また、Pat先生の授業も非常に勉強になりました。発音練習が多く、日本語にはない特有の発音に初めは戸惑っていましたが、習った発音やフレーズを会話の中で使えたときはとても嬉しく感じました。3週間の中でもっと英語を話せるようになりたい、もっとコミュニケーションをとりたいという思いが日に日に増していました。

3週間でたくさんの素晴らしい出会いがあり、数えきれないほどの素晴らしい経験をさせていただきました。このような機会を与えてくださった日本ウェイトリフティング協会の皆様、私たちを暖かく迎えてくださったLSUの皆さん、Johnさん一家、京子さん、引率・指導してくださった岡田先生、加藤先生、壹岐さん、斎藤さん、そして日本チームのみんな、すべての方々に心から感謝いたします。この合宿で学んだことをこれから競技生活、学生生活、そして将来に生かしていきたいと思います。



KASHIWAGI Yuri 柏木 悠里（関西大学3年）

この度は米国研修合宿に参加させて頂き、心から感謝いたします。

今合宿は2度目の参加ということもあり、1度目とはまた違った視点で多くの事を見る事ができ、大きく成長することが出来たように感じます。

I appreciate all the people who supported this training camp. I had a great time in America. I will remember this experience forever. This was my second year attending the camp. I think this experience made me grow a lot this year also. My first week last year, I wasn't able to talk very much because I was nervous. So I intended to talk more when I arrived at the airport. There were new members this year but I was able to talk to them smoothly. The memories made together with the American members of training, shopping, eating and Mardi Gras are very important. During this training camp, I was sometimes irritated when I couldn't make myself understood in English. Then I thought that I want to learn English more and more. So I think I will do my best.

Thank you from the bottom of my heart.

練習面に関して、今年は肩を少し痛めていたため自己新記録を狙える状態ではありませんでしたがベストに近い今できる最高目標を最終日に向けて設定し、種目のみでなく補強においては自己新記録が取れるようなメニューの計画を3週間分事前に提出していました。それに沿って練習を行い、目標を達成できたことは競技面においての今合宿の成果だと思います。また今

年はLSUSのメンバーと練習時間が合うことも多く、互いに話し合って練習を進めたり、体幹トレーニングを行ったり、アクティブルートではバスケ・スイミング・ヨガ・スカッシュなどを一緒にすることが出来ました。共に声を掛け合いながら体を動かすことで練習面だけでなく語学面でも多くのことを学ぶことが出来ました。

その他にもカナダのナショナルチームが合宿に来られており、ロンドンオリンピックに出場していた選手とも練習をさせていただきました。集中力・筋力・スタミナ・オーラなど全てが卓越しており、その姿を間近で見ながら練習できたことも私にとって大きな財産となりました。

生活面においては昨年と同じHost familyに受け入れていただきました。今年は日本人の女子が4人全員その家でStayすることになっていたので日本人同士もできるだけ日本語を使わず、家族とコミュニケーションをたくさんとろう！という目標で取り組みました。ショッピングに行ったり、Stay先のお母さんとLSUSの女子のメンバーで土曜日の夜にガールズパーティをしたり、Mardi Grasという伝統的なお祭りにみんなで行ったり、最終週にはカナダのメンバーも含めてBBQをしたりとAmericaのメンバーが交流する機会を多く作ってくれていたため、生活面においても大変充実した3週間を過ごすことが出来ました。

ESLクラスにおいては毎日午前中約2時間半の授業を受け、今年は発音練習を重点的に学習しました。日本人が苦手とする「TH」の発音などをPat先生に繰り返し指導していただき、それが少しずつ身につきはじめると、やはりアメリカのメンバーとの会話も少しスマーズになりました。

昨年から思っていたことではありますが、机上の学習で文法などを学ぶことは大切です。しかし実際にネイティブな英語を聞き、理解しようとすることがこの上ない勉強法になるということを改めて認識することができました。日本人も地方によって方言があるように、アメリカ人も人によって発音・話し方などが全く違い、多くの人と関わることで様々な角度から学ぶ事が出来、それがまた次のコミュニケーションに繋がります。うまく通じない時はたとえ単語だけであっても少しずつアメリカのメンバーに聞きながら会話することで伝えることの大切さ、伝えたいと思う気持ちの大切さに改めて気づかされました。昨年より少し話せるようになっていたものの、更に話したい、聞きたいという思いが大きくなりました。

3週間の今合宿に2年間行かせていただいたことで更に競技力・語学力への意欲が湧き、日本では経験できない多くの刺激をいただきました。2020年の東京オリンピックを含め、少しでも多くの場面で貢献できるようこれからも精進したいと思います。

ありがとうございました。

SHICHINOHE Miku 七戸美空（金沢学院大学3年）

私は今回のアメリカ合宿で練習面やアメリカの文化などをたくさん学ぶことが出来ました。大学生米国研修合宿は普段の強化合宿などとは違って、3週間現地の人のお家にホームステイをしながら午前中は英語の授業、午後はアメリカのみんなと練習というものでした。私はアメリカが初めてでホームステイも初めてだったので最初の一週目は戸惑うこともたくさんありましたがあ、現地の人はとても優しく接してくれました。練習面では、私が普段大学でやっているよ



うな練習とは違うものがありました。たとえば、3本1セットを連続でやるのではなくて1本終わったら30秒インターバルをあけて2本目をして、また30秒インターバルをあけて3本目をする、というものでした。普段そういう練習をしないので私もやってみたいと思いました。他には回数をこなすメニューが多かったです。SQT 10本MAXやDLの回数をよく入れていました。筋トレや体幹は練習後にはもちろんのことしていました。また、カナダのナショナルチームも合宿に一週間来ていました。そのカナダ人にはロンドンオリンピックで女子69kg級に出場した選手や他にもオリンピックに出た選手も居ました。一緒に練習をしてとても刺激をもらいました。LSUSのウエイトトレーニングルームはLSUSの学生だけではなく、地域の小学生から大人まで利用していました。そのため土曜日の練習ではLSUSの学生とカナダチームと地域の方々と一緒に練習しました。たくさんの人と練習が出来たのでモチベーションがあがっていい練習が出来ました。練習以外の面では、毎日150分の英語の授業で発音などを教わりました。普段学校でする英語の授業とは違い、150分間は日本語禁止でEnglish Only、そして先生も現地の人で生の英語で英語の勉強をしました。授業で学んだ英語を実際に練習の時やホストファミリーの方に使ったりして、少しですが伝わった時の喜びは大きかったです。練習や授業以外ではLSUSのチームのみんなとシュリーブポートの伝統祭りに行ったりしてアメリカの伝統文化などと触れ合うこともできました。毎日が充実していました。

3週間という期間、たくさんの人と出会い新しいことの発見がありました。このような経験ができたことに感謝しています。今回合宿で得たことを忘れずこれから競技人生に役立てていきたいと思います。ありがとうございました。

I learned a lot of things in the training camp in America. It was a quick 3 weeks. I was very glad that everyone kindly accepted me. I appreciate your support and great help during my home stay. I will never forget your kindness as long as one lives. If have another opportunity, I would like to visit your house again!! I was very happy to spend a lot of time with LSUS TEAM. We are big weightlifting family!! Thank you from the bottom of my heart.



KAMIYA Yuto

神谷勇斗（早稲田大学3年）



この度はアメリカ研修合宿のメンバーの一人として参加させていただいたことに感謝します。本合宿は2月10日から3月4日の3週間にわたってルイジアナ州立大学シュリーブポート校で英語の授業を受け、午後はLSUSのウェイト部と合同でトレーニングを行い、ホームステイ先に宿泊するという英語力向上、競技力向上の目的には最適の内容でした。

競技面に関して感じたことは、アメリカの選手と日本の選手のスタイルが異なることに驚きました。日本の選手は他国と比べるとパワーでは劣るのでフォームや技術系を大切にしますが、アメリカの選手はあまりフォームを気にしているようには感じませんでしたがそれをパワーで補っていました。そのため日本人はとても良いテクニックを持っていると言われることが多かったです。逆に私はアメリカ人のようなパワーを手に入れたいなと感じました。

またLSUSのメンバーの中にはオリンピック選手や世界選手権に出場している選手などアメリカを代表する選手が多くいました。

C&Jで200近くやる選手やS150で3本やる選手がいてとても刺激的な練習を体験することができました。

私生活においては、とにかくアメリカの人たちはフレンドリーで誰に対しても積極的にコミュニケーションを取り上下関係がないので皆が友達という感覚でした。会ったときや帰りの時は握手をしたり、ハグをしたり、知らない人同士でもそれ違う時に挨拶を交わすなど規律のある日本との文化の違いを感じました。

3週間LSUSのメンバーと共にして英語でうまく伝えることができなかったり、悔しい思いもありましたが、毎日が新鮮で刺激的で、アメリカの皆がとても親切であったので本当に充実した3週間を送ることができました。これからも英語の勉強の継続とウェイトの練習に精進していきたいです。

I'm going to the United States is first time. It became a treasure for three weeks which lived in the United States. It is thankful to especially the Seiichiro, Michael, and Johnny that are host families. Thank you. I think that it succeeded in the improvement in speaking English, and improvement in weightlifting in United States. That is because LSUS everybody was. Thank you.

I felt that I should more study English. Then I should continue to study English. Thank you for everyone. See you again.

SHINKAI Yuki

新海裕輝（法政大学1年）

I appreciate all the people. I was able to much wonderful experience. I was interested in American training program. It was very fresh for me, and I decided that did it. All the LSUS members were training hard and it gave me the stimulation. Then, I was able to get PR. I was interested in pronunciation too. Pronunciation was too difficult for me, but Ms. Pat and my friend taught me very clearly. Consequence, I improved my English skills

between three weeks.

All of LSUS members are on good terms each other, it's like big family. While we stay, I was glad to consider us as a "family". I want to make use of the experience that I got here. In addition, I study more English, become stronger and come back to the USA. Finally, including a host family, I'm grateful to all the people.

まず初めに今回私をアメリカ研修合宿に参加させていただきありがとうございます。日本語が通じない環境や日本との文化の違いに戸惑いながらも、親切なLSUSの方々に支えられて何事もなく3週間過ごすことができました。

私のこの合宿での目標は、自己新記録を取ること、アメリカの練習や食事から体を大きくする秘訣を探ること、コミュニケーションを通じて自分の英語力の向上と文化の共有することの三つありました。まずこの合宿は事前に自分で作ったメニューをこなすという形だったので、最終日に自己新記録が取れるようメニューを組んでいきました。練習量や疲れを見ながらの微調整はあったものの、結果的に目標としていた記録を取ることができたのでよかったです。また私は日本にいる時からアメリカ人はどのような練習、食事をして体を大きくしているのかとても興味がありました。いざ行ってみると、LSUSの人たちは上体を強化するメニューを多くやっていることがわかりました。MPを10RM, PPを10RMなど筋力を確実につけていました。これらの練習に加えて食事ではたんぱく質を多く摂取しているため、体が大きくなるのだと思いました。また時期に応じて回数や強度を変えたり、練習後のストレッチやアイシングは欠かさないところを見て、しっかり考えながら練習しているところがみてとれました。私たちも見習うべきことが多くあったように思えます。ここに書ききれないほど多くの収穫があったので今後の自分の競技生活に生かしていきたいです。

生活面で一番困ったことは言いたいことが英語にできず言えなかっただけです。何度もこのもどかしさに悩まされ、ジェスチャーを使ったり電子辞書を使ったりして伝えました。自分の今まで学んできた英語も、いざネイティブの人を目の前にすると単語やぎこちない文しかでてこないことがわきました。しかし、アメリカ人同士の会話もスピードこそ速いものの、簡単な単語や文で構成されていたことが意外でした。だから慣れさえすれば話せるようになると思いました。また学校で教わる英語と生の英語との違いも身に染みて感じました。しかしどちらが良いかということではなく、両方をうまくつなぎ合わせることで自分の英語力は向上すると思いました。

3週間の間でしたが今までにない濃い経験をたくさんすることができました。私一人ではこのような経験はすることができず、たくさんの方々の支えがあったからだと思います。全ての人に感謝してここで得た経験や繋がりを今後の生活に生かしていきたいです。ありがとうございます。

AIZU Keigo 会津圭吾（慶應義塾大学2年）

今回、米国合宿に参加させていただき、様々な体験をさせていただいた。午前中はパット先生の英語やレクチャー授業に始まり、午後からトレーニング。夜はホームステイ先で時間を過ごすというプログラムで3週間を過ごした。海外遠征という、異文化に触れながらのトレーニ





ングがそもそも初めての経験であったため、そのような経験を通して気付いたことをいくつか述べようと思う。

まず、パット先生のESLについてである。ESLでは、基礎英語に始まり、ウエイトリフティングにおける英語の扱い方など、3週間という短い期間であったが、幅広い分野の英語を身に着けることができた。まだまだ下手ではあるが、日に日に、ESLの授業を通して、トレーニング、ホームステイ先でのコミュニケーションの能力が身についていることを実感できた。

次に、トレーニング面で気が付いたことである。私の大学とLSUSのトレーニングにおいてもっとも異なるなと感じたのが、しっかりととしたプランを組み立て、計画的にトレーニングを行っているという点である。LSUSメンバーのトレーニングは、ただ闇雲に試技や補強のマックスを狙うのではなく、4つのフェーズに分けて、明確な目的を持ち、トレーニングをしていたことに非常に感銘を受けた。レクチャーを通して学んだPeriodizationを取り入れて、計画性を持ち、目的のあるトレーニング方法を取り入れていこうと思う。

最後にホームステイ先での生活について述べようと思う。今回、3週間コリンの家で生活をさせていただいて、食事面やコミュニケーションの面など、非常に多くサポートしてくれた。日本の文化や習慣などに非常に興味を持ってくれ、積極的にコミュニケーションを取ることができ、アメリカについて、様々なことを教えていただいた。

私にとって、米国合宿はあらゆる面で非常に充実したものであり、今後の競技生活、人生に役立たせていきたい。スタッフの岡田さんをはじめ、日本チーム、LSUS WLメンバー、当合宿に携わっていただいたすべての方に感謝の意を込めて、結びとさせていただく。ありがとうございました。

The time I spent at LSUS was a truly fantastic experience. I was able to learn many things through Ms. Pat's classes, Weight Lifting lectures, training with the LSUS weightlifting team, and spending time with my host family. The ESL classes really helped improve my English. Training with the LSUS team, on the other hand, provided me with many new kinds of knowledge, especially concerning practice menus. I am planning on using periodization in both my personal and my university team's future workout programs. Finally, I had a great time with my host family, and we were able to exchange stories and learn a lot about each other's cultures. Kollin supported me both in terms of nutrition and communication, and I am very grateful for that. I'd like to thank Mr. Okada, the Japanese weightlifting team, the LSUS team, and everyone who made this trip possible, for all of their efforts. Thanks to everyone, I was able to have an amazing experience, and I'd like to use everything I gained from this in my future endeavors.

Thank you!!!!

【本事業の意義】

壹岐 優（仙台大学） IKI MASARU

この度は、大学生米国研修合宿に指導者という立場で3週間参加させていただいた事に感謝申しあげます。本合宿は、大学生時の参加を含め2回目となりました。指導者として合宿関わる事によって、選手として参加した際には、気づくことのできなかった事を感じる同時に指

導者として求められている事を再認識致しました。

国際合宿に指導者として参加させていただく事は、初めての機会であり、行動に対しての戸惑いが多々あり周囲の方々に迷惑を掛けてしまう日々が続き、反省の毎日が続きました。自分には、先の状況を予測し行動する能力が欠けていると改めて感じました。

今合宿の第2週目の1週間においては指導者が私一人という状況になり、練習、調理も含めた食事の管理、選手のコンディション管理、遠征費管理、プログラムの調整などを一人で行うという機会がありました。その際、LSUSの選手、ホストと積極的にコミュニケーションを取り、多く方にサポートをしていただくことで業務を円滑に行う事ができました。

各選手の取り組みにおいては、とてもポテンシャルが高く、常に向上心を持って自分自信が掲げた目標の達成に精進している姿が見られました。自らが設定したメニュー以上に自分に課題を課して競技力向上に努めていたと感じました。ほとんどの選手において目標に掲げていた重量を挙上する事ができ、多くの自己新記録も達成されていました。

全選手が共通して積極的に行っておりました取り組みとして、自らの試技を動画撮影です。各選手は、撮影した動画を瞬時に確認、または、各選手に私が送信した動画を練習後に確認し、動きの確認と課題の改善に努めていました。

今合宿に指導者として参加させていただき、指導者として求められている、常に先の状況を予測し行動していく重要さを深く学ぶ事ができました。また、自らの未熟さを感じたと同時に指導者として多くの事を経験し、学んで行かなくてはならないと改めて感じました。語学力においても周囲に比べ劣っていると再認識した為、語学力向上へ勉学に励んで行きます。本合宿に指導者として参加する機会を与えてくださった、日本ウエイトリフティング協会、指導者各位に暑く御札を申し上げます。



【おわりに】

競技力と国際力の強化という二つの大きな目標により開始したアメリカ合宿は、2009年2月に第1回が実施され今回で6回目であった。日本チームの準備、現地の受け入れ態勢など年々スムーズに運べるようになり、プログラムも充実してきていると同時に、2020オリンピック・パラリンピックの招致成功により今回特に参加選手のモチベーションが高いように感じられた。3週間の合宿で特に語学力については、短期間で効果を上げる為に行った診断テスト、口語テストの結果の向上が参加したすべての選手において顕著であった。現地スタッフや選手に積極的に話しかけ、会話を楽しんでいたようである。また練習面においても、最終週にはPierce教授の計らいによりカナダのナショナルチームが合宿に合流し、貴重な体験となった。参加した選手たちは、今後どのように自分がウエイトリフティングと関わっていくかについても改めて考えたようだ。世界で戦うために必要不可欠なツールのひとつである、語学力の向上はもちろんのことスポーツ全般やトレーニングに関する知識も積極的に吸収しようという努力が感じられた。これらの知識が競技力向上はもちろんのこと今後の「国際力」の向上の礎になることと期待したい。

また今回の合宿もPierce先生およびLSUSの大学関係者、クラブ関係者、ESLのFrazier先生、現地邦人の方など多くの方々にご支援頂きこのプログラムが成功したことに感謝申し上げたい。

(加藤智子)

平成25年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会

指導者育成委員会 小栗 和成

平成26年2月22日（土）～23日（日）味の素ナショナルトレーニングセンターで平成25年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会を実施しました。昨年度から公益財団法人日本体育協会公認ウエイトリフティング指導員の専門科目の講師を養成する講習会として実施しています。本年度は9月の東京 NTC で6回目の指導員養成講習会を実施しました。その講義内容を講義担当者から詳しく話をしていただきました。

講義内容

2月22日（土）

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 初心者の指導について | 小栗 和成 |
| 2. 指導計画の作成について | 小宮山哲雄 |
| 3. ルール・指導者としての心得 | 岡本 実 |
| 4. ウエイトリフティングの初心者指導について | 分科会 |
| 5. 指導員講習における実技指導
(スクワット、スナッチ) | 小宮山哲雄
小栗 和成 |

2月24日（日）

- | | |
|-------------------------|-------|
| 6. 指導員講習における実技指導（C & J） | 小栗 和成 |
| 7. 体力トレーニング | 永友 憲治 |
| 8. 動作分析と指導方法 | 武井多加志 |
| 9. ウエイトリフティングの傷害 | 福森 繁明 |

以上の内容で実施しました。指導員養成講習会は各都道府県で 13 名以上の受講希望者があれば実施できます。現在公認スポーツ指導者の有資格者でこの研修会に参加した方は、各都道府県協会で実施する指導員養成講習会専門科目の講習会での講師ができますので、ぜひ各都道府県で指導員の有資格者を養成してください。

第16回アジアユース選手権大会

第21回女子・第28回男子アジアジュニア選手権大会

今年8月に中国南京市で開催される第2回ユースオリンピック競技大会のアジア予選を兼ねてアジアユース選手権大会が行われるため、平成25年度内に二度目のアジアユース選手権大会の開催となり、併せてアジアジュニア選手権大会も年度内2度目の開催となった。

当初、タイ王国バンコク市内で開催予定であったが、タイの政治的混乱が長引く中、会場地がバンコクの南西約70kmに位置するチョンブリー県バンセンというリゾート地に変更されての開催となった。

ユース選手団は3月1日に出発し3月8日に帰国、ジュニア選手団は3月6日出発して3月13日に帰国した。

第16回アジアユース選手権大会

専務理事 岡本 実

ユースオリンピック競技大会アジア予選としてのアジアユース選手権大会の結果は、男子が団体第9位(5位までが各国1名の出場人数枠を獲得)、女子が7位(4位までが各国1名の出場人数枠を獲得)という結果で、出場権を獲得することができなかった。

個々の選手については、女子63kg級石井未来がすべての試技に成功して第3位、他の3人も全員が5試技に成功するなど健闘した。

出場選手全員が高校入学前からのウェイトリフティング競技経験者。早くに競技を始めたことを中心にそれぞれの選手に話を聞きました。



役員 監督 岡本 実 (専務理事、選手強化本部長)

コーチ 平良 真理 (選手強化委員会委員、沖縄工業高校)、コーチ 石井 伸子 (亀山高校監督)

選手 男子 69kg級 伊丹玲於奈 (四日市中央工業高校)

69kg級 宮本 昌典 (沖縄工業高校)

女子 58kg級 谷口さつき (滑川高校)

63kg級 石井 未来 (亀山高校)

成績

階級	氏名	スナッチ					C&ジャーク					トータル	順位
		1	2	3	記録	順位	1	2	3	記録	順位		
男子 69kg	宮本 昌典	113	117	120	120	5	140	145	×150	145	5	265	7
	伊丹玲於奈	100	105	107	107	11	130	×135	135	135	10	242	11
女子 58kg	谷口さつき	60	63	66	66	8	75	78	×80	78	10	144	9
女子 63kg	石井 未来	69	73	75	75	3	85	89	93	93	3	168	3

〈選手にインタビュー〉

岡本 皆さんは高校入学前からウエイトリフティングをやっていたと聞いていますが、いつ頃からどういうきっかけで競技を始めたのですか。

宮本昌典 小学校6年生の秋頃からです。僕の親と先生が知り合いだった関係から競技をするようになりました。

伊丹玲於奈 僕も小学校6年生の時です。先生に勧められて始めました。

谷口さつき 私は姉が競技をやっていてその試合を見て興味を持ち、中学2年生から始めました。

石井未来 両親が競技経験者で、ウエイトリフティングを学校で教えていた影響で小学6年生の時に始めました。

岡本 ウエイトリフティングを始める前に何かスポーツをやっていましたか。

宮本 僕はレスリングをやっていました。沖縄県大会で優勝しています。

谷口 小3・4と空手を、中学生になって3年間卓球をやっていました。市民大会で3位になりました。

石井 私は柔道で県ベスト8になりました。

岡本 みんなすごい実績を持っていますね。伊丹君はどうですか。

伊丹 僕は特に何もしていませんでした。

岡本 何もしていなかったのになんでそんなに強くなれたのでしょうかね。それでは次に早くから競技を始めてよかったですを話してください。

宮本 競技を早い時期から始めたことで、早くにしっかりとしたフォームを身に付けることができたので、一步先の練習をすることができました。

谷口 私も競技のスタートが早かったので同級生の中では強い方にいることができたので、普通は1年生では行くことが出来ない合宿に参加することができたりしたことが大きな刺激になりました。

石井 私は高校から始めた仲間に「すごい」と言われたり、早くから全国大会や国際大会に出られたりしたことです。

伊丹 僕も国際大会に出られたことです。

岡本 伊丹君はアジアユースゲームズで3位になって竹田JOC会長からメダルをいただいたんでしたね。伊丹君は今回で何回目の国際大会ですか。

伊丹 ウズベキスタンでの世界ユース選手権、中国でのアジアユースゲームズ、今回3回目の国際大会です。

宮本 僕も伊丹君と同じ大会に出て今大会が3回目です。

石井 私は2回目です。前の大会はアジアユースゲームズです。

谷口 私は初めての国際大会でした。

岡本 他によかったことはありますか。

谷口 私はさっき言ったことの他に、高校に入学しても知っている先輩ばかりで最初は仲良く話しをすることが出来たことです。

岡本 早く競技を始めたおかげで楽しい学校生活を送ることもできているわけだ。逆に困っていることや嫌なことってありますか。

宮本 大きな期待がかかっているのが少し困ります。

谷口 早く始めている分、他の選手には負けられない、勝たないとと思ってしまいプレッシャーが大きいです。

石井 私は嫌なことはないです。

岡本 さて、今大会の反省や感想を聞かせてください。

谷口 初めての国際大会だったので、代表に選ばれた時は本当に嬉しくて泣きそうでした。また、こんな記録でこの大会に出てもいいのかと悩んだときもありました。でも選ばれたからには、恥ずかしい競技をしないように努力をしました。今大会の記録には満足していません。スナッチで自己新記録に成功してまだまだと思いましたし、80kgをクリーンしても立てなかつたのが本当に悔しいです。だけど、これから自分は何をしなければならないのかを明確に出来たことは良かったと思います。

石井 最初の国際大会アジアユースゲームズでは3試技だけの成功に終わってしまったので、今回は

6回全部の成功を目標にしました。結果6試技全てに成功でき、自己新記録も出すことができて銅メダルをいただくことが出来ました。競技内容には満足していますが、海外にはもっと強い選手がいるので、今の自分に満足せず、海外の強い選手と自分のフォームの違いなど今回得たことをこれから練習に活かして行きたいと考えています。

宮本 競技会に向けての仕上げが上手にできませんでした。そのため自分の考えた競技展開ができませんでした。

伊丹 競技会前に腰を痛めてしまいました。怪我をしないように日頃からストレッチを大切にしなければならないと思いました。

岡本 日頃の身体のセルフチェックやセルフケアはとても大切なことです。

最後に将来のことをどのように考えているか、自由に話してください。

伊丹 大学に進学し、卒業後はウエイトリフティング部がある企業に就職したいと思っています。もっと練習量を増やし、体幹部を鍛えてオリンピックに出場したいと思っています。

宮本 大学に進学して練習を積み、周りを気にしそぎて自分自身に負けてしまう気持ちの弱さを克服して、オリンピックでメダルを取りたいと思っています。また、人として素晴らしい人間になれるよう自分を磨き上げていきたいと思っています。

谷口 記録を伸ばすだけでなく、内面的に良いところを伸ばして行きたいです。そして技術を磨き補強種目も強化して、誰が見ても強いと思われ、頑張って欲しいと本気で応援され、尊敬されるような国際大会で活躍する選手になるのが目標です。高校卒業後のこととはまだ迷っていますが、ウエイトリフティング部がある大学に進学して、私がなりたい職業の資格を取ることができればと思っています。

石井 たくさんの国際大会で入賞し、オリンピックに出場することを目標にしています。また、広い視野を持った競技者になりたいとも思っています。そのため、大学進学に進学し、大学卒業後はウエイ

トリフティング部がある企業に就職したいと考えています。

〈優秀選手の発掘・育成について〉

今アジアユース選手権に出場した選手のように身近に競技経験者やコーチがいるなどの人的なつながりの中で、または支部協会等で行っているウエイトリフティング教室やクラブで小中学生のころから競技を始めて中学・高校の全国大会で活躍する選手が数多く育っています。インタビューの中にあるように、早期の競技開始は早くにフォームを定着させ、他の選手より一步先のトレーニングを積むことができ、同年代の競技者より一段階上の重量を挙げることができます。一方で早い時期から故障を抱えている競技者やユース年代に優秀な成績を収めながらも記録が伸び悩む競技者がいることも事実です。このギャップを埋め、若い競技者の素質を将来的に開花させるため、本協会の指導教本では、個々の競技者の発達・発育段階に見合った指導、総合的な運動・オールラウンドな基礎体力の獲得の大切さを示しています。

日本協会では日本スポーツ振興センターの行うサッカーくじの助成を受けて、優秀な選手の発掘・育成のために中学生や高校生の研修合宿を行っています。この研修の中で、自律した競技者に育ってほしいことや目先のことだけにとらわれず優秀なシニア選手をめざしてほしいことを参加者に伝えています。そして、怪我をしない身体づくりと安定したフォームを体得するために体力トレーニングの実技講習を、自己管理のできる競技者となるための栄養・アンチドーピング・心理の研修を行っています。

日本協会では今年から、2020年東京オリンピックターゲットエイジ強化・育成の合宿を行います。また、小中学生を対象とした優秀選手の発掘・育成事業を新規に行う支部協会に対して助成も行います。将来性豊かなユース競技者が将来の夢を実現できるよう、皆様と力を合わせて行きたいと思っていますのでご協力をお願いいたします。

第21回女子・第28回男子アジアジュニア選手権大会

JOC 専任コーチングディレクター 城内史子

今大会は男子が14カ国から57人が、女子は10カ国から36人の選手が参加して開催され、日本選手は、男子105kg級の多田佳弘と女子+75kg級の嶋本美愛が3位となり、他の4選手も全員が8位入賞を果たしました。

試合終了後のドーピング検査で、日頃から十分に留意しなければならない選手と指導者の責任について痛感することができましたのでこの機会に紹介します。



役員
監督 横山 信仁（選手強化委員会委員）
コーチ 新井 健一（日本大学コーチ）、城内 史子（専任コーチングディレクター）
選手
男子 56kg 押田 真（日本大学）
62kg 近内 三孝（福島県立田村高校）
105kg 多田 佳弘（日本大学）
女子 63kg 小野 さえり（金沢学院大学）
63kg 吉田 朱音（金沢学院大学）
+75kg 嶋本 美愛（和歌山県立和歌山東高校）

成績

階級	氏名	スナッチ					C&ジャーク					トータル	順位
		1	2	3	記録	順位	1	2	3	記録	順位		
男子56kg級	押田 真	×97	97	100	100	6	122	127	×129	127	7	227	7
男子62kg級	近内 三孝	108	×113	113	113	5	140	145	×149	145	5	258	5
男子105kg級	多田 佳弘	130	×135	135	135	4	×175	175	180	180	3	315	3
女子63kg級	小野 さえり	80	×82	82	82	4	×98	98	×101	98	5	180	5
	吉田 朱音	68	73	77	77	5	83	88	93	93	7	170	7
女子+75kg級	嶋本 美愛	82	×86	86	86	3	112	115	×118	115	3	201	3

〈ドーピング検査について〉

競技終了後、検査役員よりドーピング検査の対象となつたことを告げられ、選手と検査室へ移動した時、その選手から「大会前に治療薬を使っていた」と報告を受けた。選手自身は、事前にその治療薬について日本アンチドーピング委員会（JADA）に問い合わせを行い、使用方法について問題がないこと、したがってTUE（治療目的使用に係る除外措置）の申請は必要ないことを伝えられ使用していた。しかし、今大会の監督・コーチには事前に治療薬の使用について報告がなかつた。ドーピング検査に際しては1週間以内に使用した薬品名等を英文で書面に申告しなければならず、治療薬とその使用方法の英語名を知ることとそれが本当にドーピング違反にならないのかを確認しなければならない必要が生じた。その日は幸いに平日であったので国立スポーツ科学センター（JISS）のクリニックに電話で問い合わせをしてそれらの確認等をすることができた。

帰国後の3月下旬、国際ウエイトリフティング連盟より世界アンチドーピング機構から前述の当該選手の検体から禁止物質が検出されたこと、TUEの申請の有無について書面で問い合わせがあつたので至急回答するようにとEメールで日本協会に依頼が来た。

日本協会では、JISSのクリニックとJADAから対応についての助言を得て、当該選手の診療と治療薬を処方した医師に依頼した英文の診断書と次の内容の回答をEメールで送信した。

- ・当該選手は治療のため医師の処方にしたがつて治療薬を使用していた。このことはドーピング検査の際に書類に記載してある。
- ・治療薬の使用方法と使用量については世界ドーピング防止規程の禁止表国際基準に違反していない。
- ・したがつてTUEは不要と判断する。

今回のことでの選手の使用薬についてきちんと把握していなかつたことは競技大会に帶同したコーチとして反省しなければなりません。そこで今後国際

大会に際して、アンチドーピングに関して次のことに十分留意して帶同しなければならないことが解りました

- ①選手が医薬品を使用しているか否かの事前の把握。
- ②使用している場合、その医薬品と使用方法が禁止表国際基準に違反していないかの確認。(違反している場合、競技会出場を辞退しなければならない。)
- ③TUEが必要か否か。
- ④医薬品と使用方法が禁止表国際基準に違反していない時は薬品名・使用方法・使用量をあらかじめ記録に残し、検査に対応できるよう準備する。
- ⑤当該選手を診療した医師・医療機関に医薬品の処方を含めた診療記録又は診断書の作成を依頼しておく。

しかし、これはあくまでも海外派遣に派遣される選手を平素は指導していないコーチがその派遣に帶同する場合のことです。禁止薬物がサプリメントに含まれていて資格停止となった競技者もいます。安価であることを理由にいまだに海外のサプリメントを使用している競技者もいるようです。また、医師が処方すればすべての医薬品が許されるわけではありません。

日頃からこれらのことの教育し、医療機関で診療を受ける場合はJADAや資格を持ったスポーツドクター・スポーツファーマシスト（薬剤師資格を持つドーピング防止規則に関する情報・知識がある専門家。）等に確認させ、競技者の状況を把握し、海外に派遣される競技者の情報を帶同する監督・コーチに伝えなければならないのは平素指導しているコーチの責任です。

一昨年、本競技からドーピング防止規律パネルで違反と判断され資格停止となった事例がありました。昨年の競技会では違反が危ぶまれた事例もありました。

アンチドーピングに関する指導者自身の学習と指導する競技者への教育が大切です。（城内・岡本）

第34回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会を終えて

栃木県協会 青木 延明



平成25年度JOCジュニアオリンピックカップ・第34回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会が平成26年3月14日から16日までの3日間、「栃木県立県南体育館」で開催された。全国から精銳選手153名が集い、手に汗を握る熱戦を展開した。

なお、この大会は平成26年度の国際大会の選考対象となる大会である。

男子

56kg級・・・本木和真（関西大）が優勝した。また、ユース50kg級該当の紙屋十磨（宝仙学園理数イクター中）がスナッチで73kgの日本中学新記録を樹立した。

62kg級・・・平井隼人（九国大）と艾幸太（日体大）の優勝争いとなった。艾がC&Jで逆転を狙ったが惜しくも失敗し、スナッチのリードを守り平井が優勝した。

69kg級・・・生頬永人（明石北高）と白草翔太（関西大）の争いとなった。スナッチは120kgで同記録であったが、C&Jで1kg差をつけた生頬が優勝した。また、ユースの知念勇樹（関西大一中）と山根大地（壬生中学校）がスナッチ・C&J・トータルにおいて日本中学新記録を樹立した。

77kg級・・・篠原航平（法政大）と加藤雄大（金沢学院大）の優勝争いとなった。篠原がスナッチ5kgの差をC&Jで挽回し優勝した。

85kg級・・・スナッチで1kg差の2位だった青野靖希（日大）が逆転で優勝した。

94kg級・・・屋良一郎（南部工業高）が優勝した。スナッチにおいて139kgの日本高校新記録を樹立した。

105kg級・・・田中太郎（九国大）が優勝した。2位にトータルで38kg差をつける独壇場

であった。

+105kg 級・・・知念光亮（豊見城高）と村上英士朗（滑川高）のハイレベルな争いとなつた。ともに高校 3 年生。昨年の全日本ジュニア選手権大会だけでなく、インターハイ・国体・全国選抜などで常に紙一重の勝負をしてきた 2 人の試技に、観客の視線は釘付けとなつた。まさに、記録にも記憶にも残る戦いとなつた。

スナッチでは 165kg のジュニア日本新記録を樹立した知念が村上に 5kg 差をつけ優勝した。C&J では知念は 200kg を挙げ、史上初の高校生 200kg リフターとして歴史に名を残した。しかしその直後、村上が 201kg のジュニア日本新記録を樹立して観客の度肝を抜いた。ともに 3 本目は 205kg に挑戦し惜しくも失敗したが、最後まで目を離せない好勝負となつた。

トータルで 365kg のジュニア日本新記録を樹立した知念が優勝した。村上は 361kg。3 位以下を大きく引き離した別次元の勝負であった。

女子

48kg 級・・・安嶋千晶（大子清流高）が 147kg の好記録で優勝した。高校生が表彰台を独占した。

53kg 級・・・佐渡山彩奈（平国大）が優勝した。スナッチでは僅差であったが、C&J で引き離しての優勝であった。

58kg 級・・・造田愛永（多度津高）と柴田里穂（関西大）の優勝争いとなつた。成功率で上回った造田が優勝した。

63kg 級・・・野本なつみ（早大）が優勝した。

69kg 級・・・下原昭衣（関西大）と糸井美奈未（加悦谷高）の優勝争いとなつた。下原がスナッチ 6kg の差を C&J で挽回し、体重差で優勝した。

75kg 級・・・小野田茜（柴田高校）と西尾里菜子（関西大）の優勝争いとなつた。成功率で上回った小野田が優勝した。

+75kg 級・・・清水里佳子（滑川高）が 2 位以下を大きく引き離し優勝した。

全体を通して

最優秀選手は、男子が+105kg 級の知念光亮、女子が 48kg 級の安嶋千晶が選ばれた。ともに高校生であり、今後のさらなる飛躍が期待される。

今大会も昨年に引き続き高校生・ユース世代の活躍が見られた。彼らの中から東京オリンピックのメダリストが出ることを切に願う。大学生は若い世代に押され気味であったが、今後の奮起に期待したい。

運営に関しては反省点がいくつか挙げられる。特に、選手控え室を用意できなかつたことについてはこの場を借りてお詫びしたい。次回、栃木県で上位大会を開催する時には選手のことを第一に考え、大会の準備・運営をしていきたい。

最優秀選手は男子105kg級知念、女子48kg級安嶋が受賞 69kg級は生頬（明石北）がT271kgで白草を抑え優勝！！



S104kg、J128kg、T232kg

56kg級優勝 本木 和真 関西大学1年

身長 160cm 自己ベスト S106 J128 DL163 Sq177 Mp63

<優勝の感想>

- ・成功率が良かったので優勝することができました。

自己評価 80点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・インカレで優勝する。

(スナッチ115kg、ジャーク135kg)

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>
合宿をもっと増やして、他大学との交流を増やしてもらいたい。



S112kg、J133kg、T245kg

62kg級優勝 平井 隼人 九州国際大学1年

身長 157cm 自己ベスト S112 J133 DL160 Sq175 Mp70

<優勝の感想>

- ・部員、家族、友人、高校の恩師のお陰です。

自己評価 85点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・世界選手権に出場したい。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・器械体操を取り入れてることで、スナッチのキャッチ、ジャークのさしが安定するのではと思います。



S120kg、J151kg、T271kg

69kg級優勝 生頬 永人 明石北高校3年

身長 163cm 自己ベスト S126 J160 DL185 Sq228 Mp73

<優勝の感想>

- ・しっかりと自分の試合ができました。

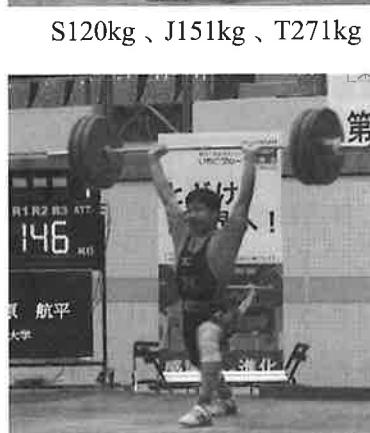
自己評価 60点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・大学へ行っても体調を崩さず、怪我に注意して順調に記録を伸ばしていきたい。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・特になし。



S120kg、J146kg、T266kg

77kg級優勝 篠原 航平 法政大学1年

身長 168cm 自己ベスト S121 J151 DL200 Sq202 Mp83

出身校 法政大学第二高校

<優勝の感想>

- ・スナッチ1本目を落とし、C&Jも自分の悪い所が出てしまった。
69kgの選手にも負けてしまったので0点です。

自己評価 0点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・今年中にトータル300kgを挙げ、全日本大学対抗に優勝することです。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・特になし。

+105kg級知念がスナッチ165kgのJr日本新で優勝！！ +105kg級村上がC&J201kgのJr日本新記録樹立！！



S125kg、J155kg、T280kg

85kg級優勝

青野 靖希

日本大学1年

身長171cm 自己ベスト S125 J155 DL200 Sq225 Mp70

出身校 佐土原高校

<優勝の感想>
・スナッチ1本しかとれなくて残念でしたが、C&Jは1kg自己新が出て良かった。

自己評価80点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

・冬の補強の強化の成果です。また、日本大学1年生の85kg級4名で切磋琢磨した結果です。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

・ドーピング対策の強化。



139kgHR、J168kg、T307kg

94kg級優勝

屋良 一郎

南部工業高校3年

身長176cm 自己ベスト S139 J172 DL210 Sq240 Mp96

<優勝の感想>

・記録にこだわって優勝できました。

自己評価80点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

・ジャークに課題があるので弱点を強化して、記録を伸ばしていく世界で活躍出来る選手になる。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

・海外遠征の試合の時に選手への負担軽減（費用面）を是非考慮してほしいです。



S140kg、J180kg、T320kg

105kg級優勝

田中 太郎

九州国際大学2年

身長178cm 自己ベスト S156 J190 DL250 Sq270 Mp95

出身校 水島工業高校

<優勝の感想>
・早生まれが幸いしました。

自己評価20点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

・試合でいつでも安定した結果を残せるようにしていきたい。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

・現状でしっかりしていただいているので満足している。



S165kgJNR、J200kgHR、T365kgJNR

+105kg級優勝 知念 光亮 豊見城高校3年

身長184cm 自己ベスト S165 J200 DL230 Sq255 Mp95

<優勝の感想>

高校総体や国体を負けての悔しさがあり勝ちたいと思う気持ちが大きかったか大変嬉しい。

自己評価70点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

大学に上がっても悔しさと、勝ちたいと思うのを忘れずに上を目指していきたい。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

58kg級造田（多度津高校）が初優勝!!

48kg級優勝 安嶋 千晶 平子清流高校2年
身長151cm 自己ベスト S67 J84 DL100 Sq115 Mp39

<優勝の感想>

- ・みんなの応援がよく聞こえて、もの凄く元気がでて優勝することができました。

自己評価 92点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・ハムストリングを強くして、最大限に使えるフォームを身に付けて下さい。

<五輪に向か、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・合宿をたくさん組んでほしいです。



S65g、J82kg、T147kg



S69kg、J90kg、T159kg



S77kg、J92kg、T169kg



S63kg、J80kg、T143kg

53kg級優勝 佐渡山 彩奈 平成国際高校1年
身長153cm 自己ベスト S72 J90 DL125 Sq120 Mp43

<優勝の感想>

- ・スタートの1本目を確実にとれたことが勝因に繋がりました。

自己評価 70点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・今回の結果はあまり納得していませんが、今後は1本、1本を確実にとり、自己新つなげて頑張りたいと思います。

<五輪に向か、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・海外の選手と合同練習をする機会を増やしたらいいと思います。

58kg級優勝 造田 美永 多度津高校3年
身長161cm 自己ベスト S78 J92 DL110 Sq140 Mp42

<優勝の感想>

- ・試合前の調整練習からある程度の重い重量を良いイメージでとれていたからだと思います。

自己評価 70点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・C&Jをはやく100kg以上にすることです。

<五輪に向か、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・特にありません。

63kg級優勝 野本 なつみ 早稲田大学1年
身長152cm 自己ベスト S64 J80 DL117 Sq125 Mp40

<優勝の感想>

- ・落ち着いて全試技できたことが勝因につながりました。

自己評価 60点

<記録面と今後の抱負・夢は？>

- ・63kg級で戦っていくには記録が低いので、これに満足せずに、自分に厳しく練習していきたいと思います。

<五輪に向か、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか？>

- ・強い選手と一緒に練習会を多く開いてほしと思います。

69kg級下原（関西大）が接戦を制し初優勝!!



S68kg、J94kg、T162kg

69kg級優勝

下原 昭衣

関西大学1年

身長166cm 自己ベスト S74 J96 DL114 Sq121 Mp47

<優勝の感想>

- ・ジャークで3本成功で優勝できました。

自己評価60点

<記録面と今後の抱負・夢は?>

- ・6本成功し、3本目には新記録を狙える試合をする。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか?>

- ・ブロックごとの強化合宿なども行ってほしい。



S76kg、J96kg、T172kg

75kg級優勝

小野田 茜

柴田高校3年

身長168cm 自己ベスト S77 J96 DL130 Sq125 Mp43

<優勝の感想>

- たくさんの方々の応援のおかげです。

自己評価90点

<記録面と今後の抱負・夢は?>

- 怪我に気を付けながら、体力をつけていきます。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか?>

- 強化合宿をもっと増やして欲しいです。



S69kg、J95kg、T164kg

+75kg級優勝

清水 里佳子

滑川高校2年

身長164cm 自己ベスト S71 J95 DL145 Sq160 Mp50

<優勝の感想>

- ・ジャークを3本とり優勝できて良かった。

自己評価85点

<記録面と今後の抱負・夢は?>

- ・数々の大会で優勝し、世界大会に出場していきたい。

<五輪に向け、選手としてどのような強化対策をしてほしいですか?>

- ・女子の大会を増やしてもらいたい。



表彰者は水泳オリンピアンの柴田隆一氏

男子最優秀 +105kg級知念光亮(沖縄・豊見城高校3年)

女子最優秀 48kg級安嶋千晶(茨城・大子清流高校2年)

中学新記録樹立 50kg級紙屋十磨(東京・宝仙学園理数インター中学3年)

S73kg

中学新記録樹立 69kg級山根大地(栃木・壬生中学3年)

S91kg、C&J112kg、T203kg

中学新記録樹立 69kg級知念勇樹(大阪・関西大学第一中学3年)

S93kg、C&J120kg、T213kg

高校新記録樹立 94kg級屋良一郎(沖縄・南部工業高校3年)

S139kg

Jr 日本新記録樹立+105kg級村上英士朗(富山・滑川高校3年)

C&J201kg

Jr 日本新記録樹立+105kg級知念光亮(沖縄・豊見城高校3年)

S165kg、T365kg

第29回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会観戦記

上田 貢



最優秀選手と菊池副会長

第29回全国高等学校選抜大会が3月26日から3日間にわたり、石川県金沢市総合体育館にて開催されました。

この大会は、国のスポーツ拠点づくり推進事業として、金沢市で10年間継続開催され、今年で8年目を迎えました。

女子部門では、48kg級は、安嶋千晶選手（茨城県・大子清流）が53kg級は、榎本ほたる選手（埼玉県・埼玉栄）がそれぞれ優勝した。

58kg級では、眞柄朱里選手（福井県・坂井農業）が体重差で優勝、1位から5位までの差が6kgと大接戦となり最終試技まで目が離せない展開でした。

63kg級は、昨年度の本大会同様、柏木麻希選手（京都府・鳥羽）と福里悠選手（沖縄県・宮古）との優勝争いとなつたが、全試技を成功させた柏木選手が2年連続の優勝を飾った。

69kg級では、石井未来選手（三重県・亀山）が1年生ながら優勝した。

75kg級は、糸井美奈未選手（京都府・加悦谷）が、+75kg級は清水里佳子選手（富山県・滑川）がそれぞれ優勝した。

男子部門では、53kg級で、小林翔吾選手（埼玉県・埼玉栄）が大接戦を制して優勝した。

56kg級では、知念勇斗選手（沖縄県・豊見城）が、C&ジャークで125kgの大会新記録を樹立し2年連続の優勝を果たした。

62kg級では、大塚和選手（滋賀県・安曇川）が優勝した。

69kg級では、宮本昌典選手（沖縄県・沖縄工業）が、スナッチ122kg、C&ジャーク150kg、トータル272kgの大会新記録を樹立し、2位に40kg余りの差をつけ2年連続の優勝を果たした。

77kg 級では、原勇輝選手（徳島県・徳島科学技術）が、105kg 級では、丸本大翔選手（岡山県・水島工業）が、それぞれ 1 年生ながら優勝した。

85kg 級では、二階堂功輝選手（北海道・士別翔雲）が 94kg 級では、佐藤啓隆選手（福島県・福島工業）が、+105kg 級では、野中雅浩選手（大分県・大分工業）がそれぞれ優勝した。



男子 69Kg 級 宮本昌典選手 C&ジャーク 150kg 大会新記録



女子 63Kg 級 柏木麻希選手 スナッチ 82kg

大会を終えて、最優秀選手男子には 69kg 級で 7 つの大会新記録を樹立した宮本昌典選手が、女子は、63kg 級柏木麻希選手が選ばれました。今大会は、1 年生の活躍が目立ち、また、多くの階級で熾烈な優勝争いが繰り広げられました。3 日間の試合を通して、7 の大会新記録が樹立され、大変素晴らしい大会となりました。

平成26年度第11回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会観戦記 普及委員長 松尾謙資



第11回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会が4月19日から20日の間、上尾市スポーツ総合センターで開催されました。

今年から、2年後に迫った第31回リオデジャネイロ・オリンピック競技大会の男女出場枠数を争う世界選手権大会が始まります。

2014年・2015年世界選手権大会での合わせた獲得ポイントが、2年後のリオデジャネイロ・オリンピック競技大会出場人数に繋がります。当協会は男女共に4名五輪出場を目指し強化を推し進めています。

それを獲得するには、若手選手・中堅選手・ベテラン選手の一致団結した総合力が、世界と戦う上で必須であり、この若手学生選手の活躍が大いに期待されております。

さて、試合は男女合わせて70名ほどの選手が参加し熱戦が繰り広げられました。

男子56kg級は本木和真選手（関西大）、62kg級は原亮太選手（明治大）、69kg級は生頬佑馬選手（早稲田大）、77kg級は平良勇祐選手（法政大）、85kg級は平仲浩也選手（法政大）、94kg級は赤松哲郎選手（法政大）、105kg級は持田龍之介選手（日本大）、+105kg級は山本翔也選手（法政大）、女子48kg級は糸数加奈子選手（金沢学院大）、53kg級は井上聰美選手（関西大）、58kg級は柴田里穂選手（関西大）、63kg級は見附絵莉選手（早稲田大）、69kg級は高岸冴佳選手（早稲田大）、75kg級は造田美輝選手（平国大）、+75kg級は今田千弘（金沢学院大）がそれぞれ優勝しました。

最優秀選手は大学新記録T362kgを樹立した、105kg級持田龍之介選手（日本大）。優秀選手は大会新記録を出し2連覇した、女子48kg級糸数加奈子選手（金沢学院大）。

この大会に出場した選手が、更なる精進を重ね、将来の日本を支える選手として活躍する事を祈念するとともに、ご協力を頂いた関係者の皆様に感謝を申しあげ報告いたします。

69kg級生頼佑（早大）が兄弟対決を制し初優勝!! 77kg級平良（法大）が吉川（明大）を逆転し優勝!!



S102kg、J130kg、T232kg

56kg級優勝 本木 和真 関西大学2年

身長160cm 自己ベスト S106 J130 DL163 Sq180 Mp65
<優勝の勝因は?> 自己評価60点 出身校 明石北高校
調整のときからうまくいき、ジャークで自己新記録を更新することができたから。

<今後の抱負>

トータルで240kgを上げること。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか?>
14歳から。幼いころからやっているとフォームが安定するから良い。



S111kg、J143kg、T254kg

62kg級優勝 原 亮太 明治大学4年

身長164cm 自己ベスト S115 J150 DL200 Sq198 Mp75
<優勝の勝因は?> 自己評価50点 出身校 須磨友が丘高校
スナッチで2本とれたことです。

<今後の抱負>

補強での底上げ。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか?>
いいえ。



S124kg、J156kg、T280kg

69kg級優勝 生頼 佑馬 早稲田大学3年

身長171cm 自己ベスト S125 J156 DL195 Sq200 Mp70
<優勝の勝因は?> 自己評価70点 出身校 明石南高校
記録に余裕を持った重量設定ができた。

<今後の抱負>

トータルで290kgを挙げます。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか?>
いいえ。すでに小さい頃からやっていたから。



S130kg、J161kg、T291kg

77kg級優勝 平良 勇祐 法政大学3年

身長168cm 自己ベスト S130 J166 DL170 Sq206 Mp93
<優勝の勝因は?> 自己評価 点 出身校 南部工業高校
日頃の練習の成果だと思います。

<今後の抱負>

インカレ優勝。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか?>
いいえ。

105kg級持田(日大)がS、J大会新、トータル大学新で初優勝！ 105kg級田中(九大)は、S157kgのジュニア日本新！



S128kg、J168kg、T296kg



S135kg、J165kg、T300kg



S162kgCR、J200kgCR、T362kgUR



S137kg、J185kg、T322kg

85kg級優勝 平仲 浩也 法政大学3年

身長170cm 自己ベスト S136 J168 DL185 Sq213 Mp83
<優勝の勝因は？> 自己評価10点 出身校 南部工業高校
フロントスクワットを頑張っていたので、ジャークで自己新を取り逆転ジャークができた。

<今後の抱負>

今年で普通じゃない選手になりたい。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか？>
15歳から。中学の時から増量しておけば良かった。

94kg級優勝 赤松 哲郎 法政大学2年

身長169cm 自己ベスト S138 J166 DL230 Sq211 Mp88
<優勝の勝因は？> 自己評価60点 出身校 杵築高校
腹筋を鍛え上体を使えるようになって、種目につながったと思います。

<今後の抱負>

今大会の目標重量であったS140、J170をとることができず悔しい思いをしたので、その悔しさをばねに頑張っていきたい。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか？>
いいえ。他の競技をさせて、色々な経験をしたほうが良いと思います。

105kg級優勝 持田 龍之介 日本大学3年

身長178cm 自己ベスト S162 J200 DL230 Sq275 Mp109
<優勝の勝因は？> 自己評価80点 出身校 吉田高校
今までの積み重ねだと思います。

<今後の抱負>

全日本で優勝し世界を見たいと思います。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか？>
16歳から。世界的に見て、多くの強い選手は幼い頃から競技を始めていると聞いています。

+105kg級優勝 山本 翔也 法政大学4年

身長183cm 自己ベスト S141 J185 DL240 Sq270 Mp106
<優勝の勝因は？> 自己評価50点 出身校 北杜高校
プラットホーム上で集中力と一本一本大切に擧げる気持ちを大切にしたことです。

<今後の抱負>

フォームのスキルアップ中心にインカレ団体優勝に貢献したいです。

<ウェイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか？>
10歳から。小中学校から競技を始めてことでフォームを固めることができるから。

48kg級系数（金沢）がジャーク95kgの大会新で優勝!!



S66kg、J95kgCR、T161kg

48kg級優勝 系数 加奈子 金沢学院大学4年
身長151cm 自己ベスト S73 J95 DL115 Sq110 Mp41
<優勝の勝因は?> 自己評価70点 出身校 豊見城高校
C&Jの3本目をしっかりと成功出来たこと。また、成功率が高かったことだと思います。
<今後の抱負>
スナッチの補強の強化を目指し、種目につなげられるように頑張ります。
<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか?>
13歳から。早くに始めて土台をしっかりと作りたかった。



S73kg、J87kg、T160kg

53kg級優勝 井上 聰美 関西大学4年
身長153cm 自己ベスト S75 J88 DL131 Sq121 Mp43
<優勝の勝因は?> 自己評価80点 出身校 富島高校
冬の間に記録を伸ばし、第一試技重量を上げる事ができたから。
<今後の抱負>
苦手種目のジャークを強化し、トータル170kgを目指します。
<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか?>
13歳から。中学頃から習う事により、フォームの安定感を上げる事で記録が更にアップする。



S75kg、J94kg、T169kg

58kg級優勝 柴田 里穂 関西大学2年
身長159cm 自己ベスト S78 J96 DL120 Sq125 Mp47
<優勝の勝因は?> 自己評価60点 出身校 鳥羽高校
前回の試合は減量の失敗でしたが、今回は体重調整をうまくでき、体のコンディションを合わせ事ができた。
<今後の抱負>
成功率を上げる。力付けして新記録が出せるように頑張りたい。
<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか?>
14歳から。体力、筋力の基礎が付きやすい時期から習っていたかった。



S85kg、J101kg、T186kg

63kg級優勝 見附 絵莉 早稲田大学4年
身長159cm 自己ベスト S87 J103 DL120 Sq140 Mp50
<優勝の勝因は?> 自己評価70点 出身校 三木東高校
周りの支えと、応援があったからこそ、今回優勝することができました。
<今後の抱負>
安定感でしっかりと成功率の良い試合をした。
<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いますか?>
いいえ。

+75kg級今田（金沢）5本成功、トータル210kgで優勝！！



S83kg、J103kg、T186kg

69kg級優勝 高岸 洋佳 早稲田大学4年

身長159cm 自己ベスト S87 J106 DL130 Sq137 Mp56

<優勝の勝因は？> 自己評価70点 出身校 舞子高校

一本一本確実にとり、4本以上とれた事が良い結果としてつながった。

<今後の抱負>

全日本に向か、6本成功し自己記録を更新したいと思います。

<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか？>

いいえ。中学生から始めているので小学生からやっても同じだと思うから。



S81kg、J104kgCR、T185kg

75kg級優勝 造田 美輝 平成国際大学4年

身長160cm 自己ベスト S84 J104 DL146 Sq152 Mp53

<優勝の勝因は？> 自己評価80点 出身校 多度津高校

怪我で思うように調整メニューがこなせなかつたが、自信が付く練習をしたので良かった。

<今後の抱負>

S90, J110をインカレ団体戦で挙げ、貢献できるようになりたい。

<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか？>

13歳から。もう少し記録が伸びていて、色々な大会に出場出来ていたかもしれないから。

+75kg級優勝 今田 千弘 金沢学院大学3年

身長173cm 自己ベスト S94 J120 DL170 Sq170 Mp72

<優勝の勝因は？> 自己評価70点 出身校 榛生昇陽高校

試合でピークを持って行けるように調整をしたことが一番です。

<今後の抱負>

5月の全日本でS97、J125をする。それには、怪我をしない体づくりをします。

<ウエイトをもっと早くに習っていれば良かったと思いませんか？>

14歳から。中学生位からウエイトリフティングをしていたらもっとフォームがしっかりととして綺麗な挙げ方で安定するから。



S94kg、J116kg、T210kg

最優秀選手

105kg級 持田龍之介（日本大学3年）

S162kgCR、J200kgCR、T362kgUR

優秀選手

48kg級 糸数加奈子（金沢学院大学4年）

S66kg、J95kgCR、T161kg



日本国リフティングが最強だった頃に現役選手で活躍したマスターズリフター。あれから半世紀近くも、あるいはそれ以上の永きにわたってバーベルとともに歩んでいる方、一度引退を余儀なくされながらも、幾多の困難を乗り越えて競技に復帰されている方、定年を迎えてから一念発起、バーベルを握った方。

リフティングをこよなく愛し情熱を燃やして今なお不断の努力を重ねるマスターズ選手の歴史と現状を、都道府県別に紹介するコーナーです。

マスターズ委員長 真鍋 和人

「福島県ウェイトリフティング協会」

○福島県でのマスターズの現状は、「マスターズ委員」を清野裕司が務めています。単独の「マスターズの競技会」はありませんが、毎年、「社会人大会」を8月下旬または9月上旬に「年齢別」で行っていて、昨年(2013年)で15回目を実施。年齢は「①35歳未満 ②35~44歳 ③45~50歳 ④50歳以上」の4区分としています。

現在、マスターズ選手の登録は7名で頑張っています。女性マスターズは、入門待ちです。全日本マスターズ出場経験者は4名、他3名は県大会に参加。私、清野は、第22回全日本マスターズ(平成16年)北海道士別市4度目の大会から、世界大会には2005年のカナダ・エドモントンの大会(当時41才)が初出場。M40-105kg級に出ました。Sのスタート重量は、最強がロシアのセルゲイで122kg。私とオーストリアのロマンが共に、120kgで、その次がロシアのドミトリー115kg、米国のジェフリー105kgが上位グループで競技が始まったのを覚えています。ジェフリーが110kgをベストとし、次にドミトリーが115を、あっという間に3振りで脱落。ロマンが、120kgのスタートを失敗し私の出番が来ました。ステージに進む直前にセコンドの大森さんが「清野さん、スタートを切ったら重量が軽いと感じるからね。急いで飛び込んだら失敗するよ。しっかり胸を張って体を十分伸ばしてから飛び込んでください。体をしっかり伸ばすんですよ。」と、云って背中を押してくださった。それで緊張が解けて、「体を伸ばす。」を何度も繰り返しバーの前に進む。スタートしたら、確かに、あっこれは軽いぞ。という手応え。ここで、体を思い切り伸ばすんだと自分に云い聞かせて、1本目を軽く成功したのを今も、その手応えまで鮮明に覚えています。続いて、ロマンが同重量120を2回目に成功させ、清野の2本目125kgのオーダーを見て、126とした。清野が2本目も軽く125を成功。ロシアのセルゲイがスタート重量の122を成功させた後、127とした。ロマンが126を失敗。清野とセルゲイがともに127kgでファイナルトップを競ったが二人とも失敗だった。結果は、125kgの清野がSのトップポジションでJに突入した。Jのスタートは、オーストリアのロマンが最強の145kg。清野が2番手で140kg。3番手が米国のジェフリー135kgというトップグループだった。Sで122の第2位を確保していたロシアのジェフリーは、Sの試技の後、体の違和感を訴えてJをパス、競技から脱落した。J145スタートのロマンは2本目でひっくり返してやろう「金メダル」は、もう清野の手中にあり。そう考えていた。このトップグループのJは、米国のジェフリーがスタートの135を決め第2試技を140としたので、清野の第1試技となった。これを成功させ、第2試技を145とする。ジェフリーが第2試技を失敗し、第3試技で140を成功させる。ロマンが145の第1試技を成功させ、Tで265と、清野と並べてきた。が、体重が清野よりもロマンがわずかに軽い。清野の第2試技、軽くやれるとスタート。しかし、内心「金メダル」がよぎるプレッシャーものしかかっていた。この1本は「金メダル」への1本だ。と、気合を入れてスタート。何故か重量を重く感じ、シュラッグでバーを吊り上げるのだが2ndポイントの爆発位置よりもわずかに低い。自分でそう感じた。こ



れがクリーン位置に影響、余分な力を余儀なくされ、「差し」にひびく。失敗。よし、後1本。連続試技。これで決めようとファイナルに挑む。が、同じパターンの失敗。残念。何故！この瞬間、清野は「銀メダル」確定。これが、私、清野の福島初、世界に初参加の忘れられない記憶です。そして、「世界マスターズ」への参加は、現在9年連続となります。しばらくは世界でもメダル受賞の常連だったのに、気が付けば「メダル」が徐々に遠くなつて行く気がします。

今野金哉選手は、平成18年鹿児島市開催の第24回全日本マスターズから連続参加。世界大会は、2007年ハンガリー、2008年ギリシャ、2012年ウクライナ(銀メダル)、2013年イタリア・トリノ(第5位)、「ワールドカップ」マレーシア・ペナン(銀メダル)の各大会に出場し、実績を上げています。鈴木と佐久間の各選手は、仕事の都合やコンディションに応じて全日本に数回出場し世界を目指しています。

○練習状況 マスターズ選手の練習は、基本的に各自で行うこととしています週2~3回、1時間~1時間半程度、長南、小野寺の各選手は試合のみ参加しています。

○目的・目標・そして夢 マスターズにとって、毎年、健康に留意し「マスターズ大会に楽しく出場することをマスターズの合言葉」にしています。黒須選手は、マスターズ記録(日本記録・世界記録)に近づけることを目標とし、今野選手は、参加各世界大会で3位以内に入賞(有言実行)すること。私、清野は、連続で全日本・世界選手権に出場することを人生の生きがいとしています。折角、ここまで、リフティングをやってきたのだからリフターには、ウエイトと仲良くするのが最高だと思います。「マスターズスポーツ」を大事にして、マスターズリフターは健康管理の手本を示し、広く高齢アスリートに呼びかけてリフティングを通じ日本国の大豊かさに貢献しよう。

そして、東京オリンピックの翌年(2021年)には、昨年、イタリア・トリノで開催された「世界マスターズゲームス」が日本国が開催されることが決まっています。京都や神戸、大津が会場になる7年後の出場を目指して、改めて気合を入れてリフティングに取り組み、女性マスターズも共に頑張ろうではありませんか。

きっと、世界のマスターズ仲間と素晴らしい出会いが待っています。2021年は、すぐに来ます。その時の輝く自分を想像してください！

○福島県WL協会のマスターズ・メンバー紹介

・M65-69 kg級 黒須 一衛 選手 55才からリフティングを再開し、記録的には58歳~60歳までがピーク。県総体での記録ではスナッチ80kg C&ジャーク98kg。同時期の練習でのベストはスナッチ87kg、C&ジャーク100kg。年齢にあった合理的な練習方法で行うこと。怪我をしないこと。週に1回程度の練習でも記録は伸びると確信。できるだけ長くが目標。仕事が忙しく、なかなか全日本マスターズ選手権に参加することができないけれど、そのうちに。現在69歳で69kg級、県総体にてスナッチ70kg、C&ジャーク85kgを目標にしています。

・M60-77 kg級 今野 金哉 選手 長い我慢が実ったというか、平成24年世界マスターズ選手権大会で「銀メダル」、平成25年ワールドカップ「銀メダル」受賞。次は必ず、「金」を目指す。そう信じて取り組んでいる。短歌の指導者も務めており、皇宮の歌会始に2回入選。「自作短歌集」は、1996年に「無線機」、2001年に「究竟頂(くきょうちょう)」の上梓も。短歌はウエイトリフティングと両立していきたい。リフティングとの取組は自分がそれをどう考え、形(フォーム)に表現することで未知の世界を確認できるし、自分が到達した力量を重量の数値に置き換えて世に問う魅力があり、短歌は、少しの言葉を並べ、あやつることで紡ぎ出す人の生き方の「魂の記録」を残す楽しみがある。少なくとも75歳まで、けががなければ80歳まで、必ず試合に出ますから。

・M45-105 kg級 清野 裕司 選手 重量挙げをしている人は、みんないい人だ！この実感は国内のみならず、世界マスターズに参加する度に実感として思う。海外の試合で、思わぬ出来事に会い、選手同士が異国の地で主張すべきことはしっかり意見を云い、共に助け合う共同体の体験をし、無事に競技をして帰国したことがある。リフター万歳！私は、そういう重量挙げが大好きです。もう、「生涯現役」で頑張る以外にありません。そして、「みんなに優しい世界一の力持ち」になりたい。本當です。

・M45-77 kg級 鈴木 宗撤 選手 かっこいい中年を目指して、体つくりの一貫で少しづつ練習して、絶妙のトーキーと馬力で「チームのムードメーカー」となって行くことを願っています。何と言っても、「ファミリー」を大事にしたいし、「体と生活に無理のない範囲で頑張ろう！」をモットーにしています。

・M40-62 kg級 佐久間 勝彦 選手 バルセロナオリンピック56kg級5位入賞。国体5年連続優勝(スナッ

チ) 福島県ウエイトリフティング協会総務部長、強化部の「コーチングスタッフ」として活躍。全国大会で懐かしい人と会うのが楽しみで大会に参加しています。「リフティングでみんなが元気になってほしい！」

・M60-69 kg級 高野 滋 選手 定年退職を期に「全日本マスターズ大会」に参加いたします。61歳で「マスターズデビュー」ご期待ください。定年後の健康管理にリフティングに取り組み競技会場に遠征するのもいいものだと思います。このことに賛同される「マスターズリフター」は、どうぞ、お声かけください！共に、リフティングへの取り組みについて話し合えることを願っています。

○マスターズリフターへの助言。「若いリフターにひとつこと。」

【黒須】⇒ 年齢にあった合理的な練習方法で行うことが大事。フォームを正しく常に注意して、一緒に練習している仲間にも見てもらうなど、怪我をしない工夫をすること。週に1回程度の練習でも前向きに取り組んでやれば、記録は伸びると思われます。

【今野】⇒ 中期の目標（例えば東京五輪出場）、長期の目標（マスターズの出場）を明確に定め、日々の努力に努めて欲しい。「継続は力」なりです。

【清野】⇒ 重量挙を好きになって下さい。試合を楽しんで下さい。そうすれば、どんな練習にでも耐えることができます。マスターズリフティングの世界は、面白いよ！きっと、君を待ってるから。！

【鈴木】⇒ 世界を目指して練習して欲しいです。他競技では若い選手の活躍が目立っています。ウエイト界も、そろそろ「スーパースター」の出現を望みます。

○傷害予防をどう考えるか。

【黒須】⇒ 柔軟性の無さを背筋、足腰の強化にて補強しています。2月現在「デットリフト」135kg～140kg、「スクワット」150kg～155kgを基本に練習。スナッチ、C&ジャークは1週ごと交互に、クリーンはロークリーンではなく「ハイクリーン」（ベスト86kg）です。

【今野】⇒ 関節を痛めやすいので準備運動、整理運動をよくやる。ある程度栄養を摂って、持久力の向上にも努めている。

【清野】⇒ 「全日本社会人選手権大会」に参加して右足ふくらはぎを肉離れしてしまいました。「がんばらない。でも、あきらめない」で競技を続けます。

【鈴木】⇒ 若い時に無理したせいか、練習すると、すぐに腰、肩、膝、肘が痛みます。が、「それでもやる」。

○「世界マスターズ」2012年 今野金哉選手が「銀メダル」、2013年は、「ワールドカップ」でも「銀メダル」獲得！



○2012年 世界選手権大会ウクライナのリヴィウにて
今野金哉（左） 清野裕司（右）



○2012年、「世界マスターズウエイトリフティング選手権大会」(9月18日、ウクライナ・リヴィウ市)

M60 (60～64歳の部) 77キロ級で今野金哉選手63才、福島県福島市が準優勝、「銀メダル」獲得。

(文責・福島県WL協会マスターズ委員 清野 裕司)

平成26年度事業計画

支部協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るため各種事業を推進する。

第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）でのメダル獲得並びに入賞目標に、国立スポーツ科学センターとの連携と味の素ナショナルトレーニングセンターの活用のもと、オリンピック特別対策強化戦略プランに基づいた選手強化を進める。

恒久的にオリンピック競技大会で活躍できる選手を育成するため、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）の充実を図り、特に、2020年東京オリンピック大会対策を推進する。

ガバナンスの向上に努め社会的責任を果たすと共に、公益社団法人への移行のために準備する。

I. 競技力向上事業（継－1）

1. 選手強化事業

(1) 国内合宿（1）

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目指し実施する。

また、2020年東京オリンピック大会対策として、ナショナル以外の若手選手（ターゲット選手）を対象に強化を推進する。

No.	合宿名	指導者数	選手数	期間	場所
1	国内合宿1（4月通年合宿・男女）	4名	3名	4/01～4/30	東京都 NTC
2	国内合宿2（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	5名	11名	4/01～4/19	東京都 NTC
3	国内合宿3（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	4名	13名	4/12～5/07	東京都 NTC
4	国内合宿4（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	5名	11名	4/27～5/10	東京都 NTC
5	国内合宿5（5月通年合宿・男女）	4名	3名	5/01～5/31	東京都 NTC
6	国内合宿6（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	5名	11名	5/29～6/12	東京都 NTC
7	国内合宿7（2020東京対策ジュニア男女）	3名	7名	5/30～6/01	東京都 NTC
8	国内合宿8（6月通年合宿・男女）	4名	2名	6/01～6/30	東京都 NTC
9	国内合宿9（2020東京対策ジュニア男女）	3名	6名	6/06～6/08	東京都 NTC
10	国内合宿10（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	4名	13名	6/08～6/18	東京都 NTC
11	国内合宿11（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	3名	8名	6/18～6/28	新潟県 津南町
12	国内合宿12（世界ジュニア代表・男女）	7名	15名	6/13～6/16	東京都 NTC
13	国内合宿13（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	5名	11名	6/22～7/12	東京都 NTC
14	国内合宿14（7月通年合宿・男女）	4名	2名	7/01～7/31	東京都 NTC
15	国内合宿15（2020東京対策ジュニア男女）	3名	6名	7/04～7/07	東京都 NTC
16	国内合宿16（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	4名	13名	7/06～7/26	東京都 NTC
17	国内合宿17（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	3名	8名	7/27～8/10	東京都 NTC
18	国内合宿18（8月通年合宿・男女）	4名	2名	8/01～8/31	東京都 NTC
19	国内合宿19（2020東京対策ジュニア男女）	3名	7名	8/01～8/03	東京都 NTC
20	国内合宿20（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	4名	13名	8/06～8/30	東京都 NTC
21	国内合宿21（世界選手権・アジア競技大会対策・女子）	5名	11名	8/17～9/15	東京都 NTC
22	国内合宿22（9月通年合宿・男女）	4名	2名	9/01～9/30	東京都 NTC
23	国内合宿23（世界選手権・アジア競技大会対策・男子）	4名	13名	9/07～9/15	東京都 NTC
24	国内合宿24（10月通年合宿・男女）	4名	4名	10/01～10/31	東京都 NTC
25	国内合宿25（世界代表・リオ対策合宿・女子）	5名	11名	10/05～11/03	東京都 NTC
26	国内合宿26（世界代表・リオ対策合宿・男子）	4名	13名	10/12～11/03	東京都 NTC
27	国内合宿27（11月通年合宿・男女）	4名	4名	11/01～11/30	東京都 NTC
28	国内合宿28（リオデジャネイロ対策合宿・男子）	4名	13名	11/30～12/10	東京都 NTC
29	国内合宿29（12月通年合宿・男女）	4名	4名	12/01～12/31	東京都 NTC
30	国内合宿30（リオデジャネイロ対策合宿・女子）	5名	11名	12/01～12/14	東京都 NTC
31	国内合宿31（リオデジャネイロ対策合宿・女子）	3名	8名	12/18～12/27	福島県
32	国内合宿32（1月通年合宿・男女）	4名	4名	1/01～1/31	東京都 NTC
33	国内合宿33（リオデジャネイロ対策合宿・女子）	2名	6名	1/10～1/25	沖縄県 那覇市
34	国内合宿34（リオデジャネイロ対策合宿・男子）	4名	13名	1/11～1/31	東京都 NTC
35	国内合宿35（2月通年合宿・男女）	4名	4名	2/01～2/28	東京都 NTC
36	国内合宿36（2015ジュニア世界選手権対策・男女）	4名	18名	2/06～2/15	東京都 NTC
37	国内合宿37（リオデジャネイロ対策合宿・男子）	4名	13名	2/08～2/11	東京都 NTC
38	国内合宿38（3月通年合宿・男女）	4名	4名	3/01～3/31	東京都 NTC
39	国内合宿39（リオデジャネイロ対策合宿・男子）	4名	13名	3/08～3/28	東京都 NTC

(2) 海外合宿

① 独立行政法人日本スポーツ振興センター競技強化支援事業として、女子種別を対象として、国際大会に向けての強化を推進する。

No.	合宿名	指導者数	選手数	期間	場所
1	2015世界選手権大会候補合宿(女)	3名	8名	2/10~2/28	U.S.A グアム
2	2015世界選手権大会候補合宿(女)	5名	11名	3/07~3/21	K.O.R ソウル

② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際競技力向上を目的に次のとおり実施する。

合宿名 : 男子ナショナル海外合宿(ドイツ)
 期間 : 平成27年2月11日~2月25日
 場所 : ドイツ連邦共和国
 参加者 : 指導者2名、選手8名、計10名

③ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力(国際人の養成)の強化も一つの目的として、次のとおり実施する。

合宿名 : 大学生海外合宿(米国)
 期間 : 平成27年2月10日~3月4日
 場所 : アメリカ合衆国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
 参加者 : 指導者3名、選手7名、計10名

(3) 外国チームとの合同合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国オリンピック委員会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流を促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施する。

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業(派遣)
 期間 : 平成26年9月5日~9月11日
 場所 : 大韓民国プサン市ウェイトリフティング場
 参加者 : 指導者5名、選手15名(男子8名、女子7名)、計20名

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業(受入)
 期間 : 平成26年12月14日~12月20日
 場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
 参加者 : 指導者(日本5名、韓国5名)選手(日本15名、韓国15名)計40名
 選手は、男子8名、女子7名とする。

(4) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点(一定レベルの競技力を有する)から年代別の競技会に優秀選手を派遣し競技力の向上に資する。

2016年のリオデジャネイロオリンピック競技大会の出場枠獲得に向けて、その対象大会となる世界選手権大会には、世界ランキング上位者(補欠2名を含め)を派遣する。また、2016年のリオデジャネイロオリンピック競技大会の個人の参加資格条件としてIWFが指定する大会に2回以上出場していることが新たに規定された。この大会にアジア競技大会が含まれることから、参加者(JOC内示、男子8名、女子7名)の選考については戦略的に行うこととした。

世界選手権大会の女子及び世界ジュニア選手権大会の派遣については、スポーツ振興基金の助成事業として、アジア競技大会及びユースオリンピック大会はJOCの直轄事業として、その他の大会については、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として実施する。

① 世界ジュニア選手権大会

開催期間 : 平成26年6月21日~6月28日
 派遣期間 : 平成26年6月17日~6月30日
 場所 : ロシア連邦カザン市
 派遣人数 : 指導者7名、男子選手8名、女子選手7名、計22名

- ② 第2回ユースオリンピック大会（JOC直轄事業）
 開催期間：平成26年8月16日～8月27日
 派遣期間：未定
 場所：中華人民共和国南京市
 派遣人数：未定
- ③ 第17回アジア競技大会（JOC直轄事業）
 開催期間：平成26年9月19日～10月4日
 派遣期間：平成26年9月15日～9月28日
 場所：大韓民国仁川市
 派遣人数：指導者5名、男子選手8名、女子選手7名、計20名
- ④ 世界選手権大会（男子）
 開催期間：平成26年11月8日～11月15日
 派遣期間：平成26年11月3日～11月17日
 場所：カザフスタン共和国アルマトイ市
 派遣人数：指導者4名、男子選手10名、計14名
- ⑤ 世界選手権大会（女子）
 開催期間：平成26年11月8日～11月15日
 派遣期間：平成26年11月3日～11月17日
 場所：カザフスタン共和国アルマトイ市
 派遣人数：指導者4名、女子選手9名、計13名
- ⑥ 世界大学選手権大会
 開催期間：平成26年12月5日～12月8日
 派遣期間：平成26年12月2日～12月10日
 場所：タイ王国チェンマイ市
 派遣人数：指導者4名、選手9名、計13名
- (5) チーム招待
 3カ国の持ち回りで開催の日韓中大会への2カ国の招待及び女子強化をより効果的に実施するための韓国の優秀選手を招待し、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として実施する。
- ① 日韓中大会
 開催期間：平成26年11月1日～11月2日
 招待期間：平成26年10月30日～11月4日
 場所：茨城県高萩市 高萩市文化会館
 招待人数：韓国 指導者10名、男子選手8名、女子選手7名、計25名
 中国 指導者10名、男子選手8名、女子選手7名、計25名
- ② 韓国女子招待
 招待期間：平成26年5月29日～6月12日
 平成26年10月5日～10月19日
 平成26年12月1日～12月14日
 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
 招待人数：各事業 1名
- (6) 国際交流大会
 アジア近隣諸国との友好親善を目的に公益財団法人日本体育協会が主催する標記大会への協力と選手団の人選を行う。
- ① 日韓中ジュニア交流競技会
 招待期間：平成26年8月23日～8月29日
 大会期間：平成26年8月25日・8月26日
 場所：岩手県奥州市
 参加人数：各国 指導者5名、男子選手8名、女子選手7名、計20名
- (7) ナショナルコーチ設置
 公益財団法人日本オリンピック委員会のナショナルコーチ事業制度を活用し、ナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチ（外国人）を設置する。
- (8) コーチ設置
 味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるために、公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、NTC担当・ジュニアコーチングデレクターの2名を設置する。

2. コーチの資質向上事業

(1) 指導員養成（専門教科）講習会の開催

平成25年度の国民体育大会より、監督の条件として日本体育協会公認指導者資格を有することとなった。（講習会受講で有資格と見做す特例措置）

監督候補者及び指導者の資質向上を目的に、日本体育協会の委託事業として開催する。

期 日 平成26年9月12日～9月15日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

(2) 競技者育成プログラム研修会

一貫指導システムにて実施するジュニアエリート研修合宿及びジュニアユース研修合宿の指導を統一するために、事前に指導者の研修を行う。

期 日 平成26年12月6日・12月7日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

(3) 全国指導者研修会

ウエイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催する。

期 日 平成27年2月7日～2月8日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

(4) スポーツ指導者競技別講師全国研修会の開催

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度の中の、競技別指導者「指導員」を養成する講習会を都道府県単位で実施する時の講師を育成するための研修会を、日本体育協会の委託事業として開催する。

期 日 平成27年2月21日～2月22日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

(5) 指導書の作成

2020年東京オリンピック大会に向けて、現本を見直し再構築した指導書を作成し、全国に配付し、指導理念・方法の統一を図る。

II. 競技者育成事業（継－2）

1. 研修合宿開催事業

一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施する。
この事業は、スポーツ振興くじ助成事業として補助を受けて開催する。

(1) 中学生・高1研修合宿

- 支部協会に中学生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施する。

期 間： 平成26年 7月25日～ 7月28日（3泊4日）

場 所： 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者： 15名

参加者： 30名

- 上記研修合宿で特に優秀な選手に対して、継続的に研修合宿を実施する。

期 間： 平成26年 8月29日～ 8月31日（2泊3日）

平成26年 9月26日～ 9月28日（2泊3日）

平成26年11月28日～11月30日（2泊3日）

場 所： 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者： 7名

参加者： 15名

(2) 大学生研修合宿

各種競技会の成績を基に、ジュニア年代の学生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期 間： 平成26年 9月19日～ 9月23日（4泊5日）

場 所： 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者： 6名

参加者： 30名

(3) ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期 間： 平成26年12月22日～12月27日

場 所： 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者： 12名

参加者： 34名

(4) ジュニアユース研修合宿

支部協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施する。

期 間： 平成26年12月23日～12月27日

場 所： 全国を（北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州）
6地区に分けて実施する。

指導者： 各地区5名の計30名

参加者： 各地区10名の計60名

2. 2020年対策競技者発掘・育成事業支援

2020年対策として、新規に地方で競技者の発掘・育成を開始する事業についての財政的支援を行う

III. 振興・教育事業（継－3）

- ：会員の状況の把握
- ：役員・選手の登録徹底

1. 競技の普及振興

(1) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるよう充実整備に努める。

(2) 情報誌の発刊

スポーツ振興くじの助成を受けて、平成25年度年鑑、会報117号、会報118号、会報119号を発刊する。主な内容は次のとおり。

年鑑： 平成25年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績

協会組織図、協会役員名簿、支部協会役員名簿、平成25年度事業・決算報告、

平成26年度事業計画・予算、公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報： 各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告

(3) 国際スポーツ交流

① 國際会議への参加

IWF及びAWFの会議に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため役員を派遣する。

・ IWF総会

期 日： 平成26年6月18日
場 所： ロシア連邦カザン市

・ IWF総会

期 日： 平成26年11月2日
場 所： カザフスタン共和国アルマトイ市

・ AWF総会(役員改選)

期 日： 未定
場 所： 未定

② 国際大会へ審判員派遣

・世界ジュニア選手権大会

期 日： 平成26年6月16日～6月29日
場 所： ロシア連邦カザン市

・ユースオリンピック大会

期 日： 平成26年8月15日～8月27日
場 所： 中華人民共和国南京市

・アジア競技大会

期 日： 平成26年9月16日～9月27日
場 所： 大韓民国仁川市

・世界選手権大会

期 日： 平成26年12月1日～12月17日
場 所： カザフスタン共和国アルマトイ市

・世界大学選手権大会

期 日： 平成26年12月2日～12月9日
場 所： タイ王国チェンマイ市

(3) 国際大会の参加

- ・ アジアマスターズ選手権大会
大会会期：未定
場所：未定
- ・ ワールドマスターズ大会
大会会期：平成26年8月31日～9月7日
場所：デンマーク王国コペンハーゲン市
派遣：マスターズ委員会にて選考

(4) 記録の公認

- ① 競技・競技会規則VIIIに基づき、日本記録を認定し公表する。公認の区分は男女同一で、日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録、マスターズ記録である。

(5) 用器具等の検定及び公認

記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで公認手続きをすすめる。

(6) 頤彰事業

本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、また、役員の感謝状贈呈に関する基準により頤彰を行う。

(7) アンチドーピング活動

スポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神に反し、競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努める。

① 啓発・教育活動

JADAが作成したドーピング防止ガイドブック（PLAY TRUE）を指導者・選手に配布し情報を提供する。文書にて各支部協会に各種情報を伝達する。

各種競技会前の監督会議にて注意喚起する。

アウト・リーチを高等学校選手権（男女）で開催する。

Eラーニングを指導者・選手が実施するように働きかける。

② ドーピング検査

スポーツ振興くじの助成を受けて、競技会検査を実施する。

日本体育協会が国民体育大会時に検査を実施する。

③ ADAMSへの居場所情報報告の徹底

IOC認定の強化指定選手及びIWFからの指定選手並びに国際大会参加選手は、居場所情報をJADAに報告する義務がある。報告をしないこと及び居場所情報に基づく競技会外検査で所定の場所にいない場合は居場所情報違反としてペナルティーの対象となることから報告の徹底を指導する。

(8) 審判員の養成と審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益があつてはならない。審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催する。

- ① 対象者：平成25年度に開催のプロック別審判講習会に不参加であった、国内1級審判資格、国際審判資格所持者（義務研修）及び平成26・27年度に国内1級審判を受験希望する審判員を対象とする。

- ② 講習会：西日本ブロック

期日：平成26年5月10日（土）13:00～
場所：大阪府羽曳野市総合スポーツセンター会議室

東日本ブロック

期日：平成26年9月20日（土）13:00～
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター研修室

② 審判員の審査と認定

公認審判員台帳及び公認審判員名簿の整理と審査認定を行う。

(9) 創立80周年記念事業に向けての準備

昭和11年（1936年）に協会が設立された。以後、平成8年（1996年）に60周年記念事業を実施した。平成28年が80周年に当たることから、準備委員会を発足させ各種準備に入る。

IV. 大会開催事業（他－1）

1. 全国大会開催事業

トップレベルの選手育成及び競技の普及振興並びに生涯スポーツ振興のため、以下の全国大会を開催する。

- ① 大会名：第11回全日本学生選抜大会
期日：平成26年4月19日・20日
会場：埼玉県上尾市 埼玉県総合スポーツセンタースポーツ館
- ② 大会名：第60回全日本学生個人選手権大会・第26回全日本女子学生選手権大会
期日：平成26年5月9日～11日
会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム
- ③ 大会名：第74回全日本選手権大会・第28回全日本女子選手権大会
期日：平成26年5月23日～25日
会場：岩手県奥州市 江刺中央体育館
- ④ 大会名：第17回全国高等学校女子選手権大会
期日：平成26年7月18日～20日
会場：広島県府中市 府中市立総合体育館
- ⑤ 大会名：第61回全国高等学校選手権大会
期日：平成26年8月1日～5日
会場：山梨県山梨市 市民総合体育館
- ⑥ 大会名：第32回全日本マスターズ選手権大会
期日：平成26年8月15日～17日
会場：兵庫県明石市 産業交流センター
- ⑦ 大会名：第28回全国男子中学生選手権大会・第13回全国女子中学生選手権大会
期日：平成26年8月22日
会場：岐阜県可児市 可児市ウエイトリフティング場
- ⑧ 大会名：第4回全国都道府県対抗女子大会
期日：平成26年10月3日～5日
会場：石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター
- ⑨ 大会名：第69回国民体育大会
期日：平成26年10月13日～17日
会場：長崎県諫早市 講早農業高校体育館
- ⑩ 大会名：第59回全日本学生新人選手権大会
期日：平成26年10月25日～26日
会場：埼玉県上尾市 埼玉県総合スポーツセンタースポーツ館
- ⑪ 大会名：内閣総理大臣杯第60回全日本大学対抗選手権大会2部
期日：平成26年11月7日～9日
会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム
- ⑫ 大会名：第51回全日本社会人選手権大会・ゲイースカップ第6回全日本女子選抜選手権大会
期日：平成26年11月20日～24日
会場：和歌山県和歌山市 片男波公園健康館
- ⑬ 大会名：内閣総理大臣杯第60回全日本大学対抗選手権大会2部
内閣総理大臣杯第15回全日本大学対抗女子選手権大会
期日：平成26年11月28日～11月30日
会場：埼玉県さいたま市 さいたま市記念総合体育館
- ⑭ 大会名：JOCジュニアオリンピックカップ第35回全日本ジュニア選手権大会
期日：平成27年3月14日～3月15日
会場：東京都大田区 大森スポーツセンタースポーツ館
- ⑮ 大会名：第30回全国高等学校選抜大会
期日：平成27年3月26日～3月29日
会場：石川県金沢市 金沢市総合体育館

V. 物品販売、スポーツ医科学事業（他－2）

1. ウエイトリフティング競技に関する物品の販売

- ① 審判の権威と他の競技役員との区別を明確にするため、競技規則で審判員の服装を規定している。バッジは資格取得時に配付するが、その他の、ネクタイ、ワッペンは各自が購入することとし、販売価格は、ネクタイ 3,500円、ワッペン 1,500円である。
- ② 昨年度改訂した競技規則集を継続して希望者に販売する。価格は 1,000円である。

2. スポーツ医科学事業

国立スポーツ科学センターのトータルサポートとして、全ての年代の国内外での合宿時にトレーニング・栄養・心理面での指導を依頼する。

強化指定選手に対するフィットネスチェックを実施し、データを分析し以降の強化に役立てる。

リフティングスキルについて、世界選手権大会・世界ジュニア選手権大会・全日本選手権大会及び全日本ジュニア選手権大会を高速度ビデオカメラで撮影し、画像編集による動作分析を行い、最新情報を選手・指導者にフィードバックすると共に、全国コーチ研修会・会報を通じて広く伝達し競技力向上に資する。

マルチサポート（女子）事業で動作解析システムの開発を依頼している。早期にドイツが開発したシステム（I A T）より優れた動作解析システムが出来上がることを望んでいる。

ミズノスポーツ振興財団の助成を受けて、ジュニア及びシニアのトップレベルの競技者を対象にトレーニングの量・質及び食事等の生活実態調査を行い、体内環境の変化・各種種目の記録変化から望ましいコンディショニングについて検証し現場に還元する。

VI. 会務

本会の目的及び業務を達成するため、次の会議を開催する。

(1) 総会の開催

- ① 平成26年度定時社員総会
 - ・ 日 時 平成26年6月14日（土）
 - ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
 - ・ 議 題 (1) 平成25年度事業報告・決算報告について
(2) 平成25年度公益目的支出計画について
(3) 平成26年度第1次補正予算について
- ② 平成26年度臨時社員総会
 - ・ 日 時 平成26年12月13日（土）
 - ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
 - ・ 議 題 (1) 公益社団法人への移行について
- ③ 平成26年度臨時社員総会
 - ・ 日 時 平成27年3月21日（土）
 - ・ 会 場 上野精養軒 会議室
 - ・ 議 題 (1) 平成27年度事業計画及び予算について
(2) 公益社団法人への移行について

(2) 理事会の開催

① 第1回理事会

- ・ 日 時 平成26年5月31日（土）
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室

② 第2回理事会

- ・ 日 時 平成26年9月6日（土）
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室

③ 第3回理事会

- ・ 日 時 平成26年12月13日（土）
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室

④ 第4回理事会

- ・ 日 時 平成27年3月21日（土）
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室

VII. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会等に対し、助成金・補助金・委託金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源に努める。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集拡大に努める。また、免税募金の申請手続きを公益財団法人日本体育協会に対して行い、協会役員・支部協会役員の協力により募金を実施する。

協賛企業の開拓を積極的に行い協賛契約締結の拡大に努め財政の確立を目指す。

平成 26 年度 行事計画

4月		5月		6月		7月	
1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水	世界選手権・アジア対策合宿 全日本学生選抜選手権大会	世界選手権・アジア対策合宿 全日本学生個人選手権大会	世界選手権・A男子 アジア対策女子 全日本選手権大会	世界選手権・A男子 アジア対策女子 全日本選手権大会	世界選手権・A男子 アジア対策女子 東京Jr チーム招待 韓国選手	世界選手権・A男子 アジア対策女子 東京Jr 世界Jr・社員総会 Jr世界選手権大会 RUS	世界選手権・A男子 アジア対策女子 東京Jr 世界選手権・A男子 アジア対策女子 全国高校女子選手権大会 中学生・高1研修合宿 津南
31 第1回理事会	14 定時社員総会						
01~30 (NTC) 通年合宿	01~31 (NTC) 通年合宿	01~30 (NTC) 通年合宿	01~31 (NTC) 通年合宿				
01~19 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子	09~11 (大阪府) 全日本学生個人選手権大会	06~08 (NTC) 2020年東京対策ジュニア合宿	6/22~12 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子				
12~5/07 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 男子	23~25 (岩手県奥州市) 全日本選手権大会	5/29~12 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子 チーム招待(韓国選手)	04~07 (NTC) 2020年東京対策ジュニア合宿				
19~20 (埼玉県) 全日本学生選抜選手権大会	29~6/12 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子	08~18 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 男子	06~26 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 男子				
27~5/10 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子	29~6/12 (NTC) チーム招待(韓国選手)	13~16 (NTC) 世界ジュニア選手権大会代表合宿	18~20 (広島県府中市) 全国高校女子選手権大会				
	30~6/1 (NTC) 2020年東京対策ジュニア合宿	20~28 (RUS) カザン 世界ジュニア選手権大会「振興基金」	25~28 (NTC) 中学生・高1研修合宿「振興くじ」				
		18~28 (新潟県津南町) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 男子	27~8/10 (新潟県津南町) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子				
		22~7/12 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子					

8月		9月		10月		11月	
1 金	全国高校選手権 東京Jr	世界アジア女	Wマスター	1 水	アジア競技大会	1 土	競技会会期
2 土	通年合宿	世界・アジア女	理事会	2 木	通年合宿	2 日	日韓中大会
3 日	世界・アジア女	Wマスター	世界・アジア女	3 金	通年合宿	3 月	女
4 月	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	4 土	通年合宿	4 月	男
5 火	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	5 日	都道府県女子対抗選手権	5 月	通年合宿
6 水	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	6 月	世界選手権代表・リオ対策	6 月	世界選手権大会
7 木	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	7 月	世界選手権代表・リオ対策	7 月	KAZ
8 金	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	8 月	世界選手権代表・リオ対策	8 月	レディースカップ
9 土	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	9 月	世界選手権代表・リオ対策	9 月	全国女子選抜選手権大会
10 日	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	10 月	世界選手権代表・リオ対策	10 月	内閣総理大臣杯
11 月	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	11 月	世界選手権代表・リオ対策	11 月	全日本社会人選手権大会
12 火	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	12 月	世界選手権代表・リオ対策	12 月	中学生・高校1研修合宿
13 水	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	13 月	世界選手権代表・リオ対策	13 月	全日本大学対抗1部
14 木	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	14 月	世界選手権代表・リオ対策	14 月	合宿
15 金	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	15 月	世界選手権代表・リオ対策	15 月	
16 土	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	16 月	世界選手権代表・リオ対策	16 月	
17 日	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	17 月	世界選手権代表・リオ対策	17 月	
18 月	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	18 月	世界選手権代表・リオ対策	18 月	
19 火	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	19 月	世界選手権代表・リオ対策	19 月	
20 水	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	20 月	世界選手権代表・リオ対策	20 月	
21 木	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	21 月	世界選手権代表・リオ対策	21 月	
22 金	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	22 月	世界選手権代表・リオ対策	22 月	
23 土	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	23 月	世界選手権代表・リオ対策	23 月	
24 日	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	24 月	世界選手権代表・リオ対策	24 月	
25 月	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	25 月	世界選手権代表・リオ対策	25 月	
26 火	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	26 月	世界選手権代表・リオ対策	26 月	
27 水	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	27 月	世界選手権代表・リオ対策	27 月	
28 木	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	28 月	世界選手権代表・リオ対策	28 月	
29 金	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	29 月	世界選手権代表・リオ対策	29 月	
30 土	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	30 月	世界選手権代表・リオ対策	30 月	
31 日	世界・アジア女	世界・アジア女	世界・アジア女	31 月	世界選手権代表・リオ対策	31 月	

06 第2回理事会

01~31 (NTC) 通年合宿	01~30 (NTC) 通年合宿	01~31 (NTC) 通年合宿	01~30 (NTC) 通年合宿
01~03 (NTC) 2020年東京対策ジュニア合宿	8/31~7 (DEN) ワールドマスター大会	9/19~04 (KOR)仁川 アジア競技大会	10/30~04 (茨城県高萩市) 日韓中大会
02~05 (山梨県山梨市) 全国高等学校選手権大会	8/17~15 (NTC) 世界選手権対策アジア競技大会代表合宿 女子	03~05 (石川県金沢市) 都道府県対抗女子選手権大会	10/05~03 (NTC) 世界選手権代表・リオ対策合宿 女子
7/27~10 (新潟県津南町) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子	05~11 (韓国・派遣) 日韓競技力向上スポーツ交流(ジュニア)	05~11/03 (NTC) 世界選手権代表・リオ対策合宿 女子	10/2~03 (NTC) 世界選手権代表・リオ対策合宿 女子
06~30 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 男子	07~15 (NTC) 世界選手権対策アジア競技大会代表合宿 男	05~19 (NTC) チーム招待・韓国選手	04~16 世界選手権大会 (KAZ)アルマトイ
15~17 (兵庫県明石市) 全日本マスター選手権大会	12~15 (NTC) 公認スポーツ指導者「指導員」養成講習会	12~11/03 (NTC) 世界選手権代表・リオ対策合宿 女子	07~09 (大阪府) 全日本大学対抗選手権大会2部
16~28 (CHN)南京 ユースオリンピック大会	19~10/04 (KOR)仁川 アジア競技大会[20~26・WLの会期]	13~17 (長崎県諫早市) 国民体育大会	20~24 (和歌山県和歌山市) レディースカップ全日本女子選抜選手権大会
22 (岐阜県可児市) 全国中学生選手権大会	19~23 (NTC) 大学生研修合宿「振興くじ」	25~26 (埼玉県) 全日本学生新人選手権大会	28~30 (埼玉県) 内閣総理大臣杯全日本社会人選手権大会
23~29 (岩手県奥州市) 日韓中ジュニア交流競技会	26~28 (NTC) 中学生・高1研修合宿「振興くじ」		28~30 (NTC) 全日本大学対抗選手権大会1部
17~9/15 (NTC) 世界選手権・アジア競技大会対策合宿 女子			28~30 (NTC) 中学生・高1研修合宿「振興くじ」
29~31 (NTC) 中学生・高1研修合宿「振興くじ」			
31~9/7 (DEN) ワールドマスター大会			

12月		1月		2月		3月	
1 月	火	1 木	木	1 日	日	1 日	月
2 水	水	2 金	火	2 月	月	2 月	火
3 木	木	3 土	水	3 火	火	3 火	水
4 金	金	4 日	木	4 水	水	4 水	木
5 土	土	5 月	木	5 木	木	5 木	木
6 日	日	6 木	金	6 金	火	6 金	金
7 月	月	7 土	土	7 土	水	7 土	土
8 韓国選手権大会	韓国選手権大会	8 月	木	8 月	火	8 月	月
9 月	月	9 木	木	9 木	水	9 木	水
10 水	水	10 土	金	10 土	木	10 土	木
11 木	木	11 日	木	11 水	金	11 日	木
12 金	金	12 月	木	12 木	木	12 月	木
13 土	土	13 火	木	13 金	火	13 火	水
14 日	日	14 水	木	14 土	水	14 日	木
15 月	月	15 木	木	15 月	木	15 月	火
16 火	火	16 金	金	16 月	火	16 月	水
17 水	水	17 土	土	17 木	水	17 木	木
18 木	木	18 日	木	18 水	木	18 木	水
19 金	金	19 月	木	19 木	木	19 金	木
20 土	土	20 火	水	20 金	火	20 土	金
21 日	日	21 水	木	21 土	水	21 日	火
22 月	月	22 木	木	22 日	木	22 月	水
23 火	Jr エリート研修合宿	23 金	金	23 日	火	23 日	火
24 水	Jr ユース研修合宿	24 土	土	24 月	水	24 月	水
25 木	福島	25 日	日	25 木	木	25 木	木
26 金	福島	26 月	火	26 水	水	26 金	火
27 土	福島	27 水	木	27 木	木	27 土	水
28 日	福島	28 木	金	28 土	火	28 日	月
29 月	福島	29 土	土	29 月	水	29 日	火
30 火	福島	30 日	木	30 月	木	30 月	水
31 水	福島	31 月	木	31 木	金	31 月	火

13 第3回理事会・臨時社員総会

21 第4回理事会・臨時社員総会・表彰式

01~31 (NTC) 通年合宿	01~31 (NTC) 通年合宿	01~28 (NTC) 通年合宿	01~31 (NTC) 通年合宿
11/30~10 (NTC) リオデジャネイロ対策合宿 男子 01~14 (NTC) リオデジャネイロ対策合宿 女子 チーム招待・韓国選手	10~25 (沖縄県) リオデジャネイロ対策合宿 女子 11~31 (NTC) リオデジャネイロ対策合宿 男子	06~15 (NTC) ジュニア世界選手権対策合宿 男女 07~08 (東京) 全国コーチ研修会 08~11 (NTC) ナショナル男子国内合宿 11~25 ナショナル男子海外合宿(ドイツ)	2/10~04 (アメリカ) 大学選抜海外合宿 7~21 (韓国) ナショナル女子海外合宿 「振興基金」 08~28 (NTC) リオデジャネイロ対策合宿 男子
05~08 (THA) チェンマイ 世界大学選手権大会 06~07 (東京) 競技者育成プログラム研修会		10~3/04 (アメリカ) 大学選抜海外合宿 10~28 (グアム) ナショナル女子海外合宿 「振興基金」	13~15 (東京) 全日本ジュニア選手権大会 26~29 (石川県金沢市) 全国高校選抜選手権大会
14~20 (東京・受入) 日韓競技力向上スポーツ交流(ジュニア) 18~27 (福島) リオデジャネイロ対策合宿 女子		21~22 指導者講師競技別全国研修会 (東京)	
22~27 (NTC) ジュニアエリート研修合宿 「振興くじ」 23~27 (全国6地区同時開催) ジュニアユース研修合宿 「振興くじ」			

平成26年度 予算 総括表
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	一般会計	日本オリンピック 委員会補助 事業会計	スポーツ振 興基金補助 事業会計	スポーツ振 興くじ補助 事業会計	指導者育成 事業会計	選手強化キ ャンペーン 会計	内部取引 消去	合 計
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
基本財産運用収入	5,000							5,000
会費収入	3,900,000							3,900,000
登録料収入	18,310,000							18,310,000
事業収入	2,020,000	2,980,000	4,110,000	1,240,000	250,000			10,600,000
補助金等収入	2,300,000	31,302,000	18,457,000	18,961,000	1,732,000	6,200,000		78,952,000
負担金収入	780,000							780,000
寄附金収入	10,000,000							10,000,000
協賛金収入	7,500,000							7,500,000
雑収入	207,000	2,000	851,000	151,000	1,000	1,000		1,213,000
他会計からの繰入金収入	200,000	19,892,000	3,717,000	2,743,000			△26,552,000	0
事業活動収入計	45,222,000	54,176,000	27,135,000	23,095,000	1,983,000	6,201,000	△26,552,000	131,260,000
2. 事業活動支出								
事業費支出	9,020,000	54,176,000	27,135,000	23,095,000	2,173,000	1,500,000		117,099,000
管理費支出	15,032,000					490,000		15,522,000
固定資産取得支出	0					3,917,000	△26,552,000	
他会計への繰入金支出	22,635,000	JOC会計へ 19,892,000						
Sp振興基金会計へ 2,743,000						Sp振興基金会計へ 3,717,000		
一般会計へ 200,000						一般会計へ 200,000		
事業活動支出計	46,687,000	54,176,000	27,135,000	23,095,000	2,173,000	5,907,000	△26,552,000	132,621,000
事業活動収支差額	△ 1,465,000	0	0	0	△ 190,000	294,000		△ 1,361,000
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
国際大会積立預金取崩収入	0							0
減価償却積立預金取崩収入								
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0		0
2. 投資活動支出								
特定預金繰入支出	0							0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0		0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0		0
III 財務活動収支の部								
1. 財務活動収入								
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0		0
2. 財務活動支出								
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0		0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0		0
IV 予備費支出								
当期収支差額	300,000	0	0	0	0	0		300,000
前期繰越収支差額	△ 1,765,000	0	0	0	△ 190,000	294,000		△ 1,661,000
次期繰越収支差額	3,354,866	0	0	0	931,909	803,396		5,090,171
	1,589,866	0	0	0	741,909	1,097,396		3,429,171

記録一覧

第16回アジアユース選手権大会	55
第28回アジアジュニア選手権大会	57
第21回アジアジュニア女子選手権大会	59
第34回全日本ジュニア選手権大会	60
第29回全国高等学校選抜大会	62
第11回全日本学生選抜選手権大会	64
<各ブロック大会>	
第29回関東高等学校選抜大会	65
第27回北信越高等学校選抜大会	65
第19回東海高等学校選抜大会	66
第18回近畿高等学校選抜大会	66
第16回中国高等学校選抜大会	67
第14回四国高等学校選抜大会	67
第22回全九州高等学校選抜大会	68

第16回アジアユース選手権大会

●平成26年3月4日[男子50KG級・女子44KG級]~5日[男子62KG級・女子48KG級]~6日[男子69KG級・女子56KG級]~7日[男子83KG級・女子63KG級]~8日[男子94KG級・女子69KG級]
6日男子69KG級・女子56KG級・男子83KG級・女子63KG級
2日男子94KG級・女子69KG級

【少年】

50KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	ZHENG Liangrun	CHN	97	49.41	92	102	105 ×
2	LY Gang Vinh	VIE	99	49.60	86	93	103 ×
3	KIM Yong Gun	PRK	98	49.87	79	82	84 ×
4	MUHAMAD Nurd Ramadhan	INA	98	49.40	80	85	90 ×
5	SAKETHONG Chakamom	THA	98	49.92	76	80	95 ×
6	CHANG Hao-Yu	TPE	98	49.75	75	75	98 ×
7	MUHAMAD Angga Afraijah	INA	97	49.84	78	82	86 ×
8	DEEPAK Lather	IND	00	49.62	79	79	82 ×
9	AITPEKOV Kadyrbek	KGZ	01	48.95	70	76	90 ×
10	AL-BRADWAN Dawood Salman H.	KSA	99	50.00	52	57	62 ×
11	TALGAT Ibrahim	MGL	99	49.85	50	55 ×	55 ×
					60	65 ×	65

56KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	MENG Cheng	CHN	97	55.37	115	123 ×	128
2	NGUYEN Tran Anh Tuan	VIE	98	55.73	102	108	111 ×
3	PAK Jong Ju	PRK	97	55.91	100	104	107 ×
4	TBC Laithanhima	IND	97	55.72	93	93	97 ×
5	HAN Sung-Kyun	KOR	97	55.97	94	99	101 ×
6	LAI Yung-En	TPE	97	55.40	92	95	98 ×
7	KHASSAROV Timur	KAZ	97	55.95	90	95	98 ×
8	YULDASHEV Mashkurbek	UZB	97	52.35	85	89	92 ×
9	JAMJANG Deru	IND	98	54.65	85	92	92 ×
10	MUHAMAD Darul Najmi Dollah	MAS	97	55.98	85	90	95 ×
11	OYEV Sunatullo	TJK	97	56.00	90	90	105 ×
12	DAVID Adhi Setyardi	INA	97	54.75	85	90	90 ×
13	USUKHAYAR Chagmaadorj	MGL	97	54.75	82	86	101 ×
14	SALAMATOV Iskender	KGZ	97	53.60	75	79	83 ×
15	ALMOHAMMAD Aljasssem Jaber	SYR	97	55.60	76	81 ×	84 ×
					85	95	95 ×

62KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	OHEN Jin-ci	CHN	97	61.84	115	120	123 ×
2	RI Chong Song	PRK	97	61.66	110	113	116 ×
3	MEEOON Sakda	THA	97	61.02	102	106	109 ×
4	LALU Taku	IND	98	61.33	102	110	113 ×
5	FOUROUTANHASHHEMI Mendi	IRI	97	61.15	105	107	110 ×
6	MONDARA Pongsaokom	THA	97	61.09	100	103	103 ×
7	KIM Jong-Kyoung	KOR	97	61.96	101	106	109 ×
8	MUHAMAD Zaidi Mohammad Nordin	MAS	97	61.39	93	95	100 ×
9	STANALLEY Manas	KGZ	97	61.77	98	103	107 ×
10	CHENG Chun Hung	TPE	97	61.81	90	95	106 ×
11	FIRDY Ghivary	INA	98	61.89	96	101	106 ×
12	AHMAD Rizal	INA	97	60.93	87	90	95 ×
13	MUSSAFA	VIE	98	61.76	85	90	92 ×
14	ALALAMI Ali	KSA	98	60.60	75	82	85 ×
15	ALBE LAJI Abdurrahim	KSA	98	61.29	71	77	92 ×
16	Prakash K. C.	NEP	99	58.69	72	77	82 ×
17	MHD Hadi Korabi	SYR	98	60.07	70	77	80 ×
18	HUSSIN Alshikh	SYR	99	60.41	75	80 ×	85 ×
					85	92	99 ×

69KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	BAGHERIKORDASTABI Karoush	IRI	97	68.95	112	117	121 ×
2	MAKEVEY Mikhal	KAZ	97	68.31	118	122	145 ×
3	SEIHE Shu-Yin	TPE	97	68.36	109	122	147 ×
4	SUEPSUAN Natthawut	THA	97	68.36	122	123	142 ×
5	XIANG Feiyang	CHN	98	67.90	121	121	148 ×
6	SAMBO Lapung	IND	97	68.91	115	120	147 ×
7	宮本 昌典	JPN	97	66.81	113	117	140 ×
8	TAZHIDINOV Rustambek	KGZ	97	68.19	100	107	130 ×
9	HODAYBERGANOV Shakhzod	UZB	97	67.85	110	115	120 ×
10	KUSUNOYO Nattawut	THA	98	66.68	105	110	135 ×
11	伊丹路於奈	IND	97	66.76	100	105	135 ×
12	IMAM Abdul Rahman	INA	97	68.31	105	110	130 ×
13	ANARDIN Ulu Askat	KGZ	98	68.32	98	103	120 ×
14	HWANG Gyuhyeon	KOR	97	68.07	100	105	130 ×
15	ALOTHMAN Sami	KSA	97	68.96	97	105	115 ×
16	RAHMAN Devi Perdana	INA	98	68.78	93	97	102 ×
17	MUHAMMAD Mohammad	SYR	99	66.84	85	95	100 ×
					95	108	116 ×

77KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	RAGALA Venkata Rahul	IND	97	76.79	125	129	133 ×
2	VALIPOUR Ramlin	IRI	97	77.00	128	134	155 ×
3	LIAN Jiaming	CHN	97	76.07	122	127	147 ×
4	MANEESRI Pichet	THA	97	73.37	122	127	155 ×
5	YOON Chang-Beom	KOR	97	76.29	118	121	154 ×
6	GHAZALIAN Hossein	IRI	98	76.41	115	122	145 ×
7	TOLOMON Kursant	KGZ	97	76.05	105	112	135 ×
8	WANG Ching-Chien	TPE	97	76.68	115	118	121 ×
9	SOPHALAI Thiraphat	THA	97	69.61	107	112	135 ×
10	MARUFJONOV Sherzod	UZB	97	75.92	108	112	143 ×
11	MUHSIN Jrech	SYR	97	71.31	97	105	116 ×
12	MUHSIN Afifi Haikai Nordin	MAS	97	74.44	105	110	125 ×
13	SYRGABAEV Urmabek	KGZ	98	75.98	95	100	115 ×
14	AL Rumaith Saeed	KSA	97	70.61	80	90	95 ×
15	ALMAHROOS Mustafa	KSA	97	69.39	82	82	85 ×
16	ISHWAR-EREDDINE Naran-Purev	MGL	99	75.29	60	70	80 ×
					70	77	—

85KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	BEIRALVAND Reza	IRI	97	84.00	136	142	165 ×
2	ZHAO Yuda	CHN	97	84.23	125	134	165 ×
3	HWANG Seung-Hwan	KOR	97	84.17	127	133 ×	166 ×
4	CHITRAKAN Manop	THA	97	77.06	118	126	150 ×
5	JANNYEV Muhammetnur	TKM	97	83.80	125	133 ×	145 ×
6	RIYAN Antoni	INA	97	83.60	103	111	137 ×
7	ABYSHKA Juluu Kanbolot	KGZ	97	82.09	105	111	125 ×
8	SU Tien-Tsing	TPE	98	83.47	100	105	135 ×
9	ALMAJED Hussain	KSA	98	77.10	90	104	121 ×
10	MOHSEEN Jyasa	SYR	97	83.56	101	111	136 ×
					120	130	130 ×

94KG級

順位	氏名	国名	年	体重	ス ナ ッ チ	ク リ ー ン & ジ ャ ー ク	ベ ス ト
			1	2	3	3	
1	HA Myeongchan	KOR	97	93.53	125	129	160 ×
2	KHALLAMRAEI Seyedmostafa	IRI	97	93.93	122	127	161 ×
3	KHALLAMRAEI Seyedmostafa	IND	97	92.74	123	127	162 ×
4	KARANBIR Singh Bal	MAS	97	93.03	115	125	160 ×
5	MOHAMAD Nasir Rosian	CHN	98	91.84	110	118	148 ×
6	HAN Songbai	LB	97	92.42	100	106	150 ×
7	RIDA Ali	TPE	98	92.19	100	105	110 ×
8	ALI Ahmed Alkazai	KSA	98	85.03	85	100	116 ×
					105	105	105 ×

+94K級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	ABUBAKAROV Salimkhan	KAZ	97	142.69	150	160	—	180	185	190
2	MAHMOUDI Mehrshad	IRI	97	130.85	133	136	142	170	178	183
3	REZA Zadeh Alvan Saeid	IRI	97	109.78	130	135	140	170	180	183
4	YANG Jin-SEOK	KOR	98	95.60	110	110	115	135	145	150
5	YAAROB Abbas	SYR	97	124.66	115	120	123	135	142	142
6	LAITH Hakim	SYR	98	105.17	95	105	110	115	123	127
7	WANG Lei	CHN	97	114.93	130	133	133	160	170	170

【少女】

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	RI Song Gumi	PRK	97	43.84	63	66	71	83	88	93
2	R Hyun Hwa	PRK	99	42.68	60	63	63	77	81	84
3	DAI Yanping	CHN	98	43.63	60	65	70	73	78	81
4	MOHINI Chavan	IND	99	43.47	52	55	55	70	72	75
5	FANG Wan-Ling	TPE	99	43.37	52	56	58	65	70	72
6	RANI	IND	97	43.54	50	53	55	60	63	63
7	JAHURA Akter Reshma	BAN	98	43.19	50	50	55	63	66	67
8	SANGUAN Nussara	THA	00	43.93	44	47	51	55	60	64
9	ZOLBOO Bold	MGL	97	42.75	35	35	43	48	53	53
10	ABDURAHMONOVA Zamigor	UZB	01	41.91	30	33	36	40	44	46
MANITSA Suthanthi	LAO	00	33.32	25	—	—	—	25	—	—

44K級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	C&J	トータル
1	WEI Chengyu	CHN	97	58.45	83	88	90	105	115
2	LEE Ji Ye	KOR	97	62.32	76	76	84	91	94
3	石井 未来	JPN	98	62.56	69	73	85	89	93
4	YANG Pei-Ji	TPE	97	62.18	70	74	74	83	90
5	ERKINNOVA Nilfar	UZB	98	59.02	45	51	55	50	58

48K級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	JIANG Huihua	CHN	98	46.73	70	85	89	100	100	118
2	HATSADONG Suphatcha	THA	98	47.74	56	59	71	75	76	81
3	NGO Thi Quyen	VIE	97	46.30	55	58	60	72	75	80
4	WANG Sheng-Han	TPE	97	47.35	55	58	60	72	74	74
5	SITI Zaleha Yusop	MAS	97	45.73	55	60	60	70	70	75
6	BAASABJARGAL Ganeshere	MGL	97	45.96	46	46	53	64	64	66
7	NIZOMIDINOVA Nozima	UZB	98	46.10	35	41	41	45	49	53

53K級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	QIN Lanfang	CHN	97	51.62	76	80	85	95	101	115
2	JONG Chun Hui	PRK	98	52.84	75	75	78	95	99	109
3	PAKKARATHA Rattanaphon	THA	97	52.60	73	77	96	102	109	115
4	KAMKING Uraiwat	THA	97	52.22	70	75	77	91	96	104
5	NOH Yu Hyun	KOR	97	51.30	66	72	76	84	88	96
6	HAM Eun-Ji	KOR	97	52.74	75	75	93	93	97	106
7	MEIRAM Pumima Chanu	IND	98	52.37	60	65	67	80	85	93
8	ERRA Deepitha	IND	97	52.47	60	63	65	78	83	86
9	LIN Hsin-Hua	TPE	97	52.62	60	63	65	77	80	83
10	BUN Ayush Altanerel	MGL	98	51.36	40	53	54	64	66	64

58K級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	LANG Jinyi	CHN	97	57.23	80	85	88	105	110	115
2	CHIANG Nien-Hsin	TPE	97	57.40	77	81	84	107	112	115
3	CHOBNGAM Wanida	THA	98	57.69	80	84	86	100	106	112
4	ACCCHEDYA Jagadidtha	INA	97	57.78	74	74	78	94	100	103
5	CHEN Wen-Huei	TPE	97	57.73	70	74	74	90	93	96
6	SAGOSEM Thasana Chanu	IND	97	57.61	69	72	74	89	94	97
7	NUNGSHITON Kh.	IND	98	57.44	67	71	73	85	90	93
8	AKTAR Maria	BAN	99	57.97	60	65	65	80	84	87
9	谷 口さつき	JPN	97	57.75	60	63	66	75	78	80
10	ANULJIN Ganzorig	MGL	98	57.44	55	60	62	72	75	78
11	AKHMEDOVA Gulnoza	UZB	00	56.62	53	57	60	70	74	80

63KG級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	WAI Mengling	CHN	97	68.23	91	98	100	109	118	118
2	ANKHITSETSEG Munkhjantsan	MGL	97	66.80	85	88	90	107	107	107
3	LEE J-EUN	KOR	97	66.74	84	87	89	102	102	105
4	FENA Yuliani	INA	97	65.67	80	84	86	100	107	107
5	NGUYEN Thi Van	VIE	98	68.23	65	73	75	80	80	80
6	TAEVA Dina	UZB	98	67.92	45	52	57	60	74	74
7	SUVY Byamba-Suren	MGL	97	68.09	35	—	—	—	35	35
8	NGUYEN Van	VIE	98	67.77	85	85	101	103	106	106

69KG級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク	ペスト
1	SUN Mengling	CHN	97	70.04	90	90	90	92	92	92
2	CHAIDEE Duangaksom	THA	97	74.93	91	91	92	119	119	124
3	PAN Li-Chen	TPE	97	86.39	75	78	78	90	90	96
4	JABRIELLA Teo Samuel	IND	97	73.78	70	75	81	85	85	95
5	SEEMA	MAS	98	76.73	70	76	69	80	80	86
6	ABDULLAEVA Kamila	UZB	97	71.18	60	66	70	77	77	77
7	MINGBOEV A Madina	MGL	98	72.50	61	63	71	71	71	71
8	EILEGA-SAIKHAN Tumur-Chuluun	MGL	98	79.58	53	61	63	63	63	63

国別得点表

第28回アジアユニアド選手権大会

【少年】

●平成26年3月9日 [56kg級～62kg級]・10日[69kg級～77kg級]・11日[85kg級～+105kg級] ●タイ ハンゲザエント

順位	国名	50kg	56kg	62kg	69kg	77kg	85kg	94kg	合計得点
1	IRI	84 / 1	84 / 1	84 / 1	78 / 1	136 / 2	84 / 1	144 / 2	578 / 8
2	CHN	63 / 1	63 / 1	68 / 1	67 / 1	75 / 1	63 / 1	22 / 1	547 / 8
3	THA	129 / 2	117 / 2	119 / 2	65 / 1	71 / 1	446 / 7		493 / 7
4	IND	55 / 1	113 / 2	65 / 1	61 / 1	81 / 1	71 / 1		440 / 7
5	KOR	63 / 1	56 / 1	56 / 1	38 / 1	66 / 1	69 / 1	64 / 1	402 / 7
6	TPE	62 / 1	49 / 1	68 / 1	53 / 1	54 / 1	58 / 1		384 / 8
7	INA	123 / 2	42 / 1	89 / 2	71 / 2	59 / 1			382 / 8
8	KGZ	53 / 1	36 / 1	51 / 1	90 / 2	92 / 2	58 / 1		
9	SYR	33 / 1	52 / 2	27 / 1	45 / 1	48 / 1	122 / 2	327 / 8	
10	KSA	48 / 1	68 / 2	33 / 1	69 / 2	51 / 1	54 / 1	323 / 8	
11	KAZ	57 / 1							
12	PRK	70 / 1	69 / 1	73 / 1					
13	MAS	50 / 1	53 / 1			42 / 1	66 / 1	211 / 4	
14	VIE	73 / 1	75 / 1	40 / 1					188 / 3
15	UZB	51 / 1		50 / 1					151 / 3
16	MGL	45 / 1	42 / 1		30 / 2				117 / 4
17	JPN			107 / 2					107 / 2
18	TKM					64 / 1			
19	LIB					59 / 1			
20	TJK						45 / 1		
21	NEP						31 / 1		
人数		11	15	18	17	17	10	8	7
									103

【少女】

順位	国名	44kg	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	+99kg	合計得点
1	CHN	71 / 1	84 / 1	81 / 1	84 / 1	84 / 1	75 / 1	563 / 7	575 / 7
2	TPE	64 / 1	69 / 1	51 / 1	138 / 2	66 / 1	68 / 1	456 / 7	
3	IND	124 / 2		111 / 2	119 / 2		64 / 1	418 / 7	
4	THA	54 / 1	71 / 1	138 / 2	69 / 1		84 / 1	416 / 6	
5	MGL	51 / 1	60 / 1	48 / 1	49 / 1		129 / 2	54 / 1	391 / 7
6	UZB	48 / 1	57 / 1		45 / 1	63 / 1	59 / 1	117 / 2	389 / 7
7	KOR					125 / 2	75 / 1	71 / 1	271 / 4
8	PRK	157 / 2		73 / 1					230 / 3
9	VIE		70 / 1			84 / 2	154 / 3		
10	MAS	63 / 1				66 / 1	129 / 2		
11	INA					65 / 1	129 / 2		
12	JPN					120 / 2			
13	BAN	58 / 1				111 / 2			
人数		11	7	10	11	5	8	8	60

順位	国名	50kg	56kg	62kg	69kg	77kg	85kg	94kg	合計得点	生年	体重	1	スナッチ	2	フリーエンド	3	スコア	順位	トータル
1	IRI	84 / 1	84 / 1	84 / 1	78 / 1	136 / 2	84 / 1	144 / 2	578 / 8	CHN	95	55.87	111	113 ×	135	148	153	1	261
2	CHN	63 / 1	63 / 1	68 / 1	67 / 1	75 / 1	63 / 1	22 / 1	547 / 8	THA	96	55.45	95	95	110 ×	121 ×	140 ×	149 ×	116 / 1
3	THA	129 / 2	117 / 2	119 / 2	65 / 1	71 / 1	446 / 7			PRK	94	55.75	105	113 ×	133 ×	139	135	141 / 2	
4	IND	55 / 1	113 / 2	65 / 1	61 / 1	81 / 1	71 / 1			VIE	95	55.25	108	113 ×	130 ×	134 ×	134	105 / 5	
5	KOR	63 / 1	56 / 1	56 / 1	38 / 1	66 / 1	69 / 1	64 / 1	440 / 7	IND	94	55.61	100	105	108 ×	128	134	105 / 4	
6	TPE	62 / 1	49 / 1	68 / 1	53 / 1	54 / 1	58 / 1			JPN	94	55.63	97	97	100 ×	122	129 ×	100 / 6	
7	INA	123 / 2	42 / 1	89 / 2	71 / 2	59 / 1				UZB	95	55.16	93	97	100 ×	113	117	121 / 8	
8	KGZ	53 / 1	36 / 1	51 / 1	90 / 2	92 / 2	58 / 1			TFE	94	56.00	95	98	100 ×	115	120 ×	98 / 8	
9	SYR	33 / 1	52 / 2	27 / 1	45 / 1	48 / 1	122 / 2	327 / 8		TFE	95	55.76	88	92	95 ×	115	120 ×	92 / 10	
10	KSA	48 / 1	68 / 2	33 / 1	69 / 2	51 / 1	54 / 1			UZB	97	52.13	87	91	91 ×	112	119	87 / 11	
11	KAZ	57 / 1								KSA	96	51.15	75	80	96	102	107 ×	80 / 12	
12	PRK	70 / 1	69 / 1	73 / 1						IND	94	61.90	100	104	106	130	135 ×	106 / 9	
13	MAS	50 / 1	53 / 1			42 / 1	66 / 1											135 / 9	
14	VIE	73 / 1	75 / 1	40 / 1														241	
15	UZB	51 / 1		50 / 1															
16	MGL	45 / 1	42 / 1		30 / 2														
17	JPN			107 / 2															
18	TKM					64 / 1													
19	LIB					59 / 1													
20	TJK						45 / 1												
21	NEP						31 / 1												
人数		11	15	18	17	17	10	8	7										

94kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	フリースタイル	レスト	トータル			
				1	2	3	1	2	3	S	C&J
1	LIU Chun	CHN	95	86.85	150	155	160	180	185	188	160 / 1
2	SUMPRADIT Sarat	THA	94	93.94	145	151	151	181	186	189	151 / 2
3	GANIYEV Azimjon	UZB	96	92.34	130	132	135	165	167	170	135 / 3
4	LM Geun-Young	KOR	95	90.66	121	126	130	158	165	170	130 / 3
5	SARIPOV Azamat	UZB	96	88.03	120	125	128	150	155	165	125 / 4
6	AMEEN Ali Albaader	KSA	95	85.63	103	115	115	125	134	139	125 / 4
7	Ali Ahmed Alkhazai	KSA	98	85.03	85	95	95	110	122	122	95 / 7
											110 / 7
											205

+105kg級

1	LEE Yang-Jae	KOR	95	128.24	160	160	165	196	203	208	165 / 2
2	ABUBAKAROV Selimkhan	KAZ	97	143.26	161	166	171	195	202	202	171 / 1
3	KIDIROV Zufar	UZB	94	131.93	140	150	150	175	184	190	140 / 3
4	YOUSEF Alabbas	KSA	96	105.05	92	102	109	122	135	135	102 / 4
											224

国別得点表

順位	国名	56kg	62kg	69kg	77kg	85kg	94kg	105kg	+105kg	合計
1	THA	143 / 2	129 / 2	63 / 1	60 / 1	78 / 1	84 / 1	78 / 1	557 / 8	
2	UZB	99 / 2		54 / 1	69 / 1	75 / 1	132 / 2	69 / 1	498 / 8	
3	KSA	42 / 1		75 / 1	57 / 1	135 / 2	117 / 2	66 / 1	492 / 8	
4	CHN	79 / 1	81 / 1	61 / 1	84 / 1					386 / 5
5	TPE	99 / 2	111 / 2					142 / 2		352 / 6
6	KOR									
7	IND	62 / 1	50 / 1		70 / 1			63 / 1		245 / 4
8	KAZ		69 / 1	84 / 1						
9	MAS		69 / 1		134 / 2					
10	JPN	58 / 1	61 / 1					68 / 1		187 / 3
11	KGZ		57 / 1	60 / 1						117 / 2
12	OMA						84 / 1			84 / 1
13	VIE		67 / 1							67 / 1
14	PRK		65 / 1							65 / 1
	合計	12	10	8	7	4	7	5	4	57

第21回アジアユニア女子選手権大会

●平成26年3月9日 [48Kg級～53kg級]・10日[58Kg級～63kg級]・11日[68Kg級～73kg級] ●タイ バンコクサエーン

国別得点表

順位		氏名		国名		生年		体重		スナッチ		クリーン&ジャーク		ペスト		S		順位		国別		48Kg		53Kg		58Kg		63Kg		69Kg		75Kg		+75Kg		合計		
1	QIN Lidan	CHN	95	47.34	78	81	x	81	97	103	106	81	1	106	1	157	/2	141	/2	63	/1	78	/1	505	/7													
2	SAINIKHOM Mirabai Chanu	IND	94	47.84	70	73	x	75	90	x	90	93	75	2	93	2	123	/2	60	/1	66	/1	388	/6														
3	LEE Seul-ki	KOR	95	47.99	73	77	x	91	96	x	96	x	73	3	91	3	164		59	/1	64	/1	81	/1	387	/6												
4	WANROEK On-Uma	THA	95	46.47	63	x	63	67	85	x	90	x	67	4	85	4	152		7	VIE	60	/1	68	/1	65	/1	193	/3										
5	CHIANG Meng-Chun	TPE	94	47.10	63	67	x	72	80	x	85	x	67	5	80	5	147		8	KOR	69	/1	75	/1	75	/1	144	/2										
6	NGO Thi Quyen	VIE	97	46.26	60	63	x	63	75	x	75	x	60	6	75	6	135																					
7	LIU Wen Hsuan	TPE	94	47.51	60	x	60	73	x	73	75	x	60	7	73	7	133		9	KGZ	69	/1	69	/1	69	/1	69	/1										
8	ZOU Han	CHN	96	52.45	85	90	x	90	90	x	90	108	x	108	x	90	2	—		10	MGL	69	/1	69	/1	69	/1	69	/1									

53Kg級		1 RIM Un Sim		THA		96		52.91		86		91		93		x		109		x		—		91		1		109		1		200		206				
1	INTAMAT Kamonchanok	THA	96	57.72	77	x	77	83	107	110	113	x	93	1	113	1	173		2	PUNAM Yada	IND	94	52.87	72	74	76	x	105	x	83	2	105	2	188		188		
3	BAIYZOVA Adila	KGZ	94	57.22	70	74	x	76	88	91	93	x	74	5	91	5	165		4	小野さえり	JPN	94	62.77	80	82	x	98	x	101	x	82	4	98	5	180		180	
5	HUNG Tzu-Chun	TPE	94	52.80	67	71	x	74	88	93	96	x	71	6	93	4	164		6	LIN Ming-Yi	TPE	95	62.54	72	75	x	93	x	100	x	75	7	96	6	175		175	
7	吉田朱音	JPN	94	61.65	68	73	x	77	83	88	93	x	77	5	93	5	170		8	MANPREET Kaur	IND	96	62.71	70	73	x	90	x	93	x	73	8	90	4	165		165	

63Kg級		1 MENG Shanshan		CHN		95		59.49		95		100		103		121		125		130		x		103		1		125		1		228		
1	KIM Hyo Sim	PRK	94	62.57	95	100	x	83	87	105	113	x	114	x	128	x	125	x	128	x	103	x	125	2	228									
3	ANKHITSETSEG Munkhjantsan	MGL	97	66.20	83	x	83	87	105	113	x	114	x	114	x	121	x	125	x	128	x	103	x	125	3	201								
4	THAOMRUNGRUEANG Donlaphon	THA	94	60.63	75	x	75	80	95	100	x	100	x	105	x	105	x	105	x	105	x	87	x	114	3	201								
6	LIN Ming-Yi	TPE	95	62.54	72	x	75	78	93	96	x	96	x	96	x	100	x	100	x	100	x	75	x	75	6	171								
7	SWAPNA Priya Baruah	IND	96	67.87	70	x	70	74	90	94	x	94	x	94	x	98	x	98	x	98	x	90	x	90	8	163								

58Kg級

75Kg級		1 KIM Su-Jong		PRK		94		74.54		105		113		115		125		132		135		x		115		1		132		1		247			
1	CHUNG Yun Ling	TPE	94	99.23	95	100	x	106	120	x	126	x	126	x	126	x	121	2	226																
2	CHAIDEE Duanongsom	THA	97	101.97	87	92	x	86	96	116	x	116	x	116	x	116	x	115	x	115	x	115	x	115	3	201									
3	鷲本 美愛	JPN	95	112.24	82	86	x	86	111	115	x	115	4	196	4	172																			
4	MUNNI	IND	95	79.87	73	76	x	80	93	96	x	96	x	96	x	96	x	98	x	98	x	98	x	98	6	172									

JOCジュニアオリンピックカップ 第34回全日本ジュニア選手権大会

平成26年3月14日[男子56kg級～69kg級・女子48kg級～115kg級] [男子77kg級～94kg級・女子59kg級～83kg級]

16日[男子105kg級～+105kg級・女子69kg級～+75kg級] ●栃木県立県南体育馆(小山市)

[男子]

56kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	
1	木本 和真	兵庫 関西大学	94.1	55.60	100	104	107	120	124	128	104.1	128.1	116.1	116.1	
2	樋井 韶人	兵庫 中央大学	94.2	55.90	97	99	100	126	130	131	97.2	126.2	223	232	
3	知念 遼斗	愛媛 美豊見城高校	96.0	90	90	95	90	108	111	115	95.3	120.3	215	215	
4	千葉 健介	岩手 水沢高校	95.3	55.92	86	95	90	90	105	105	90.4	111.5	201	201	
5	横田 一輝	滋賀 安曇川高校	97.2	55.82	77	81	84	100	105	105	84.6	105.7	189	189	
6	佐藤 彰紀	大坂 明治大学	94.1	54.76	83	83	86	105	105	113	83.7	105.6	188	188	
7	屋永 充汰	東京 駒澤大学附属インターナショナル	99.3	49.64	67	70	73	MR	90	93	93	73.8	90.8	163	163
8	森川 芳樹	兵庫 小林高校	95.1	55.98	86	89	89	89	114	114	86.5	—	—	—	
9	永原 拓志	熊本 明治大学	95.1	55.92	93	93	93	93	113	113	114	114	—	—	
10	塙谷 亮輔	北海道 士別商中学校	98.3	61.90	90	90	95	95	115	115	94.7	115.7	209	209	
11	神谷 亮輝	兵庫 関西大学	97.2	61.54	88	91	91	103	108	112	88.1	108.1	196	196	
12	廣瀬 昌之	兵庫 須磨友が丘五高校	97.2	61.64	87	91	91	108	111	111	87.1	108.12	195	195	

62kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト
1	平井 韶人	岡山 九州国際大学	94.1	61.68	108	110	112	125	130	133	112.1	133.2	245	245
2	寺田 幸太	岩手 日本体育大学	94.2	59.20	106	110	110	126	131	133	106.2	133.1	239	239
3	黒佐 仁	東京 法政大学	94.1	61.72	98	101	101	123	126	131	98.4	126.3	224	224
4	佐藤 好将	宮城 自衛隊体育学校	94.1	61.60	95	99	101	120	124	124	99.3	124.5	223	223
5	伊藤 竜紀	大阪 商業大学	94.1	61.60	92	95	97	120	125	125	95.6	125.4	220	220
6	高野 裕太朗	福島 宮崎日本高校	94.1	61.90	94	94	94	100	100	100	94.8	122.6	216	216
7	高野兼太朗	東京 山梨日本高校	94.1	61.02	95	100	100	115	120	120	95.5	115.7	210	210
8	稻垣 晴樹	兵庫 関西大学	94.2	61.90	90	94	97	110	119	119	94.7	115.7	209	209
9	中野 景介	兵庫 須磨友が丘五高校	95.3	61.46	90	95	95	115	118	118	90.9	115.8	205	205
10	塙谷 肇樹	北海道 士別商中学校	98.3	61.90	90	95	95	115	120	120	90.9	115.9	205	205
11	神谷 亮輝	兵庫 須磨友が丘五高校	97.2	61.54	88	91	91	103	108	112	88.1	108.1	196	196
12	廣瀬 昌之	兵庫 須磨友が丘五高校	97.2	61.64	87	91	91	108	111	111	87.1	108.12	195	195

69kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト
1	生駒 永人	兵庫 明石高校	95.3	68.60	115	120	126	146	151	157	120.2	151.1	271	271
2	草野 韶太	大分 岩手西大学	94.1	68.42	120	125	125	145	150	152	148.1	150.2	270	270
3	山口 直幸	岐阜 日本体育大学	95.3	68.55	103	111	111	145	148	151	108.4	148.3	256	256
4	松尾 大輔	東京 東亜学園高校	96.3	68.00	106	110	111	125	130	134	106.5	130.5	236	236
5	西村 優吾	和歌山 金剛学院大学	94.1	68.44	90	95	95	130	135	140	95.0	140.4	235	235
6	美島 亮	愛知 知明大学	94.1	64.66	93	97	97	125	130	130	97.9	130.6	227	227
7	永迫 竜矢	福島 小林高校	97.2	68.02	95	98	101	115	120	125	101.6	120.11	221	221
8	廣瀬 貴	東京 東亜学園高校	96.2	67.28	100	105	105	120	124	120	100.7	120.9	220	220
9	博田 興樹	奈良 自平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
10	知念 美樹	大分 平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
11	山根 太郎	大分 大学	98.3	67.18	88	90	93	115	113	115	93.1	112.1	213.1	213.1
12	瀬戸 さとし	福岡 市立中学校	97.1	68.38	85	90	94	110	112	112	91.1	112.1	203.1	203.1

69kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト
1	生駒 永人	兵庫 明石高校	95.3	68.60	115	120	126	146	151	157	120.2	151.1	271	271
2	草野 韶太	大分 岩手西大学	94.1	68.42	120	125	125	145	150	152	148.1	150.2	270	270
3	山口 直幸	岐阜 日本体育大学	95.3	68.55	103	111	111	145	148	151	108.4	148.3	256	256
4	松尾 大輔	東京 東亜学園高校	96.3	68.00	106	110	111	125	130	134	106.5	130.5	236	236
5	西村 優吾	和歌山 金剛学院大学	94.1	68.44	90	95	95	130	135	140	95.0	140.4	235	235
6	美島 亮	愛知 知明大学	94.1	64.66	93	97	97	125	130	130	97.9	130.6	227	227
7	永迫 竜矢	福島 小林高校	97.2	68.02	95	98	101	115	120	125	101.6	120.11	221	221
8	廣瀬 貴	東京 東亜学園高校	96.2	67.28	100	105	105	120	124	120	100.7	120.9	220	220
9	博田 興樹	奈良 自平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
10	知念 美樹	大分 平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
11	山根 太郎	大分 大学	98.3	67.18	88	90	93	115	113	115	93.1	112.1	213.1	213.1
12	瀬戸 さとし	福岡 市立中学校	97.1	68.38	85	90	94	110	112	112	91.1	112.1	203.1	203.1

69kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト
1	生駒 永人	兵庫 明石高校	95.3	68.60	115	120	126	146	151	157	120.2	151.1	271	271
2	草野 韶太	大分 岩手西大学	94.1	68.42	120	125	125	145	150	152	148.1	150.2	270	270
3	山口 直幸	岐阜 日本体育大学	95.3	68.55	103	111	111	145	148	151	108.4	148.3	256	256
4	松尾 大輔	東京 東亜学園高校	96.3	68.00	106	110	111	125	130	134	106.5	130.5	236	236
5	西村 優吾	和歌山 金剛学院大学	94.1	68.44	90	95	95	130	135	140	95.0	140.4	235	235
6	美島 亮	愛知 知明大学	94.1	64.66	93	97	97	125	130	130	97.9	130.6	227	227
7	永迫 竜矢	福島 小林高校	97.2	68.02	95	98	101	115	120	125	101.6	120.11	221	221
8	廣瀬 貴	東京 東亜学園高校	96.2	67.28	100	105	105	120	124	120	100.7	120.9	220	220
9	博田 興樹	奈良 自平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
10	知念 美樹	大分 平成国際大学	94.1	67.92	100	105	105	120	125	125	100.8	120.10	220	220
11	山根 太郎	大分 大学	98.3	67.18	88	90	93	115	113	115	93.1	112.1	213.1	213.1
12	瀬戸 さとし	福岡 市立中学校	97.1	68.38	85	90	94	110	112	112	91.1	112.1	203.1	203.1

69kg級

順位	氏名	都道府県名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク</th

+105Kg級									
順位	都道府県名	年齢	学年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク
1	知念	光亮	沖縄	141.48	155 CS	165.0m	170 x	190 CS	200 HR
2	村上英朗	豊島	山形	129.96	155 CS	160 CR	166 x	195 HR	201 HR
3	片岡	翼	宮城	121.34	130 x	130	133	165 x	165
4	新垣	光希	沖縄	120.70	130 x	130	135	170	174 x
5	比嘉	翔済	東京	116.88	125	130 x	130	170	170 x
6	松岡	頸嶺	岐阜	130.28	120	125 x	125	150	155 x
7	武田	健	宮城	105.64	115 x	115	160	165 x	165 x
8	大嶋	慶輝	兵庫	115.76	118	121 x	121	143 x	146
9	上野	祐脩	東京	121.80	110	116 x	118 x	140	145 x
10	小林	拓斗	栃木	112.68	97	112.68	93	117	122 x
	鳥嶽	雅浩	大分	134.30	130 x	130	130	160	165 x
	野中	洋平	沖縄	113.18	120 x	120 x	120 x	151 x	151 x

【女子】

48Kg級									
順位	都道府県名	年齢	学年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク
1	安鷗	千晶	茨城	太子清流高校	96.2	47.80	59	62	65
2	有働乃里日	祐	兵庫	淡路高等学校	95.3	46.82	56	58 x	58
3	森 有紹	理	福島	埼玉栄高等学校	97.1	46.92	54	54	57
4	安藤	川辺	宮城	金沢学院大学	95.1	47.84	53	55	57
5	川辺 彩	真由	宮城	飯田高校	97.1	47.58	47 x	47	49
6	小林美智子	留香	石川	倉敷商業高校	97.1	43.60	45	48	50 x
7	武藤	留香	京都	加悦谷高校	97.1	47.86	40	43	46 x
8	松本 素々	三重	三重	龜山高校	97.1	47.02	44	47	49 x

53Kg級									
順位	都道府県名	年齢	学年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク
1	佐渡山絵奈	冲縄	平成国際大学	94.1	52.70	67	69	72 x	87
2	中山 桃花	兵庫	須磨が丘高校	95.3	52.36	66	68 x	68	81
3	沢田 葵	山梨	立命館大学	94.2	52.42	60	63	65	74 x
4	野口 翔	栃木	朱莉香	94.1	52.50	59	61	63	78
5	内門 沙綾	宮城	小林秀峰高校	95.3	52.66	63 x	63	80	83 x
6	榎本由たる	埼玉	埼玉栄高校	96.2	52.36	58	61	63 x	76 x
7	牛崎 真由	群馬	前橋育英高校	95.3	51.80	56 x	56	56 x	76 x
8	井深 朱音	兵庫	立命館大学	95.1	52.34	55	57 x	58 x	70 x
9	中谷 麻佑	石川	金沢学院東高校	91.9	49.84	55 x	55	67	69
10	村上 安穂	大分	坂口大葉集大附中学校	98.3	52.38	50	53	56 x	67 MS
11	岡田 花奈	京都	都加悦谷高校	97.1	52.40	55 x	55	57	64 x
12	田邊 隆香	福井	(株)オーディング	94	51.92	50	53 x	53 x	60

58Kg級									
順位	都道府県名	年齢	学年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク
1	遠田 優	愛媛	川多度津高校	96.3	57.68	73	75	77	90 x
2	柴田 里穂	京都	都関西大学	94.1	57.58	71	75	81	94 x
3	植松 曜	京都	都立教大	94.1	57.46	65	69	71	84 x
4	古川奈央	三重	重慶山高校	96.3	56.64	56	59	61 x	74 x
5	伊藤 美香	愛媛	新居浜南高校	97.1	57.34	50 x	50	53	63 x

62Kg級									
順位	都道府県名	年齢	学年	体重	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャーク
1	野本なづみ	福井	早稲田大学	94.1	60.48	58	61	63	73 x
2	大塚 大塚	福井	木下柳南高校	97.1	60.84	58	60	62	70 x
3	細貝 優希	福井	早稲田大学	94.1	60.57	53	56	58	73 x
4	中山 横菜	東京	第五商業高校	97.1	61.36	58 x	58	60	70 x
5	安藤 達	東京	新居浜南高校	98.1	62.30	57	59	61	68 x
6	西垣 未来	東京	兵庫大	94.1	62.38	55 x	55	60 x	71 x
7	岩田 優	東京	第五商業高校	97.1	62.04	57 x	57	59 x	68 x
	大江 香代子	福井	木下山高校	97.1	61.96	56 x	56 x	64 x	77 x

第29回全国高等学校選抜大会

●平成26年3月26日 [男子] 65kg級～72kg級・女子48kg級～53kg級・[女子] 58kg級～63kg級
28日 [男子] 105kg級～+105kg級・女子69kg級～+75kg級] ●金沢市総合体育馆

【男子】

53kg級		都道府県名		学校名		生年年		学年年		体重		スナッチ			クリーン&ジャーク			バススト			
順位	氏名	県名	姓	名	学校名	年	年	年	年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	小林 翔吾	埼玉県	崎	翔吾	埼玉工業高校	97	2	52.39	78	80	82	96	100	102	80	3	102	2	182	—	
2	柳生 繁紀	川崎市	津幡	繁紀	川崎工業高校	97	2	52.97	75	78	x	78	97	100	92	x	103	5	181	—	
3	前田ジョルイ	兵庫県	西脇	トシレイ	西脇北高校	98	1	52.32	75	78	x	97	100	100	80	2	100	3	180	—	
4	錦織 克亮	鳥取県	鳥	取	鳥取工業高校	96	2	52.55	81	83	x	85	92	95	x	95	1	95	4	180	—
5	東野 澄大	徳島県	徳島	東野	徳島科学技術高校	97	1	52.26	75	79	x	82	88	93	x	93	4	93	6	172	—
6	田中 順泰	滋賀県	中島	順泰	滋賀工業高校	96	2	52.83	70	73	x	75	90	93	x	95	1	95	5	168	—
7	越智 大輔	福岡県	大	越智	福岡工業高校	96	2	52.41	74	77	x	80	88	88	x	88	6	88	10	167	—
8	砂井 守	山梨県	守	砂井	山梨工業高校	96	2	51.20	70	73	x	76	90	90	x	94	x	73	9	165	—
9	守安 守智	山口県	守	守安	山口工業高校	96	2	52.82	77	x	77	x	77	90	x	92	x	—	90	9	—
10	本田 貴大郎	兵庫県	兵	本田	兵庫県立農業高校	96	2	52.90	76	x	76	x	78	94	x	94	x	—	76	8	—
11	大下 巧	岩手県	岩	大下	岩手県立農業高校	97	2	52.79	73	x	73	x	73	90	x	90	x	—	73	10	—
12	古川 大	山梨県	大	古川	山梨県立農業高校	96	2	52.43	70	x	70	x	73	90	x	90	x	—	70	12	—

56kg級		都道府県名		学校名		生年年		学年年		体重		スナッチ			クリーン&ジャーク			バススト				
順位	氏名	県名	姓	名	学校名	年	年	年	年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
1	知念 重斗	沖縄県	重	知念	沖縄工業高校	96	2	55.33	90	93	x	96	x	120	x	125	CR	130	x	93	1	218
2	森 将太郎	沖縄県	将	森	沖縄工業高校	97	2	54.92	85	x	85	x	85	108	x	85	3	112	2	197	—	
3	幸賢 太郎	岩手県	幸	幸賢	岩手県立農業高校	97	2	55.92	80	83	x	85	105	107	x	83	1	112	3	195	—	
4	妹尾 有哉	宮城県	宮	妹尾	宮城県立農業高校	96	2	55.08	80	83	x	85	111	111	x	83	5	111	4	194	—	
5	滝邊 誠	三重県	重	滝邊	三重県立農業高校	96	2	55.39	82	84	x	84	102	104	x	105	84	4	105	5	189	
6	前田 翔哉	福井県	翔	前田	福井県立農業高校	96	2	55.58	79	82	x	84	100	104	x	105	84	4	105	6	186	
7	横田 一輝	滋賀県	一	横田	滋賀県立農業高校	97	2	55.93	80	83	x	85	102	105	x	83	6	102	7	185		
8	渡邊 寛一郎	香川県	渡	渡邊	香川県立農業高校	96	2	55.78	78	82	x	84	97	101	x	82	10	97	11	179		
9	藤井 駿	愛媛県	駿	藤井	愛媛県立農業高校	96	2	55.93	83	x	83	x	93	96	x	83	12	97	12	176		
10	功刀 史也	三重県	三	功刀	三重県立中央工業高校	96	2	55.58	78	82	x	82	95	97	x	78	12	97	10	175		
11	小栗 遊	山梨県	山	小栗	山梨県立農業高校	96	2	55.81	79	82	x	85	92	96	x	82	11	92	13	174		
12	大原 勝斗	山梨県	大	大原	山梨県立農業高校	96	2	55.19	69	72	x	74	92	95	x	74	13	97	8	171		
13	西山 悠斗	長崎県	西	西山	長崎県立農業高校	98	1	55.39	73	x	73	x	93	97	x	73	14	97	9	170		
14	有利和樹	沖縄県	利	有利	沖縄県立農業高校	96	2	55.73	92	95	x	97	87	x	—	—	—	—	—	—		

56kg級

56kg級		都道府県名		学校名		生年年		学年年		体重		スナッチ			クリーン&ジャーク			バススト				
順位	氏名	県名	姓	名	学校名	年	年	年	年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
1	知念 重斗	沖縄県	重	知念	沖縄工業高校	96	2	55.33	90	93	x	96	x	120	x	125	CR	130	x	93	1	218
2	森 将太郎	沖縄県	将	森	沖縄工業高校	97	2	54.92	85	x	85	x	85	108	x	85	3	112	2	197	—	
3	幸賢 太郎	岩手県	幸	幸賢	岩手県立農業高校	97	2	55.92	80	83	x	85	105	107	x	80	105	105	105	105	105	
4	妹尾 有哉	宮城県	宮	妹尾	宮城県立農業高校	96	2	55.08	80	83	x	83	93	97	x	83	12	97	11	179	—	
5	滝邊 誠	三重県	重	滝邊	三重県立農業高校	96	2	55.39	82	84	x	84	102	105	x	82	10	97	11	179	—	
6	前田 翔哉	福井県	翔	前田	福井県立農業高校	96	2	55.58	79	82	x	84	100	104	x	105	84	4	105	5	189	
7	横田 一輝	滋賀県	一	横田	滋賀県立農業高校	97	2	55.93	80	83	x	85	98	102	x	82	10	97	11	179	—	
8	渡邊 寛一郎	香川県	渡	渡邊	香川県立農業高校	96	2	55.78	78	82	x	82	95	97	x	83	12	97	11	179	—	
9	藤井 駿	愛媛県	駿	藤井	愛媛県立農業高校	96	2	55.93	83	83	x	83	93	96	x	83	12	97	11	179	—	
10	功刀 史也	三重県	三	功刀	三重県立中央工業高校	96	2	55.58	78	82	x	82	95	97	x	78	12	97	10	175	—	
11	小栗 遊	山梨県	山	小栗	山梨県立農業高校	96	2	55.81	79	82	x	85	92	96	x	82	11	92	13	174	—	
12	大原 勝斗	山梨県	大	大原	山梨県立農業高校	96	2	55.19	69	72	x	74	92	95	x	74	13	97	8	171	—	
13	西山 悠斗	長崎県	西	西山	長崎県立農業高校	98	1	55.39	73	x	73	x	93	97	x	73	14	97	9	170	—	
14	有利和樹	沖縄県	利	有利	沖縄県立農業高校	96	2	55.73	92	95	x	97	87	x	—	—	—	—	—	—		

56kg級

56kg級		都道府県名		学校名		生年年		学年年		体重		スナッチ			クリーン&ジャーク			バススト				
順位	氏名	県名	姓	名	学校名	年	年	年	年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
1	知念 重斗	沖縄県	重	知念	沖縄工業高校	96	2	55.33	90	93	x	96	x	120	x	125	CR	130	x	93	1	218
2	森 将太郎	沖縄県	将	森	沖縄工業高校	97	2	54.92	85	x	85	x	85	108	x	85	3	112	2	197	—	
3	幸賢 太郎	岩手県	幸	幸賢	岩手県立農業高校	97	2	55.92	80	83	x	85	105	107	x	80	105	105	105	105	105	
4	妹尾 有哉	宮城県	宮	妹尾	宮城県立農業高校	96	2	55.08	82	84	x	84	102	105	x	82	10	97	11	179	—	
5	滝邊 誠	三重県	重	滝邊	三重県立農業高校	96	2	55.58	78	82	x	82	95	97	x	78	12	97	10	175	—	
6	功刀 史也	三重県	三	功刀	三重県立中央工業高校	96	2	55.58	78	82	x	82	95	97	x	78						

105Kg級

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト
1	丸本 大輔	岡山県水島工業高校	97 1	101.62	115	120	125 ×	145	150	155	120 1	155 1	275	トータル
2	菊地 剛	岩手県岩谷堂秀峰高校	97 2	103.89	105	110	115	135	140	145 ×	115 2	140 3	255	
3	津留 宮	宮崎県豊田高校	96 2	103.89	106	111	111	133	136	141	111 3	141 2	252	
4	尾添 周平	高知県豊田高校	97 2	103.45	105	109	110	135 ×	135	135 ×	110 4	135 5	245	
5	松岡 滋	滋賀県天津明誠高校	97 2	98.48	97	102	107	129	135 ×	135 ×	107 7	135 4	242	
6	池田 伸介	鳥取県臺灣川高校	96 2	103.83	105	105	111	127	132	135 ×	109 6	130 6	241	
7	山名道人	高知県義塾高校	97 2	104.08	105	110	110	125	130	135 ×	110 5	130 10	240	
8	菅野 高悟	福岡県鳥栖市立高校	96 2	94.05	100	100	105	130	135 ×	137 ×	105 8	130 7	235	
9	香川 祐也	兵庫県新居浜工業高校	96 2	98.52	105	105	110	125	130	135 ×	105 9	130 8	235	
10	佐々木将之	東京都立東京学園高校	96 2	103.20	105	110	110	130	130	137 ×	105 11	130 9	235	
11	細井 豊	三重県四日市工業高校	97 2	102.48	100	105	107	117	121	124 ×	105 10	121 11	226	
12	細井 雄大	三重県鈴鹿工業高校	97 2	101.99	100	103	104	120	120	120 ×	100 12	120 13	220	
13	諸神 泰俊	沖縄県工業高校	97 1	96.80	90	95	97	115	115	120 ×	97 13	120 12	217	

+105Kg級	48Kg級	53Kg級	59Kg級
1 野中 千晶	城大子清流高校	96 2	135.90
2 手都 真太	大分県大分工業高校	96 2	110.19
3 陳 敏	長崎県西彼杵工業高校	95 2	119.82
4 川村 正輝	熊本県平塚田風高校	98 1	132.15
5 阿部 竜平	三重県奈良工業高校	96 2	128.22

【女子】

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト
1	安端 千晶	城大子清流高校	96 2	47.80	59	62	66 ×	78	82	85 ×	62 1	82 1	144	トータル
2	森 有理紗	大分県玉姫玉業高校	97 1	47.45	55	58	60	70	73 ×	75	60 2	75 3	135	
3	森 加奈子	大分県玉姫玉業高校	96 2	47.66	56	53 ×	53	74	76	80	80 2	133	135	
4	新川 百音	大分県玉姫玉業高校	97 1	46.28	56	56	59 ×	66	69	72	65 5	69 4	125	
5	中谷 真佑	石川県金沢市立高校	97 1	47.77	55	57	59 ×	68	70	71 ×	57 4	68 5	125	
6	名嘉山野	石川県金沢市立高校	96 2	47.27	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
7	紀平 美咲	三重県二木東高校	97 2	45.26	50	50	53	60	63 ×	63 8	63 8	116		
8	見附 美咲	兵庫県芦屋高校	97 1	47.80	52	54	54	61	61	63 ×	55 6	61 10	116	
9	菊池かのん	岩手県立岩手高校	96 2	45.66	48	51	54 ×	58	61	63 ×	51 10	61 12	114	
10	川崎 真穂	埼玉県立川口高校	97 1	47.12	52	54	55 ×	60	62 ×	62 ×	54 7	60 7	112	
11	武藤 涼香	埼玉県立加悦谷高校	97 1	47.25	47 ×	47	50 ×	63	65 ×	66 ×	47 12	65 7	108	
12	赤瀬 梢香	沖縄県宮古高校	98 1	46.46	48 ×	48	52 ×	60	62 ×	62 ×	48 11	60 11	108	

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト
1	安端 千晶	城大子清流高校	96 2	47.80	59	62	66 ×	78	82	85 ×	62 1	82 1	144	トータル
2	森 有理紗	大分県玉姫玉業高校	97 1	47.45	55	58	60	70	73 ×	75	60 2	75 3	135	
3	森 加奈子	大分県玉姫玉業高校	96 2	47.66	56	53 ×	53	74	76	80	80 2	133	135	
4	新川 百音	大分県玉姫玉業高校	97 1	46.28	56	56	59 ×	66	69	72	65 5	69 4	125	
5	中谷 真佑	石川県金沢市立高校	97 1	47.77	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
6	名嘉山野	石川県金沢市立高校	96 2	47.27	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
7	紀平 美咲	三重県二木東高校	97 2	45.26	50	50	53	60	63 ×	63 8	63 8	116		
8	見附 美咲	兵庫県芦屋高校	97 1	47.80	52	54	54	61	61	63 ×	55 6	61 10	116	
9	菊池かのん	岩手県立岩手高校	96 2	45.66	48	51	54 ×	58	61	63 ×	51 10	61 12	114	
10	川崎 真穂	埼玉県立川口高校	97 1	47.12	52	54	55 ×	60	62 ×	62 ×	54 7	60 7	112	
11	武藤 涼香	埼玉県立加悦谷高校	97 1	47.25	47 ×	47	50 ×	63	65 ×	66 ×	47 12	65 7	108	
12	赤瀬 梢香	沖縄県宮古高校	98 1	46.46	48 ×	48	52 ×	60	62 ×	62 ×	48 11	60 11	108	

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト
1	安端 千晶	城大子清流高校	96 2	47.80	59	62	66 ×	78	82	85 ×	62 1	82 1	144	トータル
2	森 有理紗	大分県玉姫玉業高校	97 1	47.45	55	58	60	70	73 ×	75	60 2	75 3	135	
3	森 加奈子	大分県玉姫玉業高校	96 2	47.66	56	53 ×	53	74	76	80	80 2	133	135	
4	新川 百音	大分県玉姫玉業高校	97 1	46.28	56	56	59 ×	66	69	72	65 5	69 4	125	
5	中谷 真佑	石川県金沢市立高校	97 1	47.77	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
6	名嘉山野	石川県金沢市立高校	96 2	47.27	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
7	紀平 美咲	三重県二木東高校	97 2	45.26	50	50	53	60	63 ×	63 8	63 8	116		
8	見附 美咲	兵庫県芦屋高校	97 1	47.80	52	54	54	61	61	63 ×	55 6	61 10	116	
9	菊池かのん	岩手県立岩手高校	96 2	45.66	48	51	54 ×	58	61	63 ×	51 10	61 12	114	
10	川崎 真穂	埼玉県立川口高校	97 1	47.12	52	54	55 ×	60	62 ×	62 ×	54 7	60 7	112	
11	武藤 涼香	埼玉県立加悦谷高校	97 1	47.25	47 ×	47	50 ×	63	65 ×	66 ×	47 12	65 7	108	
12	赤瀬 梢香	沖縄県宮古高校	98 1	46.46	48 ×	48	52 ×	60	62 ×	62 ×	48 11	60 11	108	

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト
1	安端 千晶	城大子清流高校	96 2	47.80	59	62	66 ×	78	82	85 ×	62 1	82 1	144	トータル
2	森 有理紗	大分県玉姫玉業高校	97 1	47.45	55	58	60	70	73 ×	75	60 2	75 3	135	
3	森 加奈子	大分県玉姫玉業高校	96 2	47.66	56	53 ×	53	74	76	80	80 2	133	135	
4	新川 百音	大分県玉姫玉業高校	97 1	46.28	56	56	59 ×	66	69	72	65 5	69 4	125	
5	中谷 真佑	石川県金沢市立高校	97 1	47.77	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
6	名嘉山野	石川県金沢市立高校	96 2	47.27	55	57	57	66	68	68 ×	57 3	66 6	123	
7	紀平 美咲	三重県二木東高校	97 2	45.26	50	50	53	60	63 ×	63 8	63 8	116		
8	見附 美咲	兵庫県芦屋高校	97 1	47.80	52	54	54	61	61	63 ×	55 6	61 10	116	
9	菊池かのん	岩手県立岩手高校	96 2	45.66	48	51	54 ×	58	61	63 ×	51 10	61 12	114	
10	川崎 真穂	埼玉県立川口高校	97 1	47.12	52	54	55 ×	60	62 ×	62 ×	54 7	60 7	112	
11	武藤 涼香	埼玉県立加悦谷高校	97 1	47.25	47 ×	47	50 ×	63	65 ×	66 ×	47 12	65 7	108	
12	赤瀬 梢香	沖縄県宮古高校	98 1	46.46	48 ×	48	52 ×	60	62 ×	62 ×	48 11	60 11	108	

順位	姓 名	学 校 名	年 生 年	年 体 重	1	ス ナ ッ チ	1	2	3	1	クリーン&ジャーラーク	3	S ト	ペ スト

<tbl_r cells="15" ix="4" maxcspan="1" maxrspan

第11回全日本学生選抜選手権大会

平成26年4月19日[男子56kg級～77kg級・女子48kg級～69kg級]・20日[男子85kg級～+105kg級・女子75kg級～+75kg級]
スパーキングランナー(トヨタ市)

階級	籍名	都道府県名	学年名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ペスト			
							1	2	3	1	2	3	S	時	回	
94kg	1 久久津賀治	石川	板木商学園高校	95	2	91.54	100	104	107	125	129	133	[07]	1.33	240	
94kg	2 霧宮 玄剛	山形	木村川高松	95	2	95.36	98	103	107	123	128	132	[03]	1.32	235	
94kg	3 久保田 球鳥	石川	板木商学園高校	96	2	89.68	99	96	100	122	130	130	[4]	1.32	230	
94kg	4 大川 哲哉	奈良	吉田村第三高校	97	1	91.18	71	75	89	94	116	121	[25]	89	4	214
105kg	1 遠 豊	東京	木村川高松	95	2	98.46	110	115	126	130	141	145	[11]	1.51	245	
105kg	2 佐々木智之	東京	木村川高松	96	2	98.44	93	93	97	113	118	124	[07]	97	3	215
105kg	3 山田 和幸	東京	木村川高松	96	2	100.54	85	90	95	105	110	120	[5]	95	3	215
105kg	4 佐藤 大河	東京	木村川高松	97	1	104.70	95	95	95	115	120	125	[05]	95	4	210
105kg	5 今井 介	東京	木村川高松	98	1	100.60	85	90	90	105	105	108	[05]	105	4	198
105kg	6 藤井 亮介	東京	木村川高松	96	2	102.72	75	79	82	85	90	93	[04]	82	6	192
+105kg	1 陳 駿	東京	木村川高松	95	2	118.94	90	95	100	130	135	140	[04]	100	2	240
+105kg	2 佐藤 啓祐	東京	木村川高松	97	1	120.56	90	95	105	130	135	140	[04]	100	2	213
+105kg	3 小林 拓斗	東京	木村川高松	97	1	113.10	83	87	87	110	115	118	[03]	83	3	198
48kg	1 新川 雄一	新潟	山梨工業高校	97	1	46.04	52	54	56	65	68	70	[01]	70	2	126
48kg	2 佐藤 伸吾	新潟	山梨工業高校	96	1	45.86	51	53	56	64	67	69	[01]	69	2	124
48kg	3 川崎 美織	新潟	山梨工業高校	96	1	46.52	50	52	54	58	58	58	[03]	58	3	112
48kg	4 増田 真子	新潟	山梨工業高校	96	2	47.54	40	43	46	50	54	57	[04]	54	4	100
53kg	1 長木 伸一	新潟	山梨工業高校	96	2	52.10	55	—	—	65	—	—	[05]	65	2	120
53kg	2 佐野 広介	新潟	山梨工業高校	97	2	51.24	48	50	52	62	64	64	[02]	64	2	116
53kg	3 小林 さちひ	新潟	山梨工業高校	97	2	51.66	43	45	47	52	54	54	[03]	54	3	101
53kg	4 吉野 伸莉	新潟	山梨工業高校	97	1	51.66	35	37	40	43	46	46	[04]	46	4	83
58kg	1 田中 伸也	新潟	山梨工業高校	96	2	57.40	55	58	56	70	73	78	[02]	58	2	136
58kg	2 田中 伸也	新潟	山梨工業高校	96	2	57.68	53	56	61	63	69	72	[02]	69	2	131
58kg	3 井野 由香	新潟	山梨工業高校	97	1	56.76	58	61	63	69	72	72	[01]	69	3	120
58kg	4 宮下 由香	新潟	山梨工業高校	97	1	54.64	50	52	54	58	60	62	[04]	60	5	114
58kg	5 小林 紅	新潟	山梨工業高校	96	2	56.84	47	50	50	58	61	64	[05]	61	4	111
58kg	6 朝原 美香	新潟	山梨工業高校	96	2	57.00	42	45	45	50	53	55	[05]	52	6	95
63kg	1 田所 あすか	新潟	山梨工業高校	97	1	60.08	55	59	61	65	70	74	[01]	74	1	135
63kg	2 大穴 優子	新潟	山梨工業高校	97	1	61.84	59	59	61	68	70	74	[02]	70	2	129
63kg	3 関谷 由香	新潟	山梨工業高校	97	1	61.70	52	55	55	65	68	70	[03]	65	3	123
63kg	4 田和 彩力	新潟	山梨工業高校	96	2	61.74	52	54	56	60	62	64	[04]	64	4	118
63kg	5 田中 美穂	新潟	山梨工業高校	97	1	62.90	52	56	56	55	58	62	[04]	62	5	116
63kg	6 萩野 千香	新潟	山梨工業高校	97	1	61.90	45	48	51	57	60	63	[03]	63	6	108
63kg	7 田原 未来	新潟	山梨工業高校	97	2	65.72	65	68	70	78	81	83	[01]	81	1	151
63kg	8 木村 里枝	新潟	山梨工業高校	97	1	63.70	38	41	45	48	52	52	[02]	52	2	93
+75kg	1 渡辺 みゆき	新潟	山梨工業高校	97	1	92.60	48	51	51	58	61	63	[03]	51	1	112

第29回関東高等学校選抜大会

第29回関東高等学校選抜大会											
2014年1月18～19 柏木県小山市											
階級	姓 氏名	学年	生年	学校名	体重			スナッチ			トータル
					1	2	3	1	2	3	
53kg	1 小林 順吾	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	50.48	73 ×	73 ×	90	93	96 ×	216
53kg	2 山本 茂介	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	52.56	65 ×	68	83	86	87	155
53kg	3 益子 文幸	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	50.74	65 ×	65	78	83	86	154
53kg	4 田中 淳	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	52.56	66 ×	69	71 ×	87	89	152
53kg	5 大洲 良平	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	52.54	65 ×	65	75	78	81	146
53kg	6 小宮 大洋	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	51.86	58 ×	63	63 ×	75	79	137
53kg	7 伊東 勝郎	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	52.78	55 ×	60	63 ×	68	72	135
53kg	8 稲原 美和	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	52.46	57 ×	60	60	70	75 ×	133
53kg	9 阪口 隆志	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	47.00	53 ×	56	56	59	61	119
53kg	10 竹内 千尋	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	51.36	50 ×	55	61	63	65	117
53kg	11 三川 亮聖	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	48.22	48 ×	53	55 ×	55	59	112
53kg	12 矢野 遼	高1	97	埼玉県立大子工業高等学校	49.54	43 ×	46	50	53	56	106
56kg	1 小栗 遼	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	52.52	73 ×	80	90	93	95	175
56kg	2 前田 淳朗	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	55.08	76 ×	76	79	87	91 ×	170
56kg	3 藤原 桂太	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	55.74	75 ×	75	78	92	95 ×	170
56kg	4 田中 駿智	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	55.56	62 ×	67	70 ×	80	83	165
56kg	5 小松 純義	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	55.52	63 ×	68	72 ×	78	83 ×	151
56kg	6 小宮 大洋	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	54.66	65 ×	70	72 ×	78	83 ×	148
56kg	7 田中 龍星	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	53.30	61 ×	65	65 ×	70	80 ×	148
56kg	8 田中 耕基	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	55.14	57 ×	62	62 ×	70	75 ×	137
56kg	9 松本 徳悟	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	54.74	53 ×	57	60	65	70	127
56kg	10 坂本 順也	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	54.74	49 ×	49	53	66	70	129
56kg	11 菊地 凌平	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	55.58	50 ×	55	58 ×	65	70	129
62kg	1 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.04	88 ×	92	92 ×	113 ×	116	204
62kg	2 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.42	85 ×	89	91 ×	108	111 ×	202
62kg	3 中島 緑夢	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.38	87 ×	91 ×	108	111 ×	111	198
62kg	4 小野 哲	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	60.98	80 ×	85	87 ×	98	102 ×	187
62kg	5 小松 一成	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.14	75 ×	80	88 ×	98	102 ×	187
62kg	6 松本 駿	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.82	70 ×	73	76 ×	90 ×	93 ×	187
62kg	7 田中 大士	高1	97	埼玉県立北橘高等学校	58.80	62 ×	65	68	78	85	187
62kg	8 上村 一貴	高1	97	埼玉県立北橘高等学校	59.74	65 ×	70	70 ×	78	83	187
62kg	9 中村 大郎	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	61.76	60 ×	64	69 ×	80	90 ×	187
62kg	10 伊藤 哲晶	高1	96	埼玉県立北橘高等学校	58.38	65 ×	65	66 ×	76 ×	81	186
62kg	11 長崎 雄平	高1	97	埼玉県立北橘高等学校	60.68	60 ×	60	63 ×	70	73 ×	185
62kg	12 笠原 駿	高1	97	埼玉県立北橘高等学校	61.56	60 ×	60	63 ×	70	73 ×	185
62kg	13 井田 康成	高1	97	埼玉県立北橘高等学校	61.04	50 ×	55	55	64	68 ×	184
69kg	1 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立大子高等学校	67.68	90 ×	95	110	115 ×	120	210
69kg	2 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立大子高等学校	65.58	86 ×	90	92 ×	110	115 ×	200
69kg	3 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立大子高等学校	65.94	76 ×	80	84	95	100 ×	184
69kg	4 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立大子高等学校	67.40	80 ×	83	83 ×	92	96	176
69kg	5 池羽 伸人	高1	97	埼玉県立大子高等学校	66.08	70 ×	73	75	96	100 ×	175
69kg	6 手塚 大樹	高1	97	埼玉県立大子高等学校	64.84	65 ×	73	80 ×	90 ×	106 ×	176
69kg	7 田中 大樹	高1	97	埼玉県立大子高等学校	66.58	70 ×	75	75 ×	90	95 ×	176
69kg	8 中村 瑞生	高1	96	埼玉県立大子高等学校	67.62	70 ×	73	73 ×	80	85 ×	176
69kg	9 田中 大輝	高1	97	埼玉県立大子高等学校	65.24	65 ×	70	73 ×	70 ×	80	176
69kg	10 石本 伸一	高1	97	埼玉県立大子高等学校	64.66	61 ×	60	68 ×	75	80	176
69kg	11 斎藤 歩	高1	96	埼玉県立大子高等学校	67.00	56 ×	56	62 ×	73	77 ×	176
69kg	12 石田 伸一	高1	96	埼玉県立大子高等学校	65.66	58 ×	58	64 ×	75	81 ×	176
77kg	1 朝霧 順也	高1	96	埼玉県立大子高等学校	74.84	98 ×	103	107	125	130 ×	232
77kg	2 小佐野辰至	高1	96	埼玉県立大子高等学校	73.54	93 ×	96 ×	97	118	123	222
77kg	3 三川 伸也	高1	97	埼玉県立大子高等学校	75.88	91 ×	91	95	112	116 ×	207
77kg	4 菊池 龍也	高1	97	埼玉県立大子高等学校	74.90	90 ×	90	98	116 ×	116 ×	207
77kg	5 山口 大樹	高1	96	埼玉県立大子高等学校	70.92	88 ×	88	92 ×	100	104	198
77kg	6 内山 勇太	高1	96	埼玉県立大子高等学校	72.55	85 ×	85	95	105	110	195
77kg	7 小海 純	高1	97	埼玉県立大子高等学校	73.44	83 ×	85	88 ×	90	95	195
77kg	8 田中 駿也	高1	97	埼玉県立大子高等学校	75.00	75 ×	80	83	95	100 ×	195
77kg	9 小田 伸樹	高1	97	埼玉県立大子高等学校	69.52	63 ×	69	71 ×	86	91 ×	195
77kg	10 伊東 桂明	高1	97	埼玉県立大子高等学校	75.92	85 ×	85	95 ×	95	100 ×	195
85kg	1 吉谷 伸也	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	83.72	100 ×	101	107	115	118 ×	222
85kg	2 長谷川康介	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	84.10	90 ×	90	94	120 ×	126 ×	215
85kg	3 野尻 雄基	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	84.24	90 ×	90	98	113	117 ×	214
85kg	4 阿部龍太郎	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	84.22	89 ×	89	90	114	118 ×	208
85kg	5 小川 伸也	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	83.00	80 ×	84	87	105	118 ×	204
85kg	6 山口 敦也	高1	96	埼玉県立玉藻高等学校	77.38	77 ×	81	83	95	100 ×	193
85kg	7 ホイ アズ	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	84.40	67 ×	71	77 ×	83	87 ×	183
85kg	8 高見 深羅	高1	97	埼玉県立玉藻高等学校	84.00	67 ×	71	77 ×	83	87 ×	182

階級	順位	姓 氏名	学 校名	生 学 年	生 学 年 体 重	ス ナ ッ チ			クリー ニングバー グ			ス ナ ッ チ			クリー ニングバー グ			トータル
						1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
77Kg 1 土田 嘉和	新潟県立水産高等学校	96 2	76.00	90	95 ×	115	122 ×	95 1	120	110	115	120 ×	140	145 ×	115	115	115	255
77Kg 2 須川 徳	新潟県立水産高等学校	96 2	75.56	88 ×	88	92	103 ×	107	110	92	93	102	100	115	115	115	115	208
77Kg 3 石川 井	新潟県立水産高等学校	96 2	75.48	88 ×	88	92	108 ×	107	110	92	93	108	103	110	115	115	115	205
77Kg 4 大河 石	新潟県立水産高等学校	96 2	75.22	83	86	88	100 ×	105	107	88	94	107	104	117	117	117	117	215
77Kg 5 泷本 大河	新潟県立水産高等学校	96 2	75.22	83	86	88	100 ×	105	107	88	94	107	104	117	117	117	117	208
77Kg 6 池本 匠	新潟県立水産高等学校	96 2	75.86	85 ×	85	95	100 ×	105	110	85	95	106	103	110	110	110	110	208
77Kg 7 大森 俊希	新潟県立水産高等学校	97 1	71.56	86 ×	86	88	98 ×	98	98	82	86	95	95	100	103	103	103	181
77Kg 8 福富 裕	新潟県立水産高等学校	97 1	71.58	73	76 ×	76	88 ×	91	94	96	97	105	104	107	107	107	107	175
77Kg 9 武田 道弘	新潟県立水産高等学校	97 1	71.18	73	76 ×	76	88 ×	91	94	96	97	105	104	107	107	107	107	175
77Kg 10 山内 佑介	新潟県立水産高等学校	96 2	75.14	70	74	75	88 ×	90	94	94	97	105	104	107	107	107	107	175
77Kg 11 石川 伸智	新潟県立水産高等学校	96 2	74.86	70	75	75	85 ×	90	95	95	97	101	100	103	103	103	103	175
77Kg 12 井上 誠也	新潟県立水産高等学校	97 1	75.20	65	70	73	80 ×	85	95	95	97	105	104	107	107	107	107	226
77Kg 13 清水 岩	新潟県立水産高等学校	96 2	75.83	83	83	83	90 ×	100	105	90	97	107	106	115	115	115	115	223
77Kg 14 佐藤 優	新潟県立水産高等学校	97 1	79.02	84	90	98	103	107	112	98	102	105	104	105	105	105	105	195
77Kg 15 井上 嘉洋	新潟県立水産高等学校	96 2	81.56	100	105	108	125	130	132	108	111	120	119	125	125	125	125	234
77Kg 16 井上 勇	新潟県立水産高等学校	96 2	81.50	100	105	108	125	130	132	108	111	120	119	125	125	125	125	223
77Kg 17 井上 長	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 18 井上 翔	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 19 井上 雄大	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 20 井上 富	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 21 井上 長	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 22 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 23 井上 雄	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 24 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 25 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 26 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 27 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 28 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 29 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 30 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 31 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 32 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 33 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 34 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 35 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 36 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 37 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 38 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 39 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 40 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 41 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 42 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 43 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 44 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 45 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 46 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 47 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 48 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 49 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 50 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 51 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 52 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 53 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 54 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 55 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 56 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 57 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 58 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 59 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 60 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 61 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107	107	107	107	223
77Kg 62 井上 駿	新潟県立水産高等学校	97 1	79.22	81	81	87	90 ×	92	98	90	95	102	101	107				

第16回中国高等学校選抜大会										2014.01.19 関山県倉敷市									
階級	順位	氏名	県名	都道府県	学校名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ペストル			トータル	
									1	2	3	1	2	3	S	C&G	T		
53kg	1	金城 充	岡山 岩手	県立工業高校	96	2	52.30	80 ×	84 ×	90 ×	93 ×	80 ×	91	90	1	170	163		
53kg	2	守谷 一智	岡山 山口	県立山口工業高校	97	1	51.58	70	73	75 ×	94 ×	73	92	73	3	83	155		
53kg	3	大庭 透哉	岡山 山口	県立山口工業高校	96	2	51.24	70	72	74 ×	80	83	88 ×	84	5	64	145		
53kg	4	曾根 由知	岡山 山口	県立山口工業高校	96	2	51.28	64 ×	64	66 ×	81 ×	81	84	84	5	64	140		
53kg	5	田中 大樹	岡山 山口	県立山口工業高校	98	1	52.68	65	70	70 ×	75	81 ×	81	85	5	65	112		
53kg	6	小林 大輔	岡山 山口	県立山口工業高校	96	2	55.88	83	85 ×	85 ×	93	95	97	83	1	180	170		
56kg	1	佐藤 大輔	岡山 山口	県立山口工業高校	96	2	54.48	65 ×	65	67 ×	77	80 ×	80	84	5	77	141		
56kg	2	中原 一輝	鳥取 島根	県立鳥取工業高校	97	2	55.36	74 ×	75 ×	75 ×	77	80 ×	80	84	5	77	141		
56kg	3	佐々木聖矢	山口	県立山口工業高校	95	3	55.30	80	85 ×	105	112 ×	112	112	5	—	—			
56kg	4	守安 昭紀	岡山 山口	県立山口工業高校	97	2	61.32	85 ×	85	110	114	115	85	1	200	188			
62kg	1	江野 純	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	2	61.60	78	83 ×	83	100	105	107	83	3	190	182		
62kg	2	栗原 大祐	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	96	2	61.68	75	78	81	97	101	84	101	3	182	178		
62kg	3	藤原 忠丞	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	2	61.08	60	65	70 ×	80 ×	85	70	85	5	155	155		
62kg	4	藤原 裕雷	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	2	61.72	75	75 ×	82	85 ×	85	80	5	85	155			
62kg	5	河田 拓麻	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	96	2	60.94	58	60	70	85 ×	85	60	7	82	142			
69kg	1	山本 太郎	岡山 岡山	県立岡山工業高校	96	2	68.82	93 ×	93	115	117	117	93	1	208	208			
69kg	2	板垣 優	岡山 岡山	県立岡山工業高校	98	1	64.54	62	65	67	87	90	93	7	90	157			
69kg	3	原田 伸也	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.96	60 ×	60	63 ×	70 ×	70 ×	70	85	5	155			
69kg	4	山本 雄介	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.66	60 ×	60	63 ×	70 ×	70 ×	70	80	5	130			
69kg	5	原山 順	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.96	60 ×	60	63 ×	70 ×	70 ×	70	80	5	120			
77kg	1	下山 大智	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	96	2	75.26	88	90	92 ×	120	124 ×	90	2	214	214			
77kg	2	川村 駿斗	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	2	75.24	85	90	91	110	115 ×	90	1	200	200			
77kg	3	木村 駿	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	2	75.42	84 ×	84	87 ×	101	104 ×	84	3	188	188			
77kg	4	藤井 海	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	75.32	65	70	75 ×	85	90	70	4	160	160			
69kg	1	片桐 悠太	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.76	69	72 ×	94 ×	111	116	120 ×	89	5	205	205		
69kg	2	原山 康平	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.64	75 ×	75	80	90	95	100	2	180	180			
69kg	3	原山 崇	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	1	63.02	50	53	55 ×	65	68	100	5	70	120			
77kg	1	山本 駿	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	1	86.62	75 ×	75	80 ×	90 ×	90	100	5	175	175			
105kg	1	佐藤 大輔	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	95.16	105	110	110 ×	135	142	146	1	146	146			
48kg	1	木村 駿	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	97	1	45.42	40	43	45 ×	55	58	60 ×	43	5	101	101		
48kg	2	木村裕紀英	岡山 岡山	県立岡山工業高校	97	1	47.40	30	32	33 ×	38	40	42 ×	30	5	90	90		
53kg	1	内藤 刚幸	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	96	2	51.48	36	39	41 ×	48	51	53	5	92	92			
58kg	1	小川 佑季	鳥取 岡山	県立岡山工業高校	96	1	57.34	48	50	52	58	60	63	1	115	115			

第16回中国高等学校選抜大会

第22回全九州高等学校選抜大会

11~12

階級	順位	都道府県名	学校名	学年	生年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		
							1	2	3	1	2	3	\$	順位	CJ
94kg	1	羽織 美樹	福岡県立筑紫高等学校	96	2	86.90	85	85	90	105	110	111	85	112	197
94kg	2	辻 宏富	福岡県立筑紫高等学校	92	90.90	90	90	90	110	111	111	85	111	197	196
94kg	3	楊山 駿斗	福岡県立筑紫高等学校	97	2	91.60	75	75	80	95	100	105	75	105	180
105kg	1	留置 岩崎	岐阜県立岐阜工業高等学校	96	2	103.16	100	106	113	121	127	132	100	137	247
105kg	2	諂外 桑根	沖縄県立農業高等学校	97	1	95.44	95	100	105	115	121	124	105	121	226
105kg	3	上地 正秀	沖縄県立農業高等学校	97	1	94.02	95	100	105	115	121	124	105	121	195
105kg	4	大江 哲也	沖縄県立農業高等学校	96	2	94.12	85	90	90	110	113	117	85	110	195
105kg	5	屋良 一哉	沖縄県立農業高等学校	95	3	95.40	136	141	141	167	167	167	136	110	295
+105kg	1	野中 雄太	大分県立工業高等学校	96	2	132.00	120	125	130	155	165	165	130	1	165
+105kg	2	宇都 雅人	大分県立工業高等学校	96	2	112.00	115	115	120	145	150	155	120	2	155
+105kg	3	和多 光秀	鹿児島県立鹿児島高等学校	96	3	139.20	150	160	164	185	193	193	164	1	257
+105kg	4	山本 聰	鹿児島県立鹿児島高等学校	92	2	46.78	50	52	52	60	62	64	52	1	114
48kg	1	名栗 桜香	沖縄県立宮古高等学校	98	2	47.36	47	49	47	50	53	53	50	2	113
48kg	2	赤坂 桃香	沖縄県立宮古高等学校	97	1	46.70	43	45	47	53	55	57	53	1	102
48kg	3	宮城 伶奈	本郷第一高等学校	96	2	46.50	37	41	43	47	51	54	43	4	94
48kg	4	江藤 優	本郷第一高等学校	97	1	48.00	40	42	42	47	50	50	40	45	87
48kg	5	尾那恭美	沖縄県立農業高等学校	97	2	45.92	40	43	44	42	45	45	30	35	80
48kg	6	尾那恭美	沖縄県立農業高等学校	96	1	47.86	30	33	35	35	38	41	35	7	73
48kg	7	堀田 夏至	沖縄県立農業高等学校	96	2	52.08	53	57	60	63	66	70	57	1	127
53kg	1	黒川 勇	沖縄県立農業高等学校	97	2	52.10	40	43	40	43	46	47	31	3	101
53kg	2	金城 茂志	沖縄県立農業高等学校	97	2	52.10	40	43	40	43	46	47	31	3	101
53kg	3	松尾 有紗	長崎県立西彼杵高等学校	96	2	52.68	40	44	47	53	57	61	44	2	57
53kg	4	大槻 晴美	長崎県立西彼杵高等学校	97	1	53.00	35	35	38	43	43	46	38	4	84
53kg	5	武藤 實貴	福岡県立中間高等学校	96	2	49.68	35	38	40	46	46	46	38	4	84
58kg	1	新垣 里奈	福岡県立中間高等学校	96	2	57.43	63	63	68	80	85	85	68	2	80
58kg	2	三吉 未来	福岡県立中間高等学校	96	2	56.44	68	71	71	73	76	76	71	1	148
58kg	3	仲村 爰香	福岡県立中間高等学校	96	2	56.88	58	68	70	75	75	75	58	3	133
58kg	4	殷野 梨衣	福岡県立中間高等学校	97	1	56.72	52	55	55	58	61	52	4	61	113
58kg	5	中嶋聖子	福岡県立中間高等学校	97	1	55.40	49	52	52	58	61	61	49	5	106
58kg	6	下條菜恵	福岡県立中間高等学校	97	1	57.36	45	48	50	55	58	60	48	5	106
58kg	7	本村千鶴子	福岡県立中間高等学校	96	2	57.52	45	47	49	50	55	56	47	7	102
63kg	1	谷脇 沙穂	福岡県立中間高等学校	96	2	62.04	74	74	74	83	94	96	74	1	170
63kg	2	松本 千夏	福岡県立中間高等学校	96	2	60.63	50	53	55	60	64	66	55	3	121
63kg	3	川添 由紀	福岡県立中間高等学校	96	2	61.76	60	63	66	80	83	86	71	1	146
63kg	4	川添 由紀	福岡県立中間高等学校	96	2	68.00	50	55	60	66	65	70	55	2	120
75kg	1	北原 里枝	福岡県立中間高等学校	96	2	73.72	60	65	68	75	80	83	65	1	148
75kg	2	木下 里千鶴	福岡県立中間高等学校	97	1	72.06	50	55	63	63	66	69	50	2	119
75kg	3	村山 さやか	福岡県立中間高等学校	96	2	91.96	63	68	71	80	80	85	60	1	158

- 68 -

KANEKA

還元型 コエンザイムQ10

社団法人日本ウェイトリフティング協会を
カネカは応援しています。



酸化型 CoQ10



還元型 CoQ10

スポーツ選手にとって必要なのは持久力と疲労回復力！
そのためには細胞での“エネルギー産生”がもっとも大切。
「還元型コエンザイムQ10」はその働きをサポートします！

• 還元型コエンザイムQ10の作用機序。

ポイント
1

元気のもとであるエネルギーを作ります。

「コエンザイムQ10」は生きるために必要なエネルギー生産に必須の成分です（エネルギー産生作用といいます）

⇒「コエンザイムQ10」がないと、60兆個の細胞の中のエネルギー生産工場「ミトコンドリア」がはたらかず、エネルギーを産み出すことができません。

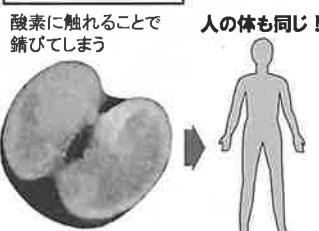


ポイント
2

老いの原因である体のさびを防ぎます。

「還元型コエンザイムQ10」は活性酸素により体が錆びるのを防ぎます（抗酸化作用といいます）⇒さまざまな酸化ストレス・病気から身体を守り、健康と元気を長く維持するはたらきがあります。

りんごの酸化



ポイント
3

もともと身体の中で作られるのは 「還元型コエンザイムQ10」だけ！

コエンザイムQ10には「酸化型」と「還元型」との2種類があります。

エネルギーをつくるときは「酸化型」⇒「還元型」のサイクル反応を繰り返しながら活躍します。還元型が増えるとこのサイクル反応がより効率よく回ります。⇒摂取するには身体の中に多いパワーアップした「還元型コエンザイムQ10」と同じ成分であるのが望ましいでしょう。

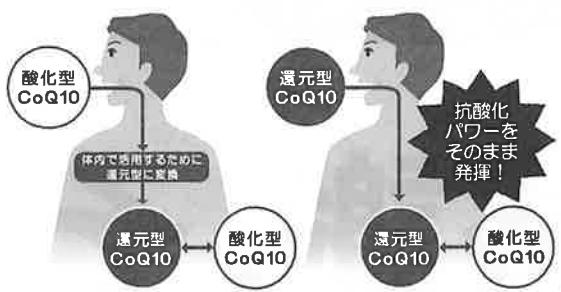
ポイント
4

「加齢」や「ストレス」 「激しい運動」により不足します！

①加齢・ストレス・激しい運動により「還元型コエンザイムQ10」の量は減少します！

②加齢・ストレス・激しい運動により「酸化型」⇒「還元型」転換力は衰えます。

⇒だから「還元型コエンザイムQ10」の補充がおすすめです。



「還元型コエンザイムQ10」はカネカが独自に開発した素材。
トップアスリートの皆さんに愛用されています！

株式会社カネカ QOL事業部

大阪本社 〒530-8288 大阪市北区中之島 3-2-4

東京本社 〒107-6025 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL: 06-6226-5403

TEL: 03-5574-8112

Website: <http://www.kanekaqh.jp/>





当社社員 三宅宏実 選手

感謝、そして進化



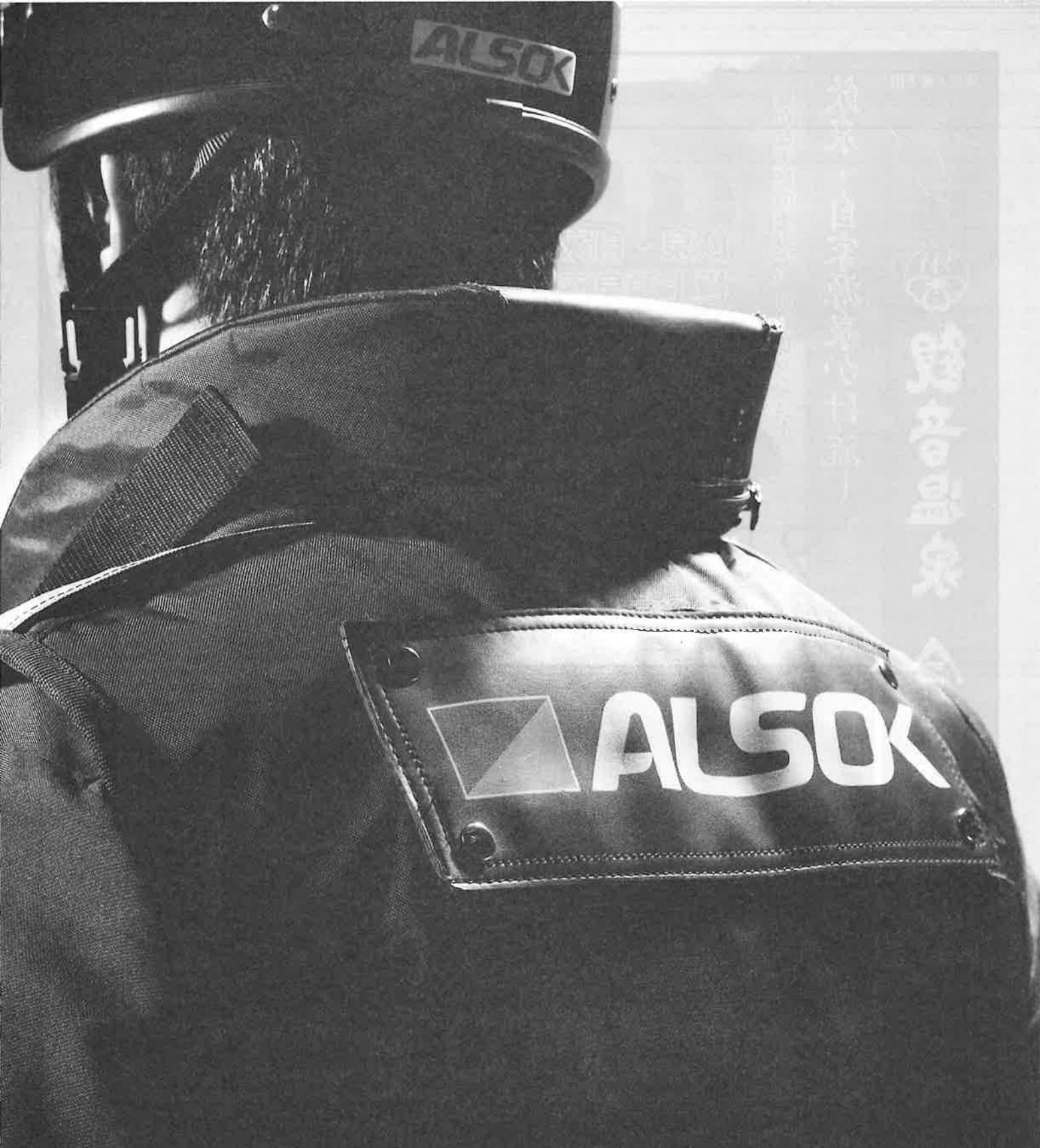
一期一会
ICHIGO

総合不動産サービスとクリーンエネルギーの「いちご」
いちごグループホールディングス株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテルタワー

www.ichigo-holdings.co.jp



ホームセキュリティの進化のカタチ

HOME ALSOK
Premium ■ プレミアム

Always
Security
OK

ALSOK

伊豆・奥下田



観音温泉 合宿プラン

飲泉・自家源泉かけ流し

豊かな天然の恵みで、リフレッシュ！

飲泉・自家源泉かけ流し
極上源泉で身体を癒す。
飲泉で身体を整える。
大自然に包まれ、銳気を養う。



アルカリ性単純泉

スポーツ生理学の面からも高い効果が認められている温泉療法。pH9.5の強アルカリ温泉は、スポーツ後の筋肉疲労を和らげ、より効率的な練習成果が得られることが、期待できます。

pH 9.5
pH9.5の強アルカリ泉

酸性化しがちな血液に
アルカリイオンが
はたらきます。

硬度 0.7
硬度0.7の超軟水

飲用泉の中ではさわめて稀な
超軟水。まるやかで、くせのない
おいしいでお茶や料理用の水と
しても優れています。

シリカ SiO₂ 54
54mg/lシリカ含有 mg

年齢を重ねるごとに摂取しづら
くなる重要なミネラル「シリカ」
を豊富に含みます。

モンドセレクション
最高金賞
国際優秀品質賞 受賞



飲む温泉
観音温泉



ウェイトリフティングコーナー



ボクシングリング (公認)



衝撃吸収(ショックアブソーバー)仕様。競技用畠も対応可能。



身体に
やさしい
バネ構造

体育館 フロア
(W220m×D44m×H7.0m)

◆武道エリア

柔道・剣道・弓道・合気道・
空手道・相撲道・居合道・なぎ
なた道など

◆その他の競技

卓球・エアロビクス・ダンス・レス
リング・アーチェリー他、またブラ
スバンド・マーチングバンドなど

◆主な施設

競技用畠 (175cm×90cm): 252枚
卓球台 20台
(軟式・硬式・ラージボール対応)
大鏡 (H2m×W3m): 2面

◆ウェイトリフティングエリア

ウェイトリフティング・レスリング
◆主な施設

バーベル一式 (軽量級~重量級)
トレーニングマシーン

◆ボクシングエリア

ボクシング・キックボクシングなど
◆主な施設

リング (公認)・サンドバッグ 2袋

観音温泉

お問い合わせ

伊豆奥下田 飲泉・自家源泉かけ流しの宿

東京案内所 〒153-0043 東京都目黒区東山2-10-8 03-3794-2611(代) 03-3794-5558 | 〒413-0712 静岡県下田市横川1109-1 0558-28-1234(代) 0558-28-1235 www.takinogawa.net/onstontop.html

駅前教習! 「戸田駅」東口徒歩3分!
埼玉とだ
自動車学校



ジャンボコース! (41,374平方メートル)

群馬につつた
自動車教習所



すべてのAT練習車に
ハイブリッドカー使用!

やーやこにいく
0120-885519



片側2車線コースも完備、
のびのび合宿教習!

すべてのAT練習車に
ハイブリッドカー使用!

0120-57-0017



ニュー・グリーンピア津南

より高き頂を目指す挑戦者達へ提案する
有意義なるひと時を目指して



トレーニング後の疲労を癒やせる天然温泉
(弱アルカリ性低張性高温泉)



屋内外ご使用頂けるワークスペース
(※季節により使用できない施設がございます)



お問い合わせ

〒949-8313 新潟県中魚沼郡津南町大字秋成12300

Tel.025(765)4611 / Fax.025(765)4620
NEW GREENPIA
tsunan

<http://www.green-pia.com/tunani/>

担当 上村

賛助会員の加入申請手続きについて

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本協会の事業にご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

現在、本協会では2016年のリオデジャネイロオリンピック大会の出場権獲得と大会本番での入賞、更には2020年東京オリンピックでの一層の飛躍を目標に諸事業を進めているところです。

東京オリンピックの日本選手の出場人数については、リオデジャネイロオリンピックに出場した日本選手の人数をもとに決定される見込みとなり、日本にとって東京オリンピックの出場人數枠獲得競争は、リオデジャネイロ五輪の予選の一つとなる今年の世界選手権大会から始まることになります。

つきましては、本協会の事業の趣旨に多くの方々よりご賛同をいただき、賛助会員としてご支援賜りたく、ここにお願い申し上げます。

記

平成24年に一般社団法人に移行したことにより、新しい定款に基づく次の手続きが必要となります。

1 入会を希望される方は、別紙「賛助会員入会申込書」に必要事項を記入して押印の上、郵送してください。

「賛助会員入会申込書」は日本協会ホームページからダウンロードすることができます。

2 その後、日本協会より会費の請求をいたしますので、速やかにお振り込みくださいようお願いいたします。

なお、賛助会員の資格は自動継続となりますので、来年度以降は賛助会員の入会申し込みの手続きの必要はなく、毎年4月になりましたら日本協会より会費の請求をさせていただくようになります。

3 退会する場合は、「賛助会員退会届」をご提出ください。

「賛助会員退会届」が必要な場合は、日本協会に電話、ファックス、Eメールのいずれかでお知らせください。

また、「賛助会員退会届」は日本協会ホームページからダウンロードすることもできます。

一般社団法人日本ウエイトリフティング協会

〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 4F

電話 03-3481-2359 FAX 03-3481-2394

Eメール weightlifting@japan-sports.or.jp

ホームページ <http://www.j-w-a.or.jp/>

平成 年 月 日

一般社団法人日本ウェイトリフティング協会
会長 小池百合子様

贊助会員入会申込書

一般社団法人日本ウェイトリフティング協会定款第6条第2号の定めにより、この法人の事業に賛同し、その事業を推進するために、下記のとおり贊助会員として入会を申し込みます。

記

団体の場合	団体名	印
	口数	口 円
	代表者名等	代表者名（役職） 担当者名（部署）
	住所	〒 TEL
個人の場合	氏名	印
	口数	口 円
	住所	〒 TEL FAX e-mail
	職業	
	勤務先住所	〒 TEL
備考		

平成 年 月 日

一般社団法人日本ウェイトリフティング協会
会長 小池百合子様

贊助会員退会届

一般社団法人日本ウェイトリフティング協会定款第9条の定めにより、この法人の贊助会員を退会したいのでお届けいたします。

記

団体名又は個人名	印
退会年月日	
退会理由	
備考	

記号説明

新記録

WR : 世界新記録 (new World Record)

J WR : ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)

AR : アジア新記録 (new Asian Record)

J AR : ジュニアアジア新記録 (new Junior Asian Record)

NR : 日本新録 (new Japan National Record)

J NR : ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)

MNR : マスターズ日本新記録 (new Japan Masters National Record)

UR : 大学新記録 (new University Record)

HR : 高校新記録 (new senior Highschool Record)

MR : 中学新記録 (new Middle school Record)

CR : 大会新記録 (new Competition Record)

タイ記録

WS : 世界タイ記録 (World Record Same)

J WS : ジュニア世界タイ記録 (Junior World Record Same)

AS : アジアタイ記録 (Asian Record Same)

J AS : ジュニアアジアタイ記録 (Junior Asian Record Same)

NS : 日本タイ記録 (Japan National Record Same)

J NS : ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National Record Same)

MNS : マスターズ日本タイ記録 (Japan Masters National Record Same)

US : 大学タイ記録 (University Record Same)

HS : 高校タイ記録 (senior Highschool Record Same)

MS : 中学タイ記録 (Middle school Record Same)

CS : 大会タイ記録 (Competition Record Same)

ウェイトリフティングNo.117

(一社) 日本ウェイトリフティング協会会報

発行日 平成26年4月

発行者 (一社) 日本ウェイトリフティング協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育館内

TEL 03-3481-2359

FAX 03-3481-2394

日本協会Eメール weightlifting@japan-sports.or.jp

新津印刷Eメール kawamata@niitsu-pri.com

編集責任者 岡本 実

記録 笠原 達夫

編集長 松尾 謙資

副編集長 上田 貢

菊田三代治 加藤 智子

青木 延明

篠 弘明

宮田 秀樹

宮田 陽子 福田登美男

多小田一紀

小泉 秀一

— × モ —

UESAKA PRODUCTS NEW ITEMS 新製品



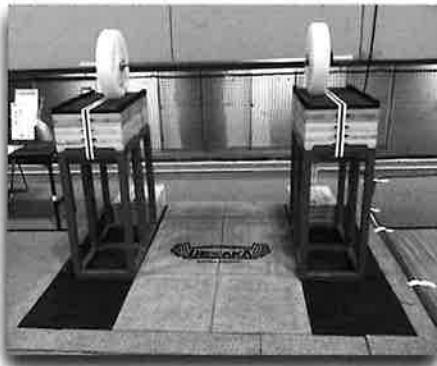
■ 特徴

- 1: 接続はすべてイーサネットケーブルを利用、簡便なセットアップを実現しました。
- 2: ウォームアップ用表示器を追加しました。
- 3: 情報表示を55インチディスプレーに改良、より視認性が向上しました。
- 4: グラフィックデータの読み込み、テキスト情報の表示が可能となりました。

アテンプトボード WG-183NT ¥3,200,000 (セット) (税別)

セット内容：本体表示器(1台) コンソールボックス (1台)、タイマー (2台)、ウォームアップ用表示器 (1台)、レフェリーボックス (3台)、ジュリーボックス (1台)、ダウンライト (1台)

ジャークボックス



ジャークボックスはお手持ちのセカンドブルラックを利用して プッシュプレスの練習にお使いいただくための補助台です。4個または6個 (WG-360E ロング) のボックスと2組または3組 (WG-360E ロング) のセカンドブルラックを組立ててお使いいただけます。

(注) 単体では機能しません。
弊社製セカンドブルラック (別売) が必要です。

ジャークボックス (ボックス4個使用) WG-360C (組) ¥140,000 (税別)

ジャークボックスロング(ボックス6個使用) WG-360D (組) ¥250,000 (税別)

セカンドブルラック 6段式 WG-360A (組) ¥135,000 (税別)

サイズ(1個あたり) : W450 x D400 x H900

重量(1個あたり) : 15Kg

固定用ベルト付き

お問合せは



東京都墨田区本所4-28-8

TEL:03-3622-8171 FAX:03-3622-8175

(株) ウエサカ ティー イー e-mail:uesaka@uesaka.co.jp URL:www.uesaka.co.jp

アスリートの
声が、育てるモノ。



「世界と戦う理想のフォームを維持し続けたい。」 室伏選手

「壁を超えてタテに落ちるシュートでゴールを決めたい。」 本田選手

「細かなステップワークにこだわるから素足感覚に近づけたい。」 福原選手

ミズノはさまざまなトップアスリートの声を聞きながら、その要望に応えています。新たな製品が完成するたびに、モノづくりはまた一步前進します。ミズノのモノにチカラを与えるのは、世界で戦うアスリートたちの熱い想い。その想いが生んだ技術は、やがてあなたのものになります。いいモノと出会うのは、いいコーチと出会うのと同じくらいにスポーツには大切です。ミズノはそう信じ続けます。

ミズノ製品は、アスリートの声でできている。

mizuno.jp ☎ 0120-320-799

明日は、きっと、できる。